

(6) 市民・スポーツ文化局

市民・スポーツ文化局 平成23年度予算要求及び査定の概要

予算要求方針

1 基本方針

- (1) 市民活動をさらに活発化し、協働によるまちづくりを推進します。
- (2) 地域、事業者、行政が連携を図りながら、「安心・安全」に暮らせる地域社会の実現を目指します。
- (3) 区役所における市民満足度の更なる向上を図ります。
- (4) 消費生活における市民の安心・安全を確保するため、消費生活行政の強化を推進します。
- (5) 男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画に関する情報を提供し意識啓発や意識の醸成を図ります。
- (6) 生涯スポーツの振興とともに、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進します。
- (7) 総合的かつ持続的な文化芸術の振興を図り、文化芸術都市の創造を目指します。
- (8) 市有未利用地及び大学敷地内に多目的広場の整備を行います。
- (9) 大宮盆栽美術館を核として盆栽文化の更なる振興を図ります。
- (10) 「さいたま市誕生10周年記念」としてのイベントを開催します。

2 主な取組

- (1) 本市における市民活動をさらに活発化し、協働によるまちづくりを進めるため、市民活動推進委員会で市民活動の推進に向けたボランティア活動の支援に関するあり方の検討を行うとともに、ボランティア支援の仕組みの整備に取り組んでまいります。
- (2) 地域防犯活動を支援、促進するとともに、交通安全施設を効果的に設置し、交通事故防止を図ります。
- (3) 市民との協働のもと、区の個性を生かした魅力あるまちづくりを推進します。
各課の窓口及び電話対応など、職員の接遇レベルの向上を図り、「明るい区役所づくり」を推進します。
市民のライフスタイルやニーズに対応するため、毎月1回、区役所の休日窓口開設を試行し、市民が利用しやすい窓口を目指します。
- (4) 若者向け民間広告機関を使用してのCM放映及び高齢者啓発用DVDの作成等、若者や高齢者を対象とした啓発事業を推進し、消費者教育の充実を目指します。
- (5) 男女共同参画社会情報誌を年2回発行し全戸配布するとともに、男女共同参画やDVに関する意識などの実態把握のために、市民意識調査を実施します。また、DVをはじめとする相談件数の増加に対応するため、相談体制を強化します。
- (6) 本市のスポーツの歴史・文化、スポーツの振興に資する人材やスポーツ関連施設を、スポーツ資産等として活用するための方策などの検討を進めます。
- (7) 文化芸術都市の創造に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、文化芸術都市の創造のための計画策定を進めます。
- (8) 5か所の市有未利用地及び2か所の大学敷地内に多目的広場の整備を行います。
- (9) 大宮盆栽美術館や大宮盆栽村を含めた周辺整備や広報、PRを行い、特別展や企画展を充実させ、盆栽文化の更なる振興を図ります。
- (10) さいたま市を市内外にアピールできる「さいたまシティマラソン」を開催し、15,000人の参加を目指します。

3 行財政改革への取組

「1円たりとも税金を無駄にしない」という基本理念に基づき局内全ての事業について見直しを図るとともに、今後の行財政改革を推進するうえで必要な経費については適切な要求を行いました。

【主な事業】

住民票等各種証明書の発行について、市民の利便性の向上及び発行コストの縮減を図るため、コンビニ交付の準備を進めます。

予算要求額及び査定結果

< 市民・スポーツ文化局合計（一般会計） >

（単位：千円）

平成22年度 当初予算額	平成23年度予算				
	予算要求額	財政局長査定		市長査定	
		予算要求額	査定額	予算要求額	査定額
12,156,311	13,912,088	13,920,310	13,488,435	13,920,310	13,519,912

< 市民・スポーツ文化局の主な事業 >

総合振興計画新実施計画事業・しあわせ倍増プラン2009事業

（単位：千円）

No	事業名 事業の概要		所 属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由	
	市長査定	市長査定							
1	照明LED化推進事業		市民総務課	0	1,243	0	0	民間譲渡も含めた検討の方向性が示されているため、予算化を見送りました。	
	総振新実施計画	1102							LED化推進事業
	しあわせ倍増プラン	42							市内照明のLED化率全館1位を目指します。
<p>本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である見沼ヘルシーランドにおいて照明のLED化を実施します。</p>									
2	交通安全施設設置事業		交通防犯課	254,000	308,000	303,500	303,500	LEDによる道路照明灯等の整備の普及促進のために必要な経費と認められるため、ほぼ要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	1102 6201							LED化推進事業 交通安全施設設置事業
	しあわせ倍増プラン	42							市内照明のLED化率全館1位を目指します。
<p>交通事故防止のため、危険箇所道路照明灯や道路反射鏡などを設置します。また、道路照明灯についてはLED化を図り、維持管理費及びCO2排出の削減を推進します。</p>									
3	照明LED化推進事業		コミュニティ課	0	1,056	1,000	1,000	市有財産の屋内外照明のLED化を推進する必要経費として、概ね要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	1102							LED化推進事業
	しあわせ倍増プラン	42							市内照明のLED化率全館1位を目指します。
<p>本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である東大宮コミュニティセンターにおいて照明のLED化を実施します。</p>									
4	太陽光発電設備設置事業		区政推進室 各区役所	0	58,960	53,739	53,739	太陽光発電の設置を推進する必要経費として、概ね要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	1103							太陽光発電設備設置事業
	しあわせ倍増プラン	43							太陽光発電設備の設置を推進します。
<p>本市は地球温暖化対策として、市民に最も身近な区役所のうち、西区・見沼区・緑区に、CO2の発生しないクリーンなエネルギーを創る太陽光発電設備の設置を推進します。</p>									

No	事業名 事業の概要		所属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
						市長査定		
5	花と緑のまちづくり推進事業		区政推進室 各区役所	6,400	25,385	21,242	* 本事業は区政推進室及び各区で独自に実施する事業のため、詳細は平成23年度予算要求事業調書[市ス-05(01)～市ス-05(20)]をご参照ください。	
	総振新実施計画	1214	花と緑のまちづくり推進事業					
	しあわせ倍増プラン	48-8	花と緑でいっぱい・区の花の制定					
	市民一人ひとりが生き生きと心豊かに暮らせる「花や緑の豊かなまち」を実現するため、市内全ての駅・駅周辺及び主要な観光スポットなどを区民と協働して、「花や緑」でいっぱいにします。					21,242		
6	学校体育施設開放事業		スポーツ振興課	20,587	166,323	166,323	学校開放による生涯スポーツの振興を図るため必要な経費と認め、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	3302	学校体育施設開放事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	さいたま市立小・中学校の運動場、体育館、武道場を学校教育に支障のない範囲で、広くスポーツ・レクリエーション団体に開放しその利用に供します。					166,323	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
7	さいたま市スポーツ振興まちづくり計画推進事業		スポーツ企画課	8,644	16,953	2,704	スポーツ資源・資産の活用に関する調査業務委託については職員により実施するべきものとして予算化を見送り、計画推進会議経費及びプロチーム等によるスポーツ教室等の経費については予算化しました。	
	総振新実施計画	3306	(仮称)さいたま市スポーツ振興まちづくり条例制定事業					
	しあわせ倍増プラン	-2	スポーツ振興まちづくり条例を制定します。					
	生涯スポーツの振興とともに、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進します。					2,704	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
8	さいたまシティマラソン開催事業		スポーツ振興課	14,000	79,508	72,320	10周年記念事業として、ほぼ要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	3304	さいたまシティマラソン事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	市民をはじめ全国から集う参加者の自己実現と健康増進を図るとともに、大規模なスポーツイベントを開催することにより、市民のスポーツに対する意欲・関心を高めることを目的として開催しています。					72,320	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
9	さいたま・南会津町たていわ親善ツデーマーチ		スポーツ振興課	1,488	1,350	1,350	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	3305	さいたま・たていわ親善ツデーマーチ事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	健康体づくり及び世代・地域を越えた交流の一環として、市民を参加募集し、会津高原の豊かな自然の中を2日間にわたり歩きます。					1,350	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
10	多目的広場整備事業		スポーツ企画課	5,824	191,642	160,500	多目的広場整備計画に基づいた事業の遂行のために必要な経費と認め、工事費及び設計費については入札期待を助成し予算化しました。	
	総振新実施計画	3307	多目的広場整備事業					
	しあわせ倍増プラン	38	多目的広場整備事業					
	1. 未利用地における多目的広場の整備を行います。 2. 大学敷地内における多目的広場の整備を行います。					160,500	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	

No	事業名 事業の概要		所 属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
	市長査定	市長査定						
11	総合型地域スポーツクラブ支援事業		スポーツ振興課	108	80	80	80	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	3308	総合型地域スポーツクラブ支援事業					
	しあわせ倍増プラン	-					80	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
12	さいたまシティカップ開催事業		スポーツ企画課	40,000	40,000	40,000	40,000	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	3309	さいたまシティカップ開催事業					
	しあわせ倍増プラン	-					40,000	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
13	サッカーのまちづくり推進事業		スポーツ企画課	8,176	8,152	7,615	7,615	サッカーを核としたスポーツのまちづくりに必要な経費として概ね要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	3310	サッカーのまちづくり推進事業					
	しあわせ倍増プラン	-					7,615	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
14	文化・芸術まちづくり創造事業		文化振興課	174	47,667	29,040	29,040	10周年記念事業に位置づけられている事業及びさいたま市の文化芸術振興に寄与する基金積立金については必要額を予算化しました。
	総振新実施計画	3403	文化・芸術まちづくり創造事業					
	しあわせ倍増プラン	47					29,040	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
15	大宮盆栽美術館管理運営事業		大宮盆栽美術館	80,795	108,254	100,347	100,347	魅力ある美術館運営に必要な経費として、概ね要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	3404	盆栽文化振興事業					
	しあわせ倍増プラン	-					100,347	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
16	(仮称)岩槻人形会館整備事業		文化振興課 文化施設建設準備室	1,418,961	486,402	477,805	477,805	開館に向けた準備経費として必要性を認め、予算化しました。
	総振新実施計画	3405	(仮称)岩槻人形会館整備事業					
	しあわせ倍増プラン	-					477,805	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

No	事業名 事業の概要		所 属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
						市長査定		
17	防犯対策事業		交通防犯課	32,460	32,598	32,598	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	6204	防犯対策事業					
	しあわせ倍増プラン	37-9	地域防犯ステーションなどの増設と自主防犯パトロールの促進					
	安全で安心な住みよい地域社会を実現するため「地域防犯ステーション」の活用や「青色防犯パトロール」の実施等、警察、区、自主防犯組織等との連携を図り、防犯に係る取組や情報交換、啓発活動を行います。					32,598	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
18	消費生活相談事業		消費生活総合センター	61,544	61,147	61,147	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	6206	消費生活安全事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	消費生活センターで、市民からの事業者トラブルに関する消費生活相談を、消費生活相談員が電話や来所による方法で受け、情報提供、助言、斡旋などの方法により解決します。					61,147	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
19	消費生活啓発事業		消費生活総合センター	12,480	36,203	36,203	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	6206	消費生活安全事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	消費者団体との協働による消費生活展の開催や、消費生活出前講座及び消費生活講演会を開催し、消費生活に関する情報提供・知識習得を図り、消費者の自立支援のための消費者教育・啓発を実施します。					36,203	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
20	多重債務者対策事業		消費生活総合センター	2,756	2,949	2,949	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	6206	消費生活安全事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	平成22年4月に設置した「さいたま市多重債務者生活再建安心プログラム」に基づき、多重債務者対策について市全体での包括的な支援に取り組みます。					2,949	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
21	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの進行管理事業		男女共同参画課	721	300	300	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	7201	男女共同参画推進事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランにおける、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況を報告書にまとめ公表します。					300	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
22	啓発事業		男女共同参画課	13,068	19,531	19,531	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。	
	総振新実施計画	7201	男女共同参画推進事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画に関する情報を提供し意識啓発や意識の醸成を図ります。					19,531	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	

No	事業名 事業の概要		所 属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
						市長査定		
23	男女共同参画苦情処理申出処理 ・男女共同参画推進協議会事業		男女共同参画課	1,264	1,341	1,341		内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	7201	男女共同参画推進事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
男女共同参画施策に対する苦情の申出について、苦情処理委員が中立、公正な立場で、適切かつ迅速に処理します。 市長の諮問に応じて、男女共同参画のまちづくりの推進に関する事項を調査審議する協議会の運営を行います。					1,341		財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
24	DV防止対策事業		男女共同参画課	4,528	528	528		内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	7201	男女共同参画推進事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援を行います。					528		財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
25	相談事業		男女共同参画課 男女共同参画推進センター	20,040	24,706	24,706		内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	7202	男女共同参画基盤充実事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
センター、女・男プラザなどに相談員を配置し、生き方、家族、DV、人間関係などに関し、女性の悩み相談、また、専門家による法律・健康相談など、女性に関する総合的な相談を実施します。					24,706		財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
26	情報収集・提供事業		男女共同参画課 男女共同参画推進センター	879	1,038	1,038		内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	7202	男女共同参画基盤充実事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
センターで行う講座・講演会の情報提供、男女共同参画の推進に関する図書・行政資料の収集及び閲覧を行います。					1,038		財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
27	学習・研修事業		男女共同参画課 男女共同参画推進センター	6,716	6,884	6,884		内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	7202	男女共同参画基盤充実事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランに基づき男女共同参画社会についての学習機会を提供するため、男女共同参画に関する講座・講演会を開催します。					6,884		財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	
28	団体活動・交流支援事業		男女共同参画課 男女共同参画推進センター	1,210	1,090	1,090		内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	7202	男女共同参画基盤充実事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
男女共同参画推進団体に組織される協議会が企画、運営する「女・男フェスタさいたま」の開催を支援します。また、団体間の交流に向けたネットワークづくりの支援を行います。					1,090		財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	

No	事業名 事業の概要		所属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
						市長査定		
29	市民活動及び協働の推進基金 及び助成金事業		コミュニティ 課市民活動支 援室	17,822	19,430	19,430	19,430	平成23年度に目標とする一般助成 事業7事業及び、団体希望助成分寄 付額を達成するために必要な経費 であるとして、要求のとおりとし ました。
	総振新実施計画	7302	市民活動等支援事業					
	しあわせ倍増プラン	15	市民活動を推進するための 「マッチングファンド制度」 を創設します。					
	「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」を活用 し、市民活動団体が実施する公益的な事業に対し、 助成金を交付して市民活動を支援することにより、 活力ある地域社会の実現を目指します。					19,430	19,430	財政局長査定の内容及び理由につ いて、適正と認められるため、財 政局原案のとおりとしました。
30	市民活動推進委員会運営事業		コミュニティ 課市民活動支 援室	2,012	2,925	1,772	1,772	市民活動推進委員会の必要性は認 めるものの、既存の会議回数(6 回)のなかで対応すべきと判断し、 査定しました。
	総振新実施計画	7302	市民活動等支援事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	市長の諮問に応じ、市民活動及び協働の推進に関 し必要な事項を調査審議するために設置した市民活 動推進委員会を運営し、市民活動および協働の推進 に関する施策を検討します。					1,772	1,772	財政局長査定の内容及び理由につ いて、適正と認められるため、財 政局原案のとおりとしました。
31	区まちづくり推進事業		区政推進室 各区役所	1,388,815	1,379,004	1,379,004	1,379,004	* 本事業は区政推進室及び各区で 独自に実施する事業のため、詳細 は平成23年度予算要求事業調書[市 ス-31(01)～市ス-31(28)]をご参照 ください。
	総振新実施計画	7304	区まちづくり推進事業					
	しあわせ倍増プラン	3 14	区長マニフェストを全区 長が策定するようにしま す。 区民会議・コミュニティ 会議の活性化に向けた、検 討会議を設置します。					
	区において、区民との協働による個性を生かした まちづくりを進めます。 また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易 な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持しま す。					1,379,004	1,379,004	
合計				3,425,472	3,130,649	3,026,086	3,026,086	-

行財政改革推進枠で要求のあった事業

(単位：千円)

No	事業名 事業の概要		所属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
						市長査定		
32	スポーツ文学賞事業		文化振興課	10,704	3,500	0	0	事務事業総点検<改革のカルテ> において廃止・再構築の方向性が 示されている事業ですが、再構築 について引き続き検討が必要と判 断し、予算化を見送りました。
	既存事業を廃止し、再構築した事業							
	-		-					
	全国からスポーツを題材にした未発表の文学作品 を公募します。 1年目に募集、2年目には審査・表彰・作品集の刊 行を行います。					0	0	財政局長査定の内容及び理由につ いて、適正と認められるため、財 政局原案のとおりとしました。
33	ボランティア活動の推進		コミュニティ 課市民活動支 援室	0	897	45	45	ボランティア活動の普及推進にか かる市民活動推進委員会の開催は 既存の会議回数のなかで対応すべ きものと判断し査定し、調査研究 費用のみ予算化しました。
	既存事業を廃止し、再構築した事業							
	行財政改革推進プラン	20	ボランティア活動の推進					
	本市における市民活動をさらに活発化し、協働に よるまちづくりを進めるため、市民活動推進委員会 で市民活動の推進に向けたボランティア活動の支援 に関するあり方の検討を行うとともに、ボランティ ア支援の仕組みの整備に取り組みます。					45	45	財政局長査定の内容及び理由につ いて、適正と認められるため、財 政局原案のとおりとしました。

No	事業名 事業の概要	所属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	財政局長査定		査定理由
						市長査定	
34	区役所窓口の休日開設 / 通年試行	区政推進室	0	17,258	13,936	13,936	休日開設の試行期間として必要な対応がとれるよう、ほぼ要求のとおりとしました。なお光熱水費、通信運搬費や広報にかかる経費については、コスト縮減を図るよう査定しました。
	既存事業を廃止し、再構築した事業 行財政改革推進プラン 66 区役所窓口サービスの充実	-					
	平成23年5月から、月1回(日曜日)、9:00~17:00に全区役所を開設し、各種証明書発行業務と転入・転出の受付及びそれに付随する各種届出を受付けます。						財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
35	福祉の総合窓口化に向けた業務プロセス分析事業	区政推進室	0	10,000	0	0	職員相互による課題検証などを踏まえた計画作りが大切であり、今回は予算化を見送りました。
	既存事業を廃止し、再構築した事業 行財政改革推進プラン 66 区役所窓口サービスの充実	-					
	福祉の総合窓口化に向けた検討材料とするため、現行の福祉業務・組織・システムなどの調査・分析を行います。						財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
36	戸籍住民基本台帳事業 (コンビニ交付)	区政推進室	0	61,324	12,381	12,381	市民の利便性向上のために導入するコンビニ交付に必要な経費と認め、システム設計費用について予算化しました。なお、改修費用については債務負担行為を設定しました。
	既存事業を廃止し、再構築した事業 行財政改革推進プラン 90 コンビニエンスストアでの各種証明書の発行	-					
	住民基本台帳カードの多目的利用により、コンビニエンスストアに設置してあるキオスク端末での証明書交付を行います。						財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
合計			10,704	92,979	26,362	26,362	-

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	市民総務課

市ス-01

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 15市民保養施設費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03324001 (名称) 保養施設管理運営事業								
3 事業名	照明LED化推進事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1102 (事業名) LED化推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 42 (事業名) 市内照明のLED化率全国1位を目指します。								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である見沼ヘルシーランドにおいて照明のLED化を実施します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>37,195千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である見沼ヘルシーランドにおいて照明のLED化を実施します。	平成23～27年度事業費	37,195千円	(根拠法令等)			
(概要)	本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である見沼ヘルシーランドにおいて照明のLED化を実施します。	平成23～27年度事業費	37,195千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	地球温暖化対策のため、あらゆる日常活動において使用する電気ガス等のエネルギーを生成・使用する際に排出されるCO2を削減する必要がある。このため、省エネを進めるべく先進技術であるLED照明の市域全体への普及促進を目指す。LED照明は、市民の7割が導入希望はあるものの2の足を踏んでいる現状もあり、明かりと有効性の実地体験の場を増やす必要がある。
問題解決の方針	市が市民に身近な市有施設にLED照明を率先して導入することにより、実地体験の場を増やし、市域全体への普及促進を図る。照明に用いられるエネルギーは、民生業務部門のCO2排出内訳の第2位を占めており、照明LED化することにより、明るさの必要機能を維持しつつ、改正省エネ法で義務付けられた市自らが運営する際の省エネルギー化も図れる。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	さいたま市としては、市民や事業者への率先行動のPRと自らのCO2削減として、市有財産の屋内外照明のLED化を推進する。屋内照明については、平成24年度までに、延床面積2,000㎡以上の建物約80施設のうち8施設の照明LED化を目標とする。
求める効果、目標指標	当課において管理している、見沼ヘルシーランドの照明のLED化を実施する。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>地球温暖化対策事業 / 地球温暖化対策課 / H21～(公共施設LED導入調査実施)(さいたま新都心駅LED化)</p> <p>見沼ヘルシーランド照明LED化 / 市民総務課 / H23～H24</p> <p>岩槻本丸公民館照明LED化 / 生涯学習総合センター / H23</p> <p>桜木駐輪場照明LED化 / 都市交通課 / H23</p> <p>うらわ美術館照明LED化 / うらわ美術館 / H23～H24</p> <p>東大宮コミュニティセンター照明LED化 / コミュニティ課 / H23～H24</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <p>札幌市本庁舎LED化、京都府庁舎LED化、仙台市博物館LED化他</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	平成21年度 さいたま新都心駅LED化実施(地球温暖化対策課) 平成22年度 公共施設LED照明導入可能性調査実施(地球温暖化対策課)
平成23年度	見沼ヘルシーランドLED化詳細設計 岩槻本丸公民館LED化詳細設計・工事(生涯学習総合センター) 桜木駐輪場LED化詳細設計・工事(都市交通課) うらわ美術館LED化詳細設計(うらわ美術館) 東大宮コミュニティセンターLED化詳細設計(コミュニティ課)
平成24年度以降(目標年次も記入)	見沼ヘルシーランドLED化工事 うらわ美術館LED化工事(うらわ美術館) 東大宮コミュニティセンターLED化工事(コミュニティ課)

予算の事務事業名	保養施設管理運営事業
事業名	照明LED化推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		見沼ヘルシーランドLED化詳細設計	見沼ヘルシーランドLED化工事					
事業費(当初予算)		1,243	35,952					37,195
財源内訳	国県支出金	0	0					0
	市債	0	0					0
	その他	0	0					0
	一般財源	0	1,243	35,952	0	0	0	37,195

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
照明LED化詳細設計業務「建設設計等委託料」	見沼ヘルシーランドの照明のLED化を実施するための詳細の設計業務。	0	1,243	0	0
計 A		0	1,243	0	0
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	1,243	0	0

局長査定理由	事業の見送り	民間譲渡も含めた検討の方向性が示されているため、予算化を見送りました。
市長査定理由	事業の見送り	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	交通防犯課

市ス-02

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 12交通安全費				
2 予算の事務事業名	(コード) 03261001	(名称)	交通安全施設設置及び維持管理事業		
3 事業名	交通安全施設設置事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード)	1102 6201	(事業名)	LED化推進事業 交通安全施設設置事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号)	42	(事業名)	市内照明のLED化率全国1位を目指します。	
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕の対応を急いで欲しい。(私の提案) ・円滑な事業の運営を図るため、建設局への事業移管がより効率的と考える。(現場の声) ・予算不足により設置の要望対応が遅れる場合がある(現場の声) 				
9 事業概要	(概要)	交通事故防止のため、危険箇所道路照明灯や道路反射鏡などを設置します。また、道路照明灯についてはLED化を図り、維持管理費及びCO2排出の削減を推進します。			平成23～27年度事業費 1,540,000千円
	(根拠法令等)				

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・設計などの業務を行う技術者の確保。 ・製品性能の特徴把握技術の向上。 ・円滑な事業運営の推進。 	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者の確保依頼を実施 ・担当職員への研修の実施 ・担当職員調整会議の実施 	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	H22～ <ul style="list-style-type: none"> ・技術者の確保依頼を実施 ・担当職員への研修の実施 ・担当職員調整会議の実施 	
求める効果、目標指標	道路照明灯を年間1,400灯(うちLED道路照明灯1,000灯)、道路反射鏡を年間400基などを、適正かつ効果的に設置し、さいたま市交通安全計画の目標(平成22年においては、交通事故死亡者数28人以下)を達成する。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <hr/> <p>関連事業</p> <hr/> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>
------------------------------	--

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	各区100灯を目的に、年間市内1,000灯のLED道路照明灯を設置する。 各区40基を目的に、年間市内400基の道路反射鏡を設置する。
平成23年度	各区100灯を目的に、年間市内1,000灯のLED道路照明灯を設置する。 各区40基を目的に、年間市内400基の道路反射鏡を設置する。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	道路照明灯を年間1,400灯(うちLED道路照明灯1,000灯)設置し、平成25年度末に道路照明灯を88,200灯(うちLED道路照明灯5,160灯)設置する。また、道路反射鏡を年間400基設置し、平成25年度末に道路反射鏡設置数を16,900基とする。

予算の事務事業名	交通安全施設設置及び維持管理事業
事業名	交通安全施設設置事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	道路照明灯1,400灯設置(うちLED1,000灯) 道路反射鏡400基設置	道路照明灯1,400灯設置(うちLED1,000灯) 道路反射鏡400基設置	道路照明灯1,400灯設置(うちLED1,000灯) 道路反射鏡400基設置	道路照明灯1,400灯設置(うちLED1,000灯) 道路反射鏡400基設置	道路照明灯1,400灯設置(うちLED1,000灯) 道路反射鏡400基設置	道路照明灯1,400灯設置(うちLED1,000灯) 道路反射鏡400基設置		
事業費(当初予算)	254,000	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000		1,540,000
財源内訳								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	0		0
一般財源	254,000	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000	0	1,540,000

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
道路安全施設設置工事	交通事故防止を図るための道路反射鏡及び夜間の交通事故防止のための道路照明灯の設置。危険箇所交差点及び通学路等の交通事故防止を図るための路面表示の施工。	254,000	254,000	249,500	249,500
道路照明灯建替工事	老朽化した道路照明灯100灯の建替え工事	0	54,000	54,000	54,000
計 A		254,000	308,000	303,500	303,500

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	254,000	308,000	303,500	303,500

局長査定理由	積算内訳の精査	LEDによる道路照明灯等の整備の普及促進のために必要な経費と認められるため、ほぼ要求のとおりとしました。
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-03

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費								
2 予算の事務事業名	(コード) .03245301 (名称) 南浦和コミュニティセンター外17施設管理運営事業								
3 事業名	照明LED化推進事業								
4 事業の区分/分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1102 (事業名) LED化推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 42 (事業名) 市内照明のLED化率全国1位を目指します。								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である東大宮コミュニティセンターにおいて照明のLED化を実施します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>19,704千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である東大宮コミュニティセンターにおいて照明のLED化を実施します。	平成23～27年度事業費	19,704千円	(根拠法令等)			
(概要)	本市は地球温暖化対策として、省エネ照明器具であるLED照明の普及促進に努めるため、市民利用施設である東大宮コミュニティセンターにおいて照明のLED化を実施します。	平成23～27年度事業費	19,704千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	地球温暖化対策のため、あらゆる日常活動において使用する電気ガス等のエネルギーを生成・使用する際に排出されるCO2を削減する必要がある。このため、省エネを進めるべく先進技術であるLED照明の市域全体への普及促進を目指す。LED照明は、市民の7割が導入希望はあるものの二足を踏んでいる現状もあり、明かりと有効性の実地体験の場を増やす必要がある。
問題解決の方針	市が市民に身近な市有施設にLED照明を率先して導入することにより、実地体験の場を増やし、市域全体への普及促進を図る。照明に用いられるエネルギーは、民生業務部門のCO2排出内訳の第2位を占めており、照明LED化することにより、明るさの必要機能を維持しつつ、改正省エネ法で義務付けられた市自らが運営する際の省エネルギー化も図れる。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	さいたま市としては、市民や事業者への率先行動のPRと自らのCO2削減として、市有財産の屋内外照明のLED化を推進する。屋内照明については、平成24年度までに、延床面積2,000㎡以上の建物約80施設のうち8施設の照明LED化を目標とする。
求める効果、目標指標	当課において管理している、東大宮コミュニティセンターの照明のLED化を実施する。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>地球温暖化対策事業 / 地球温暖化対策課 / H21～(公共施設LED導入調査実施)(さいたま新都心駅LED化)</p> <p>東大宮コミュニティセンター照明LED化 / コミュニティ課 / H23～H24</p> <p>岩槻本丸公民館照明LED化 / 生涯学習総合センター / H23</p> <p>桜木駐輪場照明LED化 / 都市交通課 / H23</p> <p>うらわ美術館照明LED化 / うらわ美術館 / H23～H24</p> <p>見沼ヘルシーランド照明LED化 / 市民総務課 / H23～H24</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 札幌市本庁舎LED化、京都府庁舎LED化、仙台市博物館LED化他</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	平成21年度 さいたま新都心駅LED化実施(地球温暖化対策課) 平成22年度 公共施設LED照明導入可能性調査実施(地球温暖化対策課)
平成23年度	東大宮コミュニティセンターLED化詳細設計(コミュニティ課) 岩槻本丸公民館LED化詳細設計・工事(生涯学習総合センター) 桜木駐輪場LED化詳細設計・工事(都市交通課) うらわ美術館LED化詳細設計(うらわ美術館) 見沼ヘルシーランドLED化詳細設計(市民総務課)
平成24年度以降(目標年次も記入)	東大宮コミュニティセンターLED化工事(コミュニティ課) うらわ美術館LED化工事(うらわ美術館) 見沼ヘルシーランドLED化工事(市民総務課)

予算の事務事業名	南浦和コミュニティセンター外17施設管理運営事業
事業名	照明LED化推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画		東大宮コミュニティセンターLED化詳細設計	東大宮コミュニティセンターLED化工事					
事業費(当初予算)		1,056	18,648					19,704
財源内訳	国県支出金	0	0					0
	市債	0	0					0
	その他	0	0					0
	一般財源	0	1,056	18,648	0	0	0	19,704

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
照明LED化詳細設計業務「建設設計等委託料」	東大宮コミュニティセンターの照明のLED化を実施するための詳細の設計業務。要求額については、地球温暖化対策課の実施した調査業務における概算額を基に建設局設備課にて	0	1,056	1,000	1,000
計 A		0	1,056	1,000	1,000

<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	1,056	1,000	1,000

局長査定理由	積算内訳の精査	市有財産の屋内外照明のLED化を推進する必要経費として、概ね要求のとおりとしました。
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-04

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 01区政総務費				
2 予算の事務事業名	(コード) 03800801	(名称) 区役所管理事業			
3 事業名	太陽光発電設備設置事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1103	(事業名) 太陽光発電設備設置事業			
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 43	(事業名) 太陽光発電設備の設置を推進します。			
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声					
9 事業概要	(概要)	本市は地球温暖化対策として、市民に最も身近な区役所のうち西区・見沼区・緑区に、CO2の発生しないクリーンなエネルギーを創る太陽光発電設備の設置を推進します。		平成23～27年度事業費	155,665千円
	(根拠法令等)				
(1)現状と課題					
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	地球温暖化対策のため、あらゆる日常活動において使用する電気ガス等のエネルギーを生成・使用する際に排出されるCO2を削減する必要があります。このため、エネルギー生成時にCO2を排出しない太陽光発電のより一層の導入拡大を目指すため、太陽光発電が一般的な設備であることをPRする必要があります。		<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 市域の温室効果ガス排出量は、運輸部門(27%)、民生家庭部門(26%)、民生業務部門(24%)が上位を占め、全国や埼玉県の部門別CO2排出割合と比較し、民生部門(家庭)の占める割合が高い。平成21年度の住宅用太陽光発電は2,000kwであり、これを拡大しCO2の削減につなげることが必要である。		
問題解決の方針	市が市民に身近な区役所に太陽光発電を率先して導入することにより、より多くの市民の目に入る機会を増やして設備の一般化の意識を高め、市域全体への普及促進を図ります。また太陽光発電を導入することにより、市自らの運営に起因するCO2排出削減を図ります。				
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	市民や事業者への率先行動のPRと自らのCO2削減として、区役所への太陽光発電設置を推進します。				
求める効果、目標指標	西・見沼・緑の3区役所に太陽光発電を設置します。		<目標指標>(別添可・様式任意) 太陽光発電設置施設数 ・1施設(平成23年度) ・2施設(平成24年度)		
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ			(3)事業を展開していく上での課題		
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>地球温暖化対策事業 / 地球温暖化対策課 / H21～ (公共施設太陽光発電導入調査実施)</p>			市民生活		
<p>3区役所太陽光発電設置 / 区政推進室 / H23～H24</p> <p>西区役所太陽光発電設置 / 西区役所総務課 / H23</p> <p>見沼区役所太陽光発電設置 / 見沼区役所総務課 / H23～H24</p> <p>緑区役所太陽光発電設置 / 緑区役所総務課 / H23～H24</p> <p>南部浄化センター太陽光発電設置 / 南部浄化センター / H23</p>			関連事業		
			(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 平成19年度末現在 千葉市24施設360kw、横浜市138施設1,104kw、川崎市42施設142kw、埼玉県65施設1,792kw他		
(5)本事業の事業内容					
平成22年度以前	平成20年度末 25施設170kw設置済(小規模発電設備含) 平成21年度 公共施設LED照明導入可能性調査実施(地球温暖化対策課) 平成22年度 大宮武道館太陽光発電設備設置(スポーツ企画課) 西部文化センター太陽光発電設備設置(コミュニティ課)				
平成23年度	西区役所太陽光発電設備設置詳細設計・工事 見沼区役所太陽光発電設備設置詳細設計 緑区役所太陽光発電設備設置詳細設計 南部浄化センター太陽光発電設備設置詳細設計・工事(南部浄化センター)				
平成24年度以降(目標年次も記入)	見沼区役所太陽光発電設備設置工事 緑区役所太陽光発電設備設置工事				

予算の事務事業名	区役所管理事業
事業名	太陽光発電設備設置事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画		区役所太陽光発電設置 詳細設計(3区) 工事(西区)	区役所太陽光発電設置 工事(2区)					
事業費(当初予算)		58,960	96,705					155,665
財源内訳	国県支出金	0	0					0
	市債		49,100	0				49,100
	その他		0	0				0
	一般財源	0	9,860	96,705	0	0	0	106,565

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
太陽光発電設備設置 設計等委託料・太陽光発電設備設置工事「工事請負費」	西・見沼・緑区役所に太陽光発電設備を設置するための詳細設計業務及び西区役所に太陽光発電設備を設置するための工事。要求額については、地球温暖化対策課の実施した調査業務における概算額を基に建設局設備課にて積算。	0	58,960	53,739	53,739	
計 A		0	58,960	53,739	53,739	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
市債	区政総務事業債 45,000千円	0	49,100	45,000	45,000	
計 B		0	49,100	45,000	45,000	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		0	9,860	8,739	8,739	
局長査定理由	積算内訳の精査	太陽光発電設備の設置を推進する必要経費として、概ね要求のとおりとしました。				
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	西区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(01)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費				
2 予算の事務事業名	(コード) 03802001	(名称) 西区まちづくり推進事業			
3 事業名	西区花と緑のまちづくり推進事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214	(事業名) 花と緑のまちづくり推進事業			
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8	(事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定			
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声	区内の駅や駅周辺などを、区民と協働して、花や緑でいっぱいにしたいです。				
9 事業概要	(概要)	市民一人ひとりが生き生きと心豊かに暮らせる「花や緑の豊かなまち」を実現するため、市内全ての駅・駅周辺及び主要な観光スポットなどを区民と協働して、「花や緑」でいっぱいにします。		平成23～27年度事業費	5,000千円
	(根拠法令等)				
(1)現状と課題					
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	「しあわせ倍増プラン2009」に掲げられた、「みどり倍増プロジェクト」の検討過程で、市民との協働事業として区内の駅や駅周辺などを、区民等と協働により花や緑でいっぱいにする取組を実施します。			<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 啓発品配布数 花の苗の配布数 写真展示期間	
問題解決の方針	区内の花の名所や花壇を区民にPRします。区内を花や緑でいっぱいにする取組を行います。				
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	花いっぱい拠点事業の花壇に花の苗の配布を行います。啓発用花の種を配布し、「水と緑と花のまち」をPRします。区役所内に、花の名所や花壇の写真展示などを行います。				
求める効果、目標指標	区民の花や緑に関する取組みや、「水と緑と花のまち」をPRすることで、区民の活動を盛り上げ、区内を花や緑でいっぱいにします。			<目標指標>(別添可・様式任意) 啓発品配布数 2,000個 花の苗の配布数 10,000苗 写真展示期間 4ヶ月	
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ			(3)事業を展開していく上での課題		
<p style="text-align: center;">中心となる事業、 法令又は方針</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">しあわせ倍増プラン2009 みどり倍増プロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総合振興計画新実施計画 花と緑のまちづくり推進事業</div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 0 auto; width: 80%;">西区花と緑のまちづくり推進事業</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">花いっぱい事業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">～H22 区の花策定事業</div> </div>			市民生活		
			関連事業 ・みどり倍増プロジェクト ・区の花啓発事業		
			(4)他市事例(県内市町村、政令市等)		
(5)本事業の事業内容					
平成22年度以前	花いっぱい拠点事業の花壇に花の苗を配布。啓発品の配布。お気に入りの花壇コンクールを実施します。				
平成23年度	花いっぱい拠点事業の花壇に花の苗を配布。啓発品の配布。区内の花の名所や花壇の写真展示します。				
平成24年度以降 (目標年次も記入)	継続。				

予算の事務事業名	西区まちづくり推進事業
事業名	西区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	/	/
事業費(当初予算)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		5,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0	5,000

一般財源の欄は、特別会計によっては繰入金、企業会計によっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	・拠点となる花壇に配布する花の苗。 ・周知PRする写真展示、配布啓発品。	1,000	1,000	1,000	1,000
計 A		1,000	1,000	1,000	1,000
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	局長査定
A - B		1,000	1,000	1,000	1,000

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	北区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(02)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03802501	(名称) 北区まちづくり推進事業
3 事業名	北区花と緑のまちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年
			区役所
			健康長寿
			子育て
			ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区内の駅・駅周辺を区民と協働して「花と緑」でいっぱいにします。	平成23～27年度事業費 981千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	現在、北区内での駅では、土呂駅と宮原駅のみが駅前が花で飾られています。より多くの駅を花と緑でいっぱいにするための、花と緑のまちづくりの仕組みづくりが確立されていません。
問題解決の方針	花を設置できる場所については、調査及び関係部署と協議をします。花の世話をしていただけるボランティア団体については、市報さいたま北区版で募集し、あわせて自治会に個別交渉をして開拓します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成22年度に調査及び関係部署に協議をし、平成23年度には東宮原駅と加茂宮駅にプランターを設置する形式で事業が実行できる見込みです。また、プランター・土・花を区で購入し、花の植え込みや手入れ、水あげをしていただけるボランティア団体を募集・開拓していきます。手入れ等に必要の諸機材は区が購入し、団体に貸与する形で、区民と区の協働によって花と緑のまちづくりを推進します。
求める効果、目標指標	・駅前が花で飾られることにより、駅利用者や近隣住民にやすらぎを与えることができます。 ・区民と区が1つの事業を協働で実施することにより、まちづくりの活性化が図られます。 ・平成24年度以降、さらに調査・協議を進め、設置できる駅等を増やしていきます。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[しあわせ倍増プラン2009 みどり倍増プロジェクト] --- B[総合振興計画新実施計画 花と緑のまちづくり推進事業] B --- C[北区花と緑のまちづくり推進事業] C --- D[花いっぱい事業] C --- E[~H22 区の花策定事業] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・北区の花啓発事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	なし
平成23年度	東宮原駅前歩道、加茂宮駅前における花と緑のまちづくりの推進
平成24年度以降(目標年次も記入)	区内の駅、駅周辺における花と緑のまちづくりの推進

予算の事務事業名	北区まちづくり推進事業
事業名	北区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		花と緑のまちづくりの推進	花と緑のまちづくりの推進	花と緑のまちづくりの推進	花と緑のまちづくりの推進	花と緑のまちづくりの推進		
事業費(当初予算)		741	60	60	60	60		981
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	0	741	60	60	60	0	981

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	・植栽するための、プランター、土、苗、シャベル、軍手代、参加者保険料振込手数料等。 (東宮原駅前歩道・加茂宮駅前)	0	741	741	741
計 A		0	741	741	741

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	0	741	741	741

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成 2 3 年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	大宮区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(03)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03803001	(名称) 大宮区まちづくり推進事業
3 事業名	大宮区花と緑のまちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年
			区役所
			健康長寿
			子育て
			ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	大宮駅東口駅前広場が整備されたが、花や緑が少ないので増やしてほしいです。(地区別懇談会)		
9 事業概要	(概要)	区民、地域の団体の協働により、駅周辺などの人が多く集まる場所にプランターなどを活用し草花を植え付け、区民に身近な緑に出会う機会を創出します。	平成23～27年度事業費
	(根拠法令等)		4,146千円

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	都市部では開発等により、年々緑地が減少しており、「花や緑の豊かなまち」の実現には、緑地の保全や再生が重要です。駅前、駅周辺においても、花や緑が少ないです。
問題解決の方針	区民、地域の団体との協働により、駅前にプランターを設置し、花や緑でいっぱいにします。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度 大宮駅東口事業で開始 ・23年度 大宮公園駅、北大宮駅、鉄道博物館駅で事業開始予定 ・24年度 大宮駅西口で事業開始予定
求める効果、目標指標	多くの区民が参加し、区民一人ひとりが生き生きと心豊かに暮らせる「花や緑の豊かなまち」を実現します。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p style="text-align: center;">中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活 協働で実施する団体の選定</p>
	<p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・大宮区の花啓発事業 ・さいたま新都心花・緑プロジェクト【計画管理課】
(4)他市事例(県内市町村、政令市等)	

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	大宮駅東口駅前一般車輛ロータリー内で事業開始
平成23年度	大宮駅東口駅前の維持管理(継続) 大宮公園駅、北大宮駅、鉄道博物館駅で事業開始予定
平成24年度以降(目標年次も記入)	事業開始している4駅の維持管理 大宮駅西口で事業開始予定

予算の事務事業名	大宮区まちづくり推進事業
事業名	大宮区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	プランター・花苗・肥料等の提供	プランター・花苗・肥料等の提供	プランター・花苗・肥料等の提供	花苗・肥料等の提供	花苗・肥料等の提供	花苗・肥料等の提供		
事業費(当初予算)	200	1,071	909	722	722	722		4,146
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	200	1,071	909	722	722	0	4,146

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	・各駅前にプランターを設置し、花苗の年3回植え付けを行うための、プランター、花苗、肥料、参加者保険料、振込み手数料等。 【大宮駅(継続)、大宮公園駅(新規)、北大宮駅(新規)、鉄道博物館駅(新規)】	200	1,071	1,071	1,071
計 A		200	1,071	1,071	1,071
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		200	1,071	1,071	1,071

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財務局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財務局原案のとおりとしました。

平成 23 年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(04)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政推進費 / 02区民まちづくり推進費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03803501 (名称) 見沼区まちづくり推進事業								
3 事業名	見沼区花と緑のまちづくり推進事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>区内の駅や駅周辺を花でいっぱいにするため、水やり等の管理をするボランティア団体に花苗などの資材を提供し、区民との協働による花と緑のまちづくりを推進します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>1,269千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td colspan="3">見沼区花と緑のまちづくり推進事業実施要綱</td> </tr> </table>	(概要)	区内の駅や駅周辺を花でいっぱいにするため、水やり等の管理をするボランティア団体に花苗などの資材を提供し、区民との協働による花と緑のまちづくりを推進します。	平成23～27年度事業費	1,269千円	(根拠法令等)	見沼区花と緑のまちづくり推進事業実施要綱		
(概要)	区内の駅や駅周辺を花でいっぱいにするため、水やり等の管理をするボランティア団体に花苗などの資材を提供し、区民との協働による花と緑のまちづくりを推進します。	平成23～27年度事業費	1,269千円						
(根拠法令等)	見沼区花と緑のまちづくり推進事業実施要綱								

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	・区内の3駅は植栽が行われていますが、駅周辺等にも事業実施場所を拡大させる等、事業を充実する必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 植栽場所 ・大和田駅 ・七里駅 ・東大宮駅(市花いっぱい運動)
問題解決の方針	・参加団体を増やします。 ・1年を通して花を絶やさないようにします。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	23年度は早期に区報及びHP等の広報により事業内容の周知を十分に行い団体の参加を促します。	
求める効果、目標指標	区内の駅や駅周辺を花でいっぱいすることで、区民との協働による親しみのあるまちづくりを推進します。	<目標指標>(別添可・様式任意) 大和田駅、七里駅の他に区内(駅周辺、観光スポット等公共施設を含む)2箇所以上で新規展開。プランター16基、花苗480株、肥料8袋他用土等(新規団体用)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、 法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <hr/> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・見沼区区の花啓発事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	平成22年度新規事業として開始。公募によりボランティア団体を募り、花苗やその他資材を提供し、区内2カ所の駅で植栽を実施。
平成23年度	年度早期に参加募集をかけ、事業を広くPRし団体の参加呼びかけを行い事業を継続。内容は前年どおり。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	平成23年度の事業状況により、要綱の見直しを含めた事業の見直しを行い事業の充実を図る。

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業							
事業名	見沼区花と緑のまちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	参加団体募集 資材提供	参加団体募集 資材提供	資材提供	資材提供	資材提供	資材提供		
事業費(当初予算)	250	269	250	250	250	250		1,269
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	250	269	250	250	250	0	1,269
一般財源の欄は、特別会計によっては繰入金、企業会計によっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。								
平成23年度予算要求内訳								
<事業費>								
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
花卉等の管理	・ボランティア団体に植栽のために提供する、花苗、プランター、肥料、用土、参加者保険料、振込み手数料等。	250	269	269	269			
計 A		250	269	269	269			
<特定財源>								
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
計 B		0	0	0	0			
<一般財源>								
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
A - B		250	269	269	269			
局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。						
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。						

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	中央区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(05)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03804001	(名称) 中央区まちづくり推進事業
3 事業名	中央区花と緑のまちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年
			区役所
			健康長寿
			子育て
			ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	(既に事業実施している箇所から)植花回数を増やしたい、との要望があります。		
9 事業概要	(概要)	区民・団体等との協働により、区内各所の道路(プランター)等に花苗を植え、また花苗・種を配布します。	平成23~27年度事業費
	(根拠法令等)		10,000千円

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	都市部では開発等により、年々緑地が減少しています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 中央区の緑被率は10区中最低となっています。
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 協働により区内各所に花と緑を増やし、維持します。 花苗・種の配布により、日々の生活の場所などに花と緑を増やします。 	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	23年度に、22年度までに植栽した箇所の維持および見直し、手法や協働のパートナー・植栽箇所増等を検討します。(以降随時)	
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> 区民に身近な場所での花と緑の増加 見直しによる、より効率的な事業実施 「区の花」の活用・アピールによるイメージ浸透(相乗効果) 	<目標指標>(別添可・様式任意) 植栽箇所増・参加区民増

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	市民生活
	<p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> みどり倍増プロジェクト
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	(中央区花づくり事業) <ul style="list-style-type: none"> 区民・団体等との協働により道路(プランター)等に花苗を植栽 区内児童センター(3ヶ所)で来所者が花苗を植栽 区内各種イベント時の花苗・花のタネの配布による啓発
平成23年度	上記に加え、当該年度に制定される区の花を活用し、区内各種イベント等の際に花苗や花のタネ等の配布を行い、区民の協力により身近な場所での花と緑を増やし、また区の花のアピール・イメージ浸透を図ります。
平成24年度以降(目標年次も記入)	24年度が「みどり倍増プロジェクト」の最終年度となるため、同プロジェクトの方向による部分もありますが、実際に植栽をした箇所については継続していくこととなります。

予算の事務事業名	中央区まちづくり推進事業
事業名	中央区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	花づくり事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業		
事業費(当初予算)	1,800	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		10,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,800	2,000	2,000	2,000	2,000	0	10,000

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
協働による道路等への花植栽	区民・団体等との協働により、区内各所の道路(プランター)等に花苗を植え、育てます。	220	309	309	309
区内児童センターを活用した花植栽	区内3児童センターの来所者が、各児童センター(プランター等)に花苗を植え、育てます。 (「児童センター de 花づくり」)	434	530	530	530
まつり時の花苗配布(チャリティー)	区民まつり/ばらまつりの際、「花いっぱい運動推進会」の協力を得てチャリティー(くじ引き)で花苗を配布、「区の花」アピール・緑化啓発	420	390	390	390
区内イベント時に花苗・タネ等配布	区内の各種イベントに際し、花苗および花のタネ等を配布、「区の花」アピール・緑化啓発	726	771	771	771
計 A		1,800	2,000	2,000	2,000
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		1,800	2,000	2,000	2,000

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	桜区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(06)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03804501	(名称) 桜区まちづくり推進事業
3 事業名	花と緑いっぱい事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区民と協働して駅等を「花や緑」でいっぱいにします。	平成23~27年度 事業費 10,216千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	桜区内では、西浦和駅周辺や大宮バイパス沿いまた五関地区の住民により、地域に花の植栽作業等を行っています。今後さらに、このような組織を新たに立ち上げ、地域住民と区役所が一体になって、駅や区役所周辺を花や緑でいっぱいにしていくことで、区全体が緑で潤って行くようにしたいです。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	花の植栽や維持管理の作業を地域住民とともに行うにあたり、参加者の参加意欲や喜びを見出して行きます。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)		
求める効果、目標指標	多くの区民の参加及び参加団体を募ります。	<目標指標>(別添可・様式任意) 参加団体 4団体

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	(3)事業を展開していく上での課題
	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・区の花等活用事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	
平成23年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 西浦和駅の構内にプランターを設置し、地域住民また駅とも協働して季節の花を育てます。 2 桜区役所(プラザウエスト)の近隣にある土地を利用し、地域住民と協働して季節の花を育てて行きます。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	区民や事業者等との協働により、花と緑が桜区にさらに増えるよう、平成27年度まで実施します。

予算の事務事業名	桜区まちづくり推進事業
事業名	花と緑いっぱい事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		花の植栽を実施	花の植栽を実施	花の植栽を実施	花の植栽を実施	花の植栽を実施	/	/
事業費(当初予算)		2,044	2,043	2,043	2,043	2,043		10,216
財源内訳								
国県支出金		0	0	0	0	0		0
市債		0	0	0	0	0		0
その他		0	0	0	0	0		0
一般財源	0	2,044	2,043	2,043	2,043	2,043	0	10,216

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
＜事業費＞					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
植栽指導	・植栽にあつての参加者への指導をしてもらう講師への謝金。	0	45	45	45
花卉等の管理	・植栽するための、プランター、腐葉土、シャベル、鎌、季節の花の苗、保険料等 ・事業地の看板設置、除草・整地、刈った草等の廃棄処分手数料。	0	1,999	1,999	1,999
計 A		0	2,044	2,044	2,044
＜特定財源＞					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
＜一般財源＞					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	2,044	2,044	2,044

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(07)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード)	03805001	(名称)	浦和区まちづくり推進事業		
3 事業名	花とみどりの豊かなまちづくり推進事業					
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿	子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214	(事業名)	花と緑のまちづくり推進事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8	(事業名)	花と緑でいっぱい・区の花の制定	
7 行財政改革推進プラン	該当なし					
8 市民の声、現場の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前に花がきれいに咲いていて心が和む。続いてほしいです。(市民の声) ・ みずやり等、花の維持管理を共に活動してくれる人を増やしてほしいです。(現場の声) 					
9 事業概要	(概要)	区内3駅周辺の環境美化や放置自転車等の排除による歩行者の安全を確保するとともに、地元自治会、商店会及び障害者団体等との協働でまちづくりを推進するため、駅周辺のプランター等に季節の花を植え、水やり等の活動を行っています。また、財源確保として花の里親制度を導入しています。			平成23～27年度事業費	7,500千円
	(根拠法令等)					

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	植花以降、水やり等の維持管理に課題があります。 ・ みずやり等の協力者の確保。 ・ 水道栓の確保。 ・ 維持管理のために必要な道具を収納する場所の確保。 ・ 活動後、協力者に飲料が配布できないこと。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	市のプロジェクトとして継続していく事業であるならば全庁的な連携が不可欠です。 ・ 道路建設や駅前広場等の整備に伴い花壇を整備する際は水道栓や道具入れの場所を確保します。 ・ 市でボランティアバンク等の登録制度を導入し、事業の用途に応じたボランティアが確保できる体制を作ります。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	市のプロジェクトとして継続していく事業であるならば全庁的な連携が不可欠です。 ・ 道路建設や駅前広場等の整備に伴い花壇を整備する際は水道栓や道具入れの場所を確保します。 ・ 市でボランティアバンク等の登録制度を導入し、事業の用途に応じたボランティアが確保できる体制を作ります。	
求める効果、目標指標	課題を解決しながら活動エリアを区内全域に広げ、協働理念に基づいたまちづくりを推進していきます。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	市民生活
	<p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みどり倍増プロジェクト
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	平成21年度から、区内3駅周辺のプランター等に、地元自治会、商店会及び障害者団体等との協働で植花及び維持管理活動を行っています。
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動エリアは拡大せず、これまでの活動を更に充実させます。 ・ ボランティアの確保。 ・ 区の花のPR。
平成24年度以降(目標年次も記入)	継続します。市民との協働による継続事業であり目標達成に期限は定めません。事業の内容を改善しながら継続することが目標です。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	花とみどりの豊かなまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	区内3駅周辺の植花活動	区内3駅周辺の植花活動	実行委員会で決定	実行委員会で決定	実行委員会で決定	実行委員会で決定		
事業費(当初予算)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		7,500
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	0	7,500

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	花の苗及び、肥料、プランター、ホース、スコップ等、維持管理に必要な道具類。	1,200	1,200	1,200	1,200
委員等協力者	報償費、費用弁償、保険料。	100	100	100	100
事業啓発	お花の里親及びボランティア募集、活動PR等のポスター、チラシ作成に伴う、広報・啓発費。	200	200	200	200
計 A		1,500	1,500	1,500	1,500

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	1,500	1,500	1,500	1,500

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	南区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(08)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03805501 (名称) 南区まちづくり推進事業
3 事業名	南区花と緑のまちづくり推進事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	もっと花を増やしていきたい。(コミュニティ会議認定団体) 花や緑を増やしてほしい。(区民の声)
9 事業概要	(概要) 花や緑を増やす活動を支援します。 平成23~27年度 事業費 5,781千円
	(根拠法令等)

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	南区内の駅前(南浦和駅、武蔵浦和駅、中浦和駅)等を、区民等との協働により花と緑でいっぱいにする取り組みが必要となっています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	既存の花と緑をいっぱいにする活動団体を支援するとともに、新たに区民等との協働により駅前や駅周辺、観光スポット等を花や緑でいっぱいにします。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	南浦和駅、武蔵浦和駅、中浦和駅周辺の自治会や商店会等に働きかけていきます。	
求める効果、目標指標	区民が身近に緑に出会う機会を創出し、区民同士のふれあいや絆を深めることができます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 区内の駅を、区民等との協働により「花と緑」でいっぱいにします。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

中心となる事業、 法令又は方針	<pre> graph TD A[しあわせ倍増プラン2009 みどり倍増プロジェクト] --- B[南区花と緑のまちづくり推進事業] C[総合振興計画新実施計画 花と緑のまちづくり推進事業] --- B B --- D[花いっぱい事業] B --- E[~H22 区の花策定事業] </pre>	(3)事業を展開していく上での課題
	市民生活	関連事業 ・みどり倍増プロジェクト
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)	

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	花いっぱい運動を行っている団体へ支援しました。
平成23年度	花いっぱい運動を行っている団体への支援を行います。 区民(自治会、商店会等)との協働による植栽等を行います。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	花いっぱい運動を行っている団体への支援を行います。 区民(自治会、商店会等)との協働による植栽等を行います。

予算の事務事業名	南区まちづくり推進事業
事業名	南区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	花いっぱい事業(1団体)区の花制定	花いっぱい事業(10団体)	花いっぱい事業(10団体)	花いっぱい事業(10団体)	花いっぱい事業(10団体)	花いっぱい事業(10団体)		
事業費(当初予算)	300	1,181	1,150	1,150	1,150	1,150		5,781
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	300	1,181	1,150	1,150	1,150	0	5,781

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	・植栽するための、プランター、苗、参加者保険料、振込み手数料等。	0	1,181	1,181	1,181
事業補助金	・花いっぱい事業支援補助金(1団体) 300千円	300	0	0	0
計 A		300	1,181	1,181	1,181
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		300	1,181	1,181	1,181

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求どおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	緑区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(09)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03806001	(名称) 緑区まちづくり推進事業
3 事業名	緑区花と緑のまちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年
			区役所
			健康長寿
			子育て
			ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区民との協働により、緑区内の駅や駅周辺に草花を植え付け、区民の皆様が花と緑に出会うまちづくりを進めます。(浦和美園駅前において、花壇を設置します。)	平成23～27年度事業費 1,013千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	・浦和美園駅の苗の植え付けや管理を「緑区花仲間の会」会員が行う予定で準備を進めています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	・特に浦和美園駅周辺の会員募集を重点的に行っていきます。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	・会員募集を行うために、市報さいたま緑区版・公民官報等に掲載をします。(目標：平成22年度)	
求める効果、目標指標	・区民との協働により草花を植え付け、区民一人ひとりが心豊かに暮らし、花と緑に出会うまちづくりを進めます。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	市民生活
	<p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・緑区区の花(・木・鳥)広報事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	・緑区内主要スポットへ、苗の植え付けを行います。
平成23年度	・緑区内主要スポットへ、植え替えを行います。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	・緑区内主要スポットへ、苗の植え付けを継続します。

予算の事務事業名	緑区まちづくり推進事業
事業名	緑区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	苗の植え付け	苗の植え付け	苗の植え付け	苗の植え付け	苗の植え付け	苗の植え付け		
事業費(当初予算)	300	213	200	200	200	200	200	1,213
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	300	213	200	200	200	200	1,213

一般財源の欄は、特別会計によっては繰入金、企業会計によっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	緑区内の駅や駅周辺に、草花の植え付けを行うための、花の苗等。	300	213	213	213
計 A		300	213	213	213
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		300	213	213	213

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求どおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	岩槻区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(10)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03807001	(名称) 岩槻区まちづくり推進事業
3 事業名	岩槻区花と緑のまちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年
			区役所
			健康長寿
			子育て
			ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	生き生きと暮らせる花や緑の豊かなまちづくり。(市民の声)		
9 事業概要	(概要)	駅や観光スポット等を区民と協働により花や緑でいっぱいにします。	平成23～27年度事業費 1,468千円
	(根拠法令等)	さいたま市岩槻区花と緑のまちづくり推進事業要領	

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	都市部では年々緑地が減少しています。 <左の根拠指標>(別添可・様式任意) 駅前の花や緑の面積
問題解決の方針	区民との協働により、駅前にプランターを設置し花いっぱいにします。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	1. 花の維持管理 (H23～H25) 2. 管理団体への支援 (H23～H25) 3. 管理団体の自立化 (H26～)
求める効果、目標指標	多くの区民が参加し、生命感や躍動感にあふれ、区民一人ひとりが生き生きと心豊かに暮らせる「花や緑の豊かなまち」を実現します。 <目標指標>(別添可・様式任意) プランターの設置数

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
	市民生活 協働団体に自立までの支援 関連事業 ・みどり倍増プロジェクト ・岩槻区区の花啓発事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 坂戸市、川崎市

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	・駅前に花をボランティアが管理するも、資金不足により撤退を予定していました。 ・駅改修により新駅前広場には全く花はない状態であり、地域住民から要望が出ていました。
平成23年度	平成22年度事業開始に伴い、プランターは岩槻駅前及び東岩槻駅前(北口・南口)に55基設置を行ったのち、平成23年度は花苗の入れ替えのため、花、肥料、培養土等を随時支給していきます。
平成24年度以降(目標年次も記入)	平成27年までに、各ボランティア団体や自治会が中心となり、多くの区民が花と緑に出会う機会を倍増させていきます。

予算の事務事業名	岩槻区まちづくり推進事業
事業名	岩槻区花と緑のまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)	
	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	花苗及び備品提供		花苗・肥料等提供	花苗・肥料等提供	花苗・肥料等提供	花苗・肥料等提供	花苗・肥料等提供		
事業費(当初予算)		1,050	367	367	367	367			1,468
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0			0
	市債	0	0	0	0	0			0
	その他	0	0	0	0	0			0
	一般財源	1,050	367	367	367	367			1,468

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
花卉等の管理	・年2回(春・秋)程度、花の植え替えを行うための、花苗代、肥料代、培養土代等	1,050	367	367	367
計 A		1,050	367	367	367
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		1,050	367	367	367

局長査定理由	要求どおり	市民との協働で街を花と緑でいっぱいにするために必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	西区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(11)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03802001 (名称) 西区まちづくり推進事業
3 事業名	西区「区の花」啓発事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	「花や緑の豊かなまち」を実現するために、区の緑化推進のシンボルフラワーとして、「区の花」を制定し、区民にPRしたいです。
9 事業概要	(概要) 市民一人ひとりが生き生きと心豊かに暮らせる「花や緑の豊かなまち」を実現するため、区の緑化推進のシンボルフラワーとして、「区の花」を制定し、区民にPRします。 平成23～27年度 事業費 95千円
	(根拠法令等)

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	「しあわせ倍増プラン2009」に掲げられた、「みどり倍増プロジェクト」の検討過程で、市民との協働事業として、各区が区民投票などを行い、「区の花」を制定し、区内の駅や駅周辺などを、区民等との協働により花や緑でいっぱいにする取組みを実施します。 <左の根拠指標>(別添可・様式任意) パネル展示数
問題解決の方針	「区の花」の啓発を行います。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	区内公共施設に「区の花」のパネル展示を行います。
求める効果、目標指標	公共施設に「区の花」のパネル展示を行うことで、多くの区民にPRします。 <目標指標>(別添可・様式任意) パネル展示数 9枚

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[しあわせ倍増プラン2009 みどり倍増プロジェクト] --- B[西区花と緑のまちづくり推進事業] C[総合振興計画新実施計画 花と緑のまちづくり推進事業] --- B B --- D[花いっぱい事業] B --- E[~ H22 区の花策定事業] E -.- F[H23 ~ 「区の花」啓発事業] </pre>	市民生活 関連事業 ・みどり倍増プロジェクト ・西区花と緑のまちづくり推進事業 (4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市、千葉市、大阪市、他

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	
平成23年度	「区の花」の啓発として、区内公共施設にパネル展示を行います。また、ガイドマップ等への掲載、花の啓発品への表示等は実施予定ですが、既存事業で対応します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	ガイドマップ等への掲載、花の啓発品への表示等を既存事業で対応します。

予算の事務事業名	西区まちづくり推進事業
事業名	西区「区の花」啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		「区の花」啓発事業						
事業費(当初予算)		95						95
財 源 内 訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	95	0	0	0	0	95

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
区の花啓発用品作成	区の花の周知・PRを行うためのパネル、啓発品等。	0	95	95	95
計 A		0	95	95	95
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	95	95	95

局長査定理由	要求どおり	区の花の普及啓発に必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	北区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(12)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03802501 (名称) 北区まちづくり推進事業
3 事業名	北区の花啓発事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	(概要) 区の花を広くお知らせするため、区の花決定セレモニーを開催します。平成23～27年度事業費 891千円
	(根拠法令等)

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	「区の花」については、平成22年度に選定、平成23年度に公表する予定になっていますが、まずは、「北区の花」を多くの区民の方々に広く周知しなければなりません。また、透明化を図るため、決定までのプロセスを直接報告する場を設定し、理解を得る必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	「北区の花」の効果的な周知方法を考えます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	「北区の花」の公表にあわせ、北区の貴重な地域資源(人材)を活用したミニコンサートやよさこい踊りのイベントをセレモニーと同時に開催することにより、セレモニーへの参加者も増え、多くの区民が関心を持ち、区の花に関心を持っていただけます。同時に、地域の方の活躍を多くの区民が目にするにより、意識の醸成や区の活性化が図られます。(平成23年度)	
求める効果、目標指標	・「北区の花」の周知 ・北区の他の地域資源を活用したまちづくり	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・北区花と緑のまちづくり推進事業
	<p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <p>横浜市、千葉市、大阪市、他</p>

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	なし
平成23年度	・区の花決定セレモニーの開催(5月下旬～6月上旬) 内容：区の花決定報告セレモニー、地元演奏家によるピアノコンサート、よさこいソーラン踊り、区の花の配布
平成24年度以降 (目標年次も記入)	ガイドマップ等への掲載、花の啓発品への表示等を既存事業で対応します。

予算の事務事業名	北区まちづくり推進事業
事業名	北区の花啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		区の花決定セ レモニーの開 催						
事業費(当初予算)		891						891
財 源 内 訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	891	0	0	0	0	891

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
区の花啓発セ レモニー開催	区の花決定セレモニーの開催する。 ・会場使用料、会場設営等、及び配布用花の 種	0	891	891	891
計 A		0	891	891	891
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	891	891	891

局長査定理由	要求どおり	区の花の普及啓発に必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	大宮区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(13)

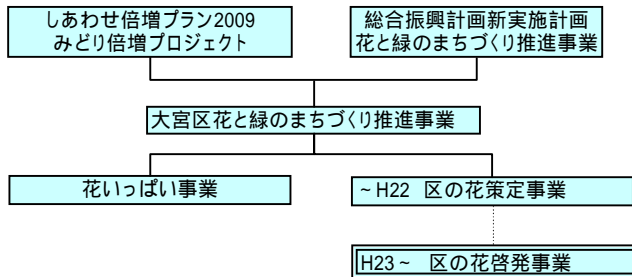
1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03803001	(名称) 大宮区まちづくり推進事業
3 事業名	大宮区区の花啓発事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	・区の広報ツールとして活用することが可能となるよう、区の花デザインを作成してほしいです。(現場の声)		
9 事業概要	(概要)	誰もが自由に使用できる広報ツールとして区の花をデザイン化します。	平成23~27年度事業費 777千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・区の花を広く内外に周知するため、制定後の普及啓発に向けたデザインの規格を作成し、区の広報ツールとして、区民及び職員が統一的・効果的に広報印刷物等に活用することが可能となるよう、データの作成及び使用マニュアルを整備する必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・デザインデータの有無 ・デザインマニュアルの有無 ・ホームページ等によるデザインデータ及びマニュアル提供の有無
問題解決の方針	・区の花の認知度向上に向け、区民と区の協働によりデザインを策定します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	1. 区の花のデザイン化(H23) 2. 区の花デザインを広報ツールとして印刷物等に活用(H23~)	
求める効果、目標指標	・広報印刷物等にデザインが使用されることにより、区の花認知度の向上と併せ、区への愛着心の向上やふるさと意識の醸成を図ります。	<目標指標>(別添可・様式任意) ・区の花デザインを活用した事業数 ・区の花デザインを活用した広報印刷物等の数

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

中心となる事業、法令又は方針



- * ハコの中には、事業名 / 所管課 / 事業期間を記入。
- * 共通の課題について市全体でどのように取り組んでいるのかを整理する。

(3)事業を展開していく上での課題

市民生活

関連事業

- ・みどり倍増プロジェクト
- ・大宮区花と緑のまちづくり推進事業

(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

横浜市、千葉市、大阪市、他

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・区の花デザイン策定委員会の設置 ・デザイン案公募 ・デザイン案アンケートの実施 ・デザインの決定、精緻化 ・デザインデータ及びデザインマニュアルの作成、公表
平成24年度以降 (目標年次も記入)	・区の花デザインを全庁的に広報印刷物等に活用します。

予算の事務事業名	大宮区まちづくり推進事業
事業名	大宮区の花啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		デザインデータ、デザインマニュアル作成	区の花普及啓発	区の花普及啓発	区の花普及啓発	区の花普及啓発		
事業費(当初予算)		377	100	100	100	100		777
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	377	100	100	100	100	0	777

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
デザイン策定委員会の設置	デザイン策定委員会を設置し、区の花デザインを検討します。 ・委員謝礼、保険料、保険加入手数料	0	57	0	0
デザイン案の公募	区内公共施設やホームページ等でデザイン案を公募します。 ・募集チラシや応募用紙等、広報印刷物等作成に要する事務用品代	0	10	0	0
デザイン案アンケートの実施	区内小中学生を対象としてデザイン選定のためのアンケートを実施します。 ・募集チラシや解答用紙等、広報印刷物等作成に要する事務用品代	0	10	0	0
デザインデータ及びデザインマニュアルの作成、公表	・デザインデータ、デザインマニュアル作成経費	0	300	0	0
計 A		0	377	0	0
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	377	0	0

局長査定理由	事業の見送り	市のキャラクターの活用等の方法も考えられることから、区としての独自デザインは現在のところ不要と判断し、予算化を見送りました。
市長査定理由	事業の見送り	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(14)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政推進費 / 区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03803501	(名称) 見沼区まちづくり推進事業
3 事業名	見沼区の花啓発事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	見沼区の「区の花」であるクマガイソウ(H20年制定)を区民により広く知っていただき、愛着や環境保護に関心を持ってもらうために、区役所及び区内公共施設でティッシュペーパーなどを配布し広報します。	平成23~27年度 事業費 69千円
	(根拠法令等)	見沼区区民会議において区民アンケートにより、平成20年度に制定。	
(1)現状と課題			
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・クマガイソウが見沼区の花として制定されましたが、区民に浸透していません。		<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 御蔵尾島家所有地に現在1,000株。(最盛期には3,000株)
問題解決の方針	クマガイソウが市指定の天然記念物であることを区民に広く知っていただき関心を持ってもらいます。		
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	各種の広報・啓発手段により、区民が選んだ「区の花」クマガイソウについての植生などを区民に理解してもらいます。		
求める効果、目標指標	「区の花」クマガイソウを含めて、区民が選んだ生き物や景観に関心を持っていただき、地域への愛着心を高めます。		<目標指標>(別添可・様式任意)
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ		(3)事業を展開していく上での課題	
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[しあわせ倍増プラン2009 みどり倍増プロジェクト] --- B[見沼区花と緑のまちづくり推進事業] C[総合振興計画新実施計画 花と緑のまちづくり推進事業] --- B B --- D[花いっぱい事業] B --- E[~ H22 区の花策定事業] E --- F[H23~ 区の花啓発事業] </pre>		市民生活	
		関連事業 ・みどり倍増プロジェクト ・見沼区花と緑のまちづくり推進事業	
		(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市、千葉市、大阪市、他	
(5)本事業の事業内容			
平成22年度以前	平成20年度制定。広報紙などにより公表。		
平成23年度	啓発用品等を区内公共施設に設置。また、区役所にてパネルを使用した啓発を行います。		
平成24年度以降 (目標年次も記入)	広報紙により啓発。		

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業							
事業名	見沼区の花啓発事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		ティッシュペーパーの配布	広報誌等によりPR					
事業費(当初予算)		69						69
財源内訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	69	0	0	0	0	69

一般財源の欄は、特別会計によっては繰入金、企業会計によっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
区の花啓発用品作成	区内公共施設やイベント等でティッシュペーパーを配布。	0	69	0	0
計 A		0	69	0	0

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	69	0	0

局長査定理由	事業の見送り	啓発の方法に工夫の余地があり、引き続き検討すべきものとして見送りました。
市長査定理由	事業の見送り	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	桜区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(15)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03804501	(名称) 桜区まちづくり推進事業
3 事業名	区の花等活用事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	制定された『区の花・区の木』についての啓発及び活用を図ります。	平成23～27年度事業費 2,235千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	平成22年度に制定された区の花(桜区においては区の木も含む)について、広く桜区民へ周知する必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	花や木は私たちの身近に感じられるものであることを認識します。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	日常目にするものや公共物に区の花等を示したり、植栽、植樹の方法や維持管理についての講習会などを開催します。	
求める効果、目標指標	区の花、区の木を認知してもらいます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 認知度 95パーセント

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[しあわせ倍増プラン2009 みどり倍増プロジェクト] --- B[桜区花と緑のまちづくり推進事業] C[総合振興計画新実施計画 花と緑のまちづくり推進事業] --- B B --- D[花いっぱい事業] B --- E[~ H22 区の花策定事業] E --- F[H23～ 区の花等活用事業] </pre>	市民生活
	関連事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・桜区花と緑のまちづくり推進事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市、千葉市、大阪市、他

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	区の花の制定作業
平成23年度	制定された「区の花・区の木」を広く区民に認知していただくため、啓発品等を作成し区民へ配布します。 また、花の専門家(樹木医、学芸員など)を招き「区の花」等の講演会を実施します。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	区の花、区の木を周知します。(27年度まで)

予算の事務事業名	桜区まちづくり推進事業
事業名	区の花等活用事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		区の花の周知啓発を図る	区の花の周知啓発を図る	区の花の周知啓発を図る	区の花の周知啓発を図る	区の花の周知啓発を図る		
事業費(当初予算)		607	407	407	407	407		2,235
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	0	607	407	407	407	0	2,235

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
区の花啓発講演会開催	・花の講演会用の講師への謝金、会場使用料。 ・講演会のチラシ等を作成します。 ・講演会の会場及びステージの案内看板を作成。	0	113	113	113
デザインマーク策定業務	各種、各場面で区の花、区の木デザインが活用できるようデザインマークを制定します。	0	200	0	0
区の花啓発用品作成	クリアホルダーやシールを作成し、区の花を周知するため配布します。	0	294	0	0
計 A		0	607	113	113
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	607	113	113

局長査定理由	事業内容の精査	オリジナルデザインについては市のキャラクターの活用なども考えられるため予算化を見送り、区の花啓発講演会については必要性を認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	緑区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(16)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03806001	(名称) 緑区まちづくり推進事業
3 事業名	緑区の花(・木・鳥)広報事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	全10区において、区の緑化推進のシンボルフラワーとして、「区の花」を制定し、発表します。制定後は、形骸化しないよう周知活動を行う。緑区では、さらに「区の木と鳥」も制定します。	平成23～27年度事業費 3,024千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	広く緑区民に周知する必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	「区の花」及び「区の木と鳥」を一体的に啓発します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・植樹、記念碑建立、ポスター作成(H23) ・区封筒シール周知、広報活動等(H23～)	
求める効果、目標指標	「区の花」及び「区の木と鳥」を多くの区民に周知します。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・緑区花と緑のまちづくり推進事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市、千葉市、大阪市、他

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	
平成23年度	「緑区の花・木・鳥」植樹、記念碑建立 周知用ポスターの作成 郵送時、区封筒による周知(シール使用) その他、広報活動を積極的に行います。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	郵送時、区封筒による周知 その他、広報活動を積極的に行います。

予算の事務事業名	緑区まちづくり推進事業							
事業名	緑区の花(・木・鳥)広報事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		区の花・木・鳥広報	区の花・木・鳥の活用	区の花・木・鳥の活用	区の花・木・鳥の活用	区の花・木・鳥の活用		
事業費(当初予算)		1,424	800	400	200	200	200	3,224
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	1,424	800	400	200	200	3,224

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
「緑区花・木・鳥」広報啓発	緑区花・木・鳥を広く区民等に周知する ・ポスター、シールの作成 ・植樹業務 ・記念碑の作成	0	1,424	657	657
計 A		0	1,424	657	657
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	1,424	657	657

局長査定理由	事業内容の精査	区の花啓発に向けた取り組みとして必要であると認めました。なお、周知効果の観点からポスターの作成のみを可とし、また記念碑は予算化を見送りました。
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	岩槻区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス 05(17)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03807001	(名称) 岩槻区まちづくり推進事業
3 事業名	岩槻区の花啓発事業		
4 事業の区分/分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	生き生きと暮らせる花や緑の豊かなまちづくり。(市民の声) 岩槻区の花は、不明。(市民の声)		
9 事業概要	(概要)	制定された区の花について、広く区民に周知します。	平成23～27年度事業費 601千円
	(根拠法令等)	さいたま市岩槻区花と緑のまちづくり推進事業要領	

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区民の方が、区の花への認識がない状況です。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	区民の方が区に愛着を持てるために、人が集まる場所に花を提供し、現在検討中の区の花について広くPRすることにより、花や緑への意識を高めていきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	1. 区の花の候補(区の花策定委員会)(H22.10) 2. 区の花区民投票(H22.11) 3. 区の花決定(H23.5) 4. 区の花PR活動(H23～)	
求める効果、目標指標	平成23年度より岩槻区の緑化推進のシンボルとして活用していきます。区主催の事業のタイトルに使用します。岩槻区の歴史・文化を区外への発信する際に活用します。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり倍増プロジェクト ・岩槻区花と緑のまちづくり推進事業 <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市、千葉市、大阪市、他</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	旧岩槻市時代(昭和52年)に市の花は制定されていましたが、岩槻区として継承されてはいない状況です。
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・区の花を制定します。 ・市制10周年事業において発表します。 ・広報に掲載します。 ・区民へのPR活動します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	区民への周知とシンボルフラワーとして活用します。行政と区民協働でのPR活動を行ないます。(H27)

予算の事務事業名	岩槻区まちづくり推進事業
事業名	岩槻区の花啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		区の花の啓発活動	区の花の啓発活動	区の花の啓発活動	区の花の啓発活動	区の花の啓発活動		
事業費(当初予算)		381	55	55	55	55		601
財源内訳								
国県支出金		0	0	0	0	0		0
市債		0	0	0	0	0		0
その他		0	0	0	0	0		0
一般財源	0	381	55	55	55	55	0	601

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
区の花啓発用品作成	駅や官公庁などの人の集まる場所でのポスター掲示、シール作製等で区民に広く周知します。	0	381	74	74	
計 A		0	381	74	74	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		0	381	74	74	

局長査定理由	事業内容の精査	区の花啓発に向けた取り組みとして必要であると認めましたが、周知効果の高いポスターのみ予算化しました。
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-05(18)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03802001 (名称) 区まちづくり推進事業								
3 事業名	「区の花」啓発支援事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>平成23年度末に制定する10区「区の花」について、市民意識の定着、並びに本市以外への発信のため、全庁・全国的な周知広報を行います。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>4,350千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	(概要)	平成23年度末に制定する10区「区の花」について、市民意識の定着、並びに本市以外への発信のため、全庁・全国的な周知広報を行います。	平成23～27年度事業費	4,350千円	(根拠法令等)			
(概要)	平成23年度末に制定する10区「区の花」について、市民意識の定着、並びに本市以外への発信のため、全庁・全国的な周知広報を行います。	平成23～27年度事業費	4,350千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	市民一人ひとりが生き生きと心豊かに暮らせる「花や緑の豊かなまち」を実現するため、区の緑化推進のシンボルフラワーとして、各区で「区の花」を、平成23年度末までに制定しますが、全庁・全国的な周知広報が不足していません。
問題解決の方針	10区制定直後の1年間を啓発集中期間として各種啓発事業を実施します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 《平成23年度》 ・本市公共施設や自治会掲示板等へのポスター掲示 ・全庁的なイベントでの周知広報 ・本市転入者への周知
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・10区区の花の、市民意識及び全国的な認知度を向上します。
	<p><左の根拠指標>(別添可・様式任意)</p> <p><目標指標>(別添可・様式任意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全庁イベント、会議等の回数 ・転入世帯数

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[区まちづくり推進事業 / 区政推進室 / H15～] C --> D </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター(公共施設用: A 2版) ・ポスター(窓口設置用: A 3版) ・クリアフォルダ(転入者等配布用: A 4) ・手提げ袋(会議・贈答用) ・ロゴデザインマニュアル
平成24年度以降(目標年次も記入)	

予算の事務事業名	区まちづくり推進事業
事業名	「区の花」啓発支援事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画		「区の花」啓発支援						
事業費(当初予算)		4,350						4,350
財源内訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	4,350	0	0	0	0	4,350

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
「区の花」啓発支援業務	周知啓発用品(ポスター・クリアフォルダ・手提げ袋等)作成経費 ロゴデザイン等使用マニュアル作成経費	0	4,350	4,350	4,350
計 A		0	4,350	4,350	4,350
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	4,350	4,350	4,350

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	西区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-05(19)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03802001 (名称) 西区まちづくり推進事業
3 事業名	さいたま市花絵プロジェクト(インフィオラータ)
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	市制10周年記念事業を区民と協働で実施したい。水と緑と花のまちをPRしたい。
9 事業概要	(概要) 市制10周年記念事業として実施する他事業(音と光のコンサート2011)と同時にインフィオラータを実施します。 平成23~27年度 事業費 1,131千円
	(根拠法令等)

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	10周年記念事業の音と光のコンサート2011と同時に実施し、「水と緑と花のまち」を区民にPRすることができます。また、「しあわせ倍増プラン2009」に掲げる「みどり倍増プロジェクト」の一環として、区民と協働で取り組むことでPR効果を高めます。 <左の根拠指標>(別添可・様式任意) 10周年記念事業の参加人数 花絵作成ボランティアの人数
問題解決の方針	区民と協働により、インフィオラータを実施し、10周年記念事業と「水と緑と花のまち」をPRします。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	10周年記念事業としてインフィオラータを実施します。(H23)
求める効果、目標指標	10周年記念事業に多くの区民に参加していただく。インフィオラータを区民と協働により実施します。 <目標指標>(別添可・様式任意) 10周年記念事業の参加人数 180人 花絵作成ボランティアの人数 30人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p style="text-align: center;">中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業 ・音と光のコンサート2011</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市、神戸市</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	なし
平成23年度	市制10周年記念事業としてインフィオラータを実施します。西大宮駅北口駅前広場に花絵を作成します。花絵の原画は一般公募し、花の調達、下絵の作成、作成指導は委託業務とします。花絵の作成やメンテナンスは区民ボランティアが行います。
平成24年度以降(目標年次も記入)	なし

予算の事務事業名	西区まちづくり推進事業
事業名	さいたま市花絵プロジェクト(インフィオラータ)

1 0 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位: 千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		インフィオラータ						
事業費(当初予算)		1,131						1,131
財源内訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	1,131	0	0	0	0	1,131

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
インフィオラータ実施	花の調達、下絵の作成、作成指導等を行うための経費	0	1,116	0	0	
インフィオラータ実施	花絵を作成したボランティアへの記念品経費	0	15	0	0	
計 A		0	1,131	0	0	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		0	1,131	0	0	

局長査定理由	他事業との統合	10周年事業として全市的に行うエコキャップアートのと統合が可能であるため、予算化を見送りました。
市長査定理由	他事業との統合	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-05(20)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 11区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03801501 (名称) 区まちづくり推進事業
3 事業名	区の花周知イベント「エコキャップアート」
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1214 (事業名) 花と緑のまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 48-8 (事業名) 花と緑でいっぱい・区の花の制定
7 行財政改革推進プラン	該当なし

8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	<p>(概要) 平成22年度に制定される区の花の周知を図るイベントとして、各区がペットボトルのキャップを使用した大きな絵を市民と一しょに作成し、10周年記念事業メインイベントの機会にさいたま新都心駅自由通路に展示します。</p> <p>(根拠法令等) なし</p> <p>平成23～27年度事業費 5,674千円</p>

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	平成22年度に緑化シンボルフラワーとして各区が制定する「区の花」について、区民等へいかに周知し、親しみを持ってもらうかが課題となっています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	より多くの市民に「区の花」を知ってもらうため、効果的な周知を実施します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成22年度に各区で制定する「区の花」をテーマにしたペットボトルキャップによる大きな絵を区民等の参加により作成します。 そして、その作品をさいたま市誕生10周年記念事業の中でも集客性の高いメインイベントにあわせて展示し、区の花の周知を図ることとします。	
求める効果、目標指標	区の花の周知を図るとともに、エコキャップアート製作のために回収・使用したペットボトルのキャップをリサイクルし、世界の子どものために役立てることを伝えることで、参加者などのエコ意識の醸成を図ります。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～</p> <p>さいたま市誕生10周年メインイベント事業 / H23</p> <p>区まちづくり推進事業 / 区政推進室 / H15～</p> <p>「区の花」啓発事業 / 各区 / H23～</p> <p>区の花周知イベント「エコキャップアート」 / H23</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	なし
平成23年度	各区がペットボトルキャップを活用し、「区の花」をテーマにした大きな絵を市民と一緒に作成し、その作品をさいたま新都心駅自由通路に展示します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	

予算の事務事業名	区まちづくり推進事業
事業名	区の花周知イベント「エコキャップアート」

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画		エコキャップ アート実施						
事業費(当初予算)		5,674	0	0	0	0	0	5,674
財 源 内 訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	5,674	0	0	0	0	5,674

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
エコキャップ アート	・事業説明会参加のための各区職員の旅費		57	49	49
エコキャップ アート	・エコキャップアート製作に要する消耗品		595	250	250
エコキャップ アート	・エコキャップアート製作・会場設営、撤去等業務		4,969	4,324	4,324
エコキャップ アート	・参加者傷害保険料		53	53	53
計 A		0	5,674	4,676	4,676

<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	5,674	4,676	4,676

局長査定理由	局長マネジメント経費	さいたま市誕生10周年を飾る事業として必要なものと認め、ほぼ要求どおり予算化しました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ振興課

市ス 06

1 会計	一般会計 (款/項/目) 10教育費 / 07保健体育費 / 02体育振興費
2 予算の事務事業名	(コード) 19542001 (名称) 学校体育施設開放事業
3 事業名	学校体育施設開放事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3302 (事業名) 学校体育施設開放事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	(概要) さいたま市立小・中学校の運動場、体育館、武道場を学校教育に支障のない範囲で、広くスポーツ・レクリエーション団体に開放しその利用に供します。平成23～27年度事業費 345,724千円
	(根拠法令等) さいたま市学校体育施設の開放に関する要綱

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者団体のマナーの向上と受益者負担の考え方に基づく自主運営・自主管理を推進していきます。 市民が学校体育施設を安全・安心に利用できるよう、老朽化した夜間照明施設等について、改修や修繕を行うことが必要。 	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 夜間照明設置年 昭和54年頃 下落合小学校 昭和46年 北浦和小学校 昭和48年 本太小学校
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進む既存施設の安全面を重視した改修、修繕。 中学校を中心とした、組織開放の推進。 	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	組織開放されていない学校について、中学校の部活動等との調整を図りながら、学校教育に支障のない、利用可能な範囲内で組織開放をすすめます。	
求める効果、目標指標	組織開放により、適正かつ効率的に体育施設を利用することができる。	<目標指標>(別添可・様式任意) ・組織開放147校

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>スポーツ振興法第十三条</p> <pre> graph TD A[市内各学校長] -- "[さいたま市学校施設使用規則第12条] 目的外使用許可" --> B[利用団体] B -- "利用団体登録" --> C[学校開放運営委員会] D[市民・スポーツ文化局] -- "[さいたま市学校体育施設の開放に関する要綱] 運営委託" --> C </pre>	<p>市民生活</p> <p>一般市民への開放により、学校施設の利用のマナーを向上させる。また近隣住民への騒音等の軽減。</p> <p>関連事業</p> <p>総合型地域スポーツクラブ 地区体育振興会</p>
(5)本事業の事業内容	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

平成22年度以前	市立小・中学校の運動場、体育館等の体育施設をスポーツ・レクリエーション団体に開放し、身近な活動の場として提供することにより、生涯スポーツの振興を図りました。
平成23年度	引き続き市立小・中学校の体育施設を開放し、市民に身近なスポーツ・レクリエーション活動の場とするとともに、組織開放されていない学校について、中学校の部活動等との調整を図りながら、学校教育に支障のない、利用可能な範囲内で組織開放をすすめます。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進む既存施設の安全面を重視した改修、修繕をします。 中学校を中心とした、組織開放の推進をします。

予算の事務事業名	学校体育施設開放事業
事業名	学校体育施設開放事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	学校体育施設開放事業交付金 夜間照明設備 改修工事及び修繕料	学校体育施設開放事業交付金 夜間照明設備 改修工事及び修繕料	学校体育施設開放事業交付金 夜間照明設備 改修工事及び修繕料	学校体育施設開放事業交付金 夜間照明設備 改修工事及び修繕料	学校体育施設開放事業交付金 夜間照明設備 改修工事及び修繕料	学校体育施設開放事業交付金 夜間照明設備 改修工事及び修繕料		
事業費(当初予算)	20,587	166,323	20,578	68,884	20,790	69,149		345,724
財源内訳	国庫支出金	0	9,874	0	2,300	0	2,300	14,474
	市債	0	103,100	0	0	0	0	103,100
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	20,587	53,349	20,578	66,584	20,790	66,849	0

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
修繕費	老朽化が進む既存施設の安全面を重視した改修、修繕を行います。	9,370	9,370	9,370	9,370	
夜間照明設備改修設計委託料	夜間照明設備等の改修工事に着手するにあたり、設計委託を行います。	1,872	0	0	0	
工事請負費	下落合小学校夜間照明設備改築工事及び美園小学校の夜間照明設備設置工事を行います。	0	147,700	147,700	147,700	
学校体育施設開放事業交付金	各学校ごとに、自主運営による学校体育施設開放運営委員会を組織し、その運営のための交付金を交付します。	9,345	9,253	9,253	9,253	
計 A		20,587	166,323	166,323	166,323	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
国庫補助金	安全・安心な学校づくり交付金 ・補助基本額 15,331千円 補助率1/3.105 ・補助基本額 15,331千円 補助率1/3.105 【投資的経費 4,937】【保全活用 4,937】	0	9,874	9,874	9,874	
市債	・学校事業債 53,800千円 充当率 75% ・学校事業債 49,300千円 充当率 75% 【投資的経費 49,300】【保全活用 53,800】	0	103,100	103,100	103,100	
計 B		0	112,974	112,974	112,974	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		20,587	53,349	53,349	53,349	

局長査定理由	要求どおり	学校開放による生涯スポーツの振興を図るため必要な経費と認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ企画課

市ス-07

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 02企画費 / 02スポーツ企画費
2 予算の事務事業名	(コード) 03464701 (名称) さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定事業
3 事業名	さいたま市スポーツ振興まちづくり計画推進事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3306 (事業名) (仮称)さいたま市スポーツ振興まちづくり条例制定事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) - 2 (事業名) スポーツ振興まちづくり条例を制定します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	健康の維持・増進のためにもスポーツの振興は重要。
9 事業概要	(概要) 生涯スポーツの振興とともに、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進します。 平成23～27年度事業費 52,369千円
	(根拠法令等) スポーツ振興法、さいたま市スポーツ振興まちづくり条例

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	現在の市民のスポーツにおける現状として、体力に自信のある人の割合や、現在の運動やスポーツ活動に満足している人の割合が、現スポーツ振興計画の目標数値に届いていない状況であること。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 別添市民スポーツ意識WEB調査結果
問題解決の方針	現在策定中のさいたま市スポーツ振興まちづくり計画において、生涯スポーツの振興だけでなく、広範な分野との連携を図ることを盛り込み、より効果的なスポーツ振興を進める。また、庁外の推進体制を整備することで、市民ニーズを把握し、適正な事業推進につとめる。また、庁内において行っている事業をより効果的なものとするため、庁内推進体制を整備することで各分野の連携を図ることが可能となる。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	本年度策定している「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画」の最終目標年次は平成32年度となり、中間見直しは、平成27年度に行うものとする。	
求める効果、目標指標	現在策定中の、「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画」において目標指標を策定する。現在、骨子案策定中の段階での指標予定は、右目標指標のとおり。	<目標指標>(別添可・様式任意) 計画における、目標指標は平成32年までに成人(市民)の週1回スポーツ実施率を65%以上とする。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」に基づき、生涯スポーツの振興とともに、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>スポーツを「する」「みる」「ささえる」「まなぶ」とらえ、市民一人ひとりの身近なところにスポーツが位置付けられる社会を実現。 テーマは、「いつでも どこでも だれでも いつまでも」</p> </div>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	現行のスポーツ振興計画に基づき、スポーツの振興を図っている。平成22年度においては、平成22年3月に制定した「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」に基づき、「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画」を策定中である。
平成23年度	本市のスポーツの歴史・文化、スポーツ振興に資する人材及びスポーツ関連施設を、スポーツ資源・スポーツ資産として活用するための方策や、スポーツを通じた地域ネットワークを形成するための方策の検討を進め、「スポーツ振興まちづくり」のより効果的な推進を図る。また、条例の理念を実現するための事業を実施する。
平成24年度以降(目標年次も記入)	現在策定中である「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画」に定める目標達成に向け、各種施策及び事業を推進するとともに、その進捗を管理する。

予算の事務事業名	さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定事業
事業名	さいたま市スポーツ振興まちづくり計画推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	計画策定事業	スポーツ資源・資産の活用に関する調査の実施及び条例の理念を実現するための目玉事業	計画推進及びスポーツ施設整備指針の策定	計画推進	計画推進	計画の中間見直し(検証)		
事業費(当初予算)	8,644	16,953	30,604	604	604	3,604		52,369
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	8,644	16,953	30,604	604	604	3,604	0

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
報償費	さいたま市スポーツ振興計画評価委員会委員報酬及び提言事項ワーキンググループ委員報酬	644	0	0	0
委託料	「さいたま市スポーツ振興まちづくり」計画策定関連業務委託	8,000	0	0	0
(仮称)さいたま市スポーツ振興まちづくり計画推進会議委員報酬	(仮称)さいたま市スポーツ振興まちづくり計画推進会議委員の会議開催(年度内2回を予定)に伴う報償費。	0	604	604	604
スポーツ資源・資産の活用に関する調査の実施	本市のスポーツの歴史・文化、スポーツ振興に資する人材及びスポーツ関連施設を、スポーツ資源・スポーツ資産として活用するための方策や、スポーツを通じた地域ネットワークを形成するための方策の検討を進めるもの。	0	14,249	0	0
bリーグ オールスター バスケットボールクリニック	さいたまスーパーアリーナで開催されるbjリーグ2010-2011シーズンオールスターゲームに合わせ、子どもを対象としたバスケットボール教室を開催する。	0	1,000	1,000	1,000
Vリーグ オールスター バレーボールクリニック	2011日韓Vリーグトップマッチ&Vリーグオールスター男女バレーボール大会に合わせ、子どもを対象としたバレーボール教室を開催する。	0	1,000	1,000	1,000
大相撲さいたま場所	平成23年10月に予定されている大相撲さいたま場所開催に伴い、本市内の福祉施設へ数名の力士が訪問することに対する謝礼。	0	100	100	100
計 A		8,644	16,953	2,704	2,704
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	局長査定
A - B		8,644	16,953	2,704	2,704

局長査定理由	事業内容の精査	スポーツ資源・資産の活用に関する調査業務委託については職員により実施するべきものとして予算化を見送り、計画推進会議経費及びプロチーム等によるスポーツ教室等の経費については予算化しました。
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ振興課

市ス-08

1 会計	一般会計 (款/項/目) 10教育費 / 07保健体育費 / 02体育振興課
2 予算の事務事業名	(コード) 19545001 (名称) スポーツイベント事業
3 事業名	さいたまシティマラソン開催事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3304 (事業名) さいたまシティマラソン事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	・開始時間を早朝にするなど、一般の人に影響のないように実施すべきである。(わたしの提案) ・さいたまシティマラソンは今後、どのような特徴を打ち出していくのか。(公開審議)
9 事業概要	(概要) 市民をはじめ全国から集う参加者の自己実現と健康増進を図るとともに、大規模なスポーツイベントを開催することにより、市民のスポーツに対する意欲・関心を高めることを目的として開催しています。 (根拠法令等) 平成23~27年度事業費 135,508千円

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、参加者が増加しており、会場(昨年度は駒場スタジアム)における円滑な受付・誘導やコース走行時の安全の確保等を図ることが難しくなっています。(昨年度出走者数は6,861人) ・さいたまシティマラソンを今後、全国規模のマラソンとするのか、市民向けのマラソンとするのか、方向性が問われています。
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより参加しやすい大会の開催を目指し、併せて協賛企業の拡大などにより、市の負担軽減を目指します。 ・スタート・ゴール会場や走行するコースは安全で快適なコース幅を確保するとともに、市民ニーズに添った設定ができるよう警察等と協議を重ねていきます。また、参加者数を予想し、状況により参加制限を行います。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民ニーズの把握(市民アンケート等の実施・平成23年度) 2 市民ニーズを踏まえた大会の開催(平成23年度以降) 3 協賛企業の新規開拓(平成23年度から)
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のスポーツに対する意欲・関心をよりいっそう高め、市民の自己実現と健康増進に対する意識向上に資する。 ・平成23年度は「さいたま市誕生10周年記念」として、さいたま市を市内外にアピールできる大会を開催し、15,000人の参加を目指します。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画新実施計画第4編第3章</p> <p>市民の自己実現と健康増進を図り、市民のスポーツに関する意欲・関心を高めるため実施している。</p> <p>平成13年 さいたま市誕生記念さいたまシティハーフマラソンを実施した 約 5,600人が参加。</p> <p>平成21年度 駒場スタジアムをスタート・ゴール会場として実施した。 8,033人(うち5,334人が市民)が参加して実施。</p> <p>平成24年度以降 市民がより参加しやすい大会運営を目指して実施する。</p>	<p>市民生活</p> <p>市内中心地及び東西・南北に貫く主要幹線道路の交通規制などによる市民生活への影響は非常に大きく、さらに影響は市外にも及ぶことから事前の周知・告知を広範囲に徹底して行う必要がある。</p> <p>関連事業</p> <p>各区や他部局で実施しているスポーツイベントや障害者スポーツ大会などと連携を図り、より一層充実したイベントとしたいと考えております。</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <p>上尾市では今年度からマラソン前日にランニング教室を行っています。また参加人数制限を行っています。</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	平成14年度から平成21年度までは、駒場スタジアムをスタート・ゴール会場としてハーフコース・3kmの2部門で開催していました。平成22年度は駒場スタジアムの改修工事もあり、岩槻文化公園をスタート・ゴール会場とする10km、3kmの2部門で開催します。
平成23年度	平成23年度は、さいたま市誕生10周年となることから、さいたま新都心をスタート・ゴールとし、全国にアピールできる大会の開催を目指します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	平成24年度以降は市民ニーズに添ったコース設定や種目の新設等について調整します。また、駒場スタジアム改修後に、再び駒場スタジアムをスタート・ゴールとするハーフマラソンが開催できるよう警察と協議を重ねます。

予算の事務事業名	スポーツイベント事業
事業名	さいたまシティマラソン開催事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳							(単位:千円)		
	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	マラソン開催	マラソン開催	マラソン開催	マラソン開催	マラソン開催	マラソン開催	マラソン開催	/	/
	協賛金拡大	10周年イベント開催	協賛金拡大	協賛金拡大	協賛金拡大	協賛金拡大	協賛金拡大		
事業費(当初予算)		14,000	79,508	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	149,508
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	14,000	79,508	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	149,508

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
補助金	さいたまシティマラソン実行委員会への補助金	14,000	79,508	72,320	72,320	
計 A		14,000	79,508	72,320	72,320	

<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	

<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		14,000	79,508	72,320	72,320	

局長査定理由	積算内訳の精査	さいたま市10周年のメインイベントとして必要な経費と認め、ほぼ要求どおりとしました。
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ振興課

市ス-09

1 会計	一般会計 (款/項/目) 10教育費 / 07保健体育費 / 02体育振興費								
2 予算の事務事業名	(コード) 19545001 (名称) スポーツイベント事業								
3 事業名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツデーマーチ事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3305 (事業名) さいたま・たていわ親善ツデーマーチ事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当なし								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>健康体力づくり及び世代・地域を越えた交流の一環として、市民を参加募集し、会津高原の豊かな自然の中を2日間にわたり歩きます。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>6,750千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	健康体力づくり及び世代・地域を越えた交流の一環として、市民を参加募集し、会津高原の豊かな自然の中を2日間にわたり歩きます。	平成23～27年度事業費	6,750千円	(根拠法令等)			
(概要)	健康体力づくり及び世代・地域を越えた交流の一環として、市民を参加募集し、会津高原の豊かな自然の中を2日間にわたり歩きます。	平成23～27年度事業費	6,750千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターが多いことから、ハイキングコースが毎年同様であるため、新たなコース設定を求める声もあります。 ・新たにコース設定において、コースの安全や100人以上が集まれるスタート・ゴール会場等の確保等が必要となります。
問題解決の方針	新たなコース設定については南会津町側に依頼します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・新コースの視察 (H23) ・ハイキング開催に伴う休憩場所、スタート・ゴール地点の確保 (H23)
求める効果、目標指標	<p>市内全域から幅広い年齢層の方に参加いただけるよう、効果的な広報を行い、参加者の増加を図るとともに、参加者満足度95%以上を目指します。</p>

<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
リピーター率
22年度 67.6%
21年度 49.7%
20年度 55.8%
<目標指標>(別添可・様式任意)
参加満足度 95%以上(平成21～25年度)
参加者 22年度 143名
21年度 133名
20年度 129名

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 新実施計画第4編第3章</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区民会議事務局主催(北区)「ふるさと発見北区をあるく」 ・元荒川ウォーク実行委員会主催(岩槻区)「元荒川ウォーク」 <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <p>東松山市「日本スリーデーマーチ」</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	さいたま市民(市内在住・在勤・在学)160名を対象に、自然の中を歩くことにより生涯スポーツの振興及び地域・世代を超えた仲間作りの促進を行いました。
平成23年度	参加者160名を維持するために、市報やホームページ等を利用した効果的な広報活動により、広く市民に周知します。また、参加者が気軽に歩く楽しさを体感できるように、安全で魅力のあるコースを設置します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な広報活動により幅広い年代から参加者の募集を行い、参加者数増加を図ります。 ・新規参加者・リピーター双方にとって安全で魅力ある活動内容の工夫・改善。

予算の事務事業名	スポーツイベント事業
事業名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビュー事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催 参加者数 160名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催 参加者数 160名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催 参加者数 160名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催 参加者数 160名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催 参加者数 160名	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催 参加者数 160名		
事業費(当初予算)	1,488	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	8,100
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,488	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	8,100

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビュー事業補助金	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデビューの開催を円滑に進めるため	1,488	1,350	1,350	1,350	
計 A		1,488	1,350	1,350	1,350	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		1,488	1,350	1,350	1,350	
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ企画課

市ス-10

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 02企画費 / 02スポーツ企画費
2 予算の事務事業名	(コード)	03464701	(名称) 多目的広場整備事業
3 事業名	多目的広場整備事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	3307 (事業名) 多目的広場整備事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	38 (事業名) 多目的広場整備事業
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	・誰もが自由に使える広場が必要(さいたま市民スポーツ意識に関する調査)		
9 事業概要	(概要)	1. 未利用地における多目的広場の整備(38-1)を行います。 2. 大学敷地内における多目的広場の整備(38-5)を行います。	平成23~27年度事業費 1,691,642千円
	(根拠法令等)	しあわせ倍増プラン2009(事業番号38)	

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	1. 未利用地の整備については、用地の形状などによってどのような整備が必要かどうか、現況調査等が必要になります。 2. 大学敷地内での整備については、使用が許可される広場の形状により、フェンス設置等の整備内容が変わります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 多目的広場整備方針
問題解決の方針	1. 未利用地の調査・測量・設計を実施し、その後、整備する。 2. 大学と調整し、敷地内での工事内容を決定した後、整備する。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	1. 未利用地の整備・開放(H23・H24) 2. 大学敷地内の整備(H23・H24)	
求める効果、目標指標	・効果 1. 市民への開放による用地の有効活用が図れます。 2. 大学との連携による相互研究で、利用状況の分析や広場整備の有効性を検証できます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 1. 5か所整備(H23)・50か所整備(H24) 2. 1か所整備(H23)・1か所整備(H24)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 広場開放については、既存の未利用地を整備することから、事業全体で地域バランスを考慮して開放する必要があります。 <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 同内容の事業については、他市では例がありません。

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 「スポーツもできる多目的広場管理運営研究会」設置と開催(H21・H22) 多目的広場倍増プロジェクトチーム会議の開催(H21・H22) 整備方針の策定(H22)
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場倍増プロジェクトチーム会議の開催(H23) 多目的広場管理運営協議会の開催(H23) 多目的広場の整備・開放(H23)
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場倍増プロジェクトチーム会議の開催(H24) 多目的広場管理運営協議会の開催(H24) 多目的広場の整備・開放(H24)

予算の事務事業名	多目的広場整備事業							
事業名	多目的広場整備事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	研究会の設置・未利用地台帳の作成	未利用地の整備(5か所)・大学敷地内の整備(2か所)	未利用地の整備(50か所)・大学敷地内の整備(1か所)					
事業費(当初予算)	5,824	191,642	1,500,000					1,691,642
財源内訳	国県支出金	0	81,596	659,137				740,733
	市債	0	74,000	563,929				637,929
	その他	0	0	0				0
	一般財源	5,824	36,046	276,934	0	0	0	312,980

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
協議会運営	広場の継続的改善策の提示等を行うための協議会を年6回開催します。 ・報償費、委託料	5,464	3,363	612	612
広報費	広場の周知や管理運営者の募集を行います。 ・印刷製本費	360	627	565	565
施設管理	広場管理に係るAEDのリースや施設管理保険料を算出します。 ・消耗品費、保険料、賃借料	0	237	23	23
実施設計・整備工事	広場整備にあたり、詳細な設計を行います。 ・委託料 広場の整地やフェンス、看板の設置工事費等の概算額を算出します。 ・工事請負費	0	187,415	159,300	159,300
計 A		5,824	191,642	160,500	160,500
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
社会資本整備総合交付金	地域住宅交付金 ・対象経費181,325千円 補助率45/100	0	81,596	69,219	69,219
市債	スポーツ企画事業債 ・公共事業等債 81,000千円 充当率90%	0	74,000	81,000	81,000
計 B		0	155,596	150,219	150,219
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		5,824	36,046	10,281	10,281

局長査定理由	事業内容の精査	多目的広場整備計画に基づいた事業の遂行のために必要な経費と認め、工事費及び設計費については入札期待を勘案し予算化しました。
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ振興課

市ス-11

1 会計	一般会計 (款/項/目) 10教育費 / 07保健体育費 / 02体育振興費
2 予算の事務事業名	(コード) 19543001 (名称) 生涯スポーツ振興事業
3 事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3308 (事業名) 総合型地域スポーツクラブ支援事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	総合型地域スポーツクラブを立ち上げても、toto助成等の不安定な財源だけが活動基盤となると継続的な運営が困難となってくる。
9 事業概要	(概要) 他種目、多世代にわたり、地域住民が主体的な企画・運営を行う総合型地域スポーツクラブの支援を通じて、スポーツの振興を図っています。各スポーツクラブから選出された委員で構成された推進委員会を開催し、研修会・講座等の情報提供やクラブの状況についてのホームページ掲載など、広報活動の支援を行っています。平成23～27年度 事業費 2,348千円
	(根拠法令等) さいたま市総合型地域スポーツクラブの登録及び支援に関する要綱

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの活動場所の確保や財政的に安定した運営を行うことが困難なので、安定した運営を行えるクラブの育成が課題となっています。 ・クラブの活動拠点となる施設を持っているクラブが殆どありません。 <p><左の根拠指標>(別添可・様式任意) クラブハウス所有クラブ数 平成22年10月1日現在 3クラブ</p>
問題解決の方針	・広報支援や財政的支援を充実させ、市民が地域でスポーツに親しむことができる環境作りを活性化させていきます。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・これまで行ってきた情報提供の他にクラブが安定した運営を行えるよう広報支援や財政支援を行います。
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年に総合型地域スポーツクラブの会員数が全クラブにおいて、平成20年度時点より5%増加することを目指します。 <p><目標指標>(別添可・様式任意) クラブ会員数 平成21年度 5,676人 平成23年度 5,790人 平成25年度 5,960人</p>

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>スポーツ振興基本計画</p> <p>・さいたま希望のまちプラン総合振興計画 新実施計画 第3章3節</p> <p>・さいたま市スポーツ振興計画 第2章</p> <p>総合型地域スポーツクラブ会員数</p> <p><平成19年度末時点> 会員数 5,438名 → <平成25年度目標> 会員数 5,960名</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>学校体育施設開放事業 体育振興会</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 横浜市 他</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	さいたま市内で活動する総合型地域スポーツクラブや関係機関で構成する「さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会」を年2～3回開会し、情報交換や情報提供を行い、クラブへの支援を検討してきました。
平成23年度	さいたま市内で活動する総合型地域スポーツクラブや関係機関で構成する「さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会」を年2回開会し、情報交換や情報提供を行い、クラブへの支援を検討する。ホームページの更なる充実を図ります。
平成24年度以降(目標年次も記入)	これまで行ってきた推進委員会の開催や情報提供、広報活動の支援に加え、スポーツクラブの安定した運営を実現させるため、財政的支援を行う。また、リーフレットの作成を行い、総合型の市民に対する認知度を上げます。 また、のぼり旗を作成し、スポーツイベント時などに各クラブの事業、PRイベントの開催時等に掲出します。

予算の事務事業名	生涯スポーツ振興事業
事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計	
事業計画	・ 推進委員会開催(年2回) ・ 情報提供及び広報活動の支援	・ 推進委員会開催 ・ 情報提供及び広報活動の支援 ・ クラブ運営に必要な財的支援	・ 推進委員会開催 ・ 情報提供及び広報活動の支援 ・ クラブ運営に必要な財的支援	・ 推進委員会開催 ・ 情報提供及び広報活動の支援 ・ クラブ運営に必要な財的支援	・ 推進委員会開催 ・ 情報提供及び広報活動の支援 ・ クラブ運営に必要な財的支援	・ 推進委員会開催 ・ 情報提供及び広報活動の支援 ・ クラブ運営に必要な財的支援	・ 推進委員会開催 ・ 情報提供及び広報活動の支援 ・ クラブ運営に必要な財的支援		
事業費(当初予算)	108	80	771	499	499	499	499	2,847	
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	2,404	2,404	2,403	2,403	2,403	2,403	14,419	
	一般財源	2,296	2,324	1,632	1,904	1,904	1,904	11,572	

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
推進委員会出席者への報償費	さいたま市内の総合型地域スポーツクラブや関係機関によって構成される推進委員会に出席した委員に対し1回につき2,000円支払う。今後、委員が1人増え20人となり、年2回の開催を想定している。	108	80	80	80	
計 A		108	80	80	80	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
財産貸付収入	堀崎事業用地貸付 200,000円×12か月 = 2,400,000円	2,400	2,400	2,400	2,400	
財産貸付収入	堀崎事業用地東京電力占有料 支線1本120円 第3種電柱 2,900円	0	4	4	4	
行政財産使用料	堀崎事業用地東京電力占有料 支線1本120円 第3種電柱 2,900円	4	0	0	0	
計 B		2,404	2,404	2,404	2,404	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		2,296	2,324	2,324	2,324	
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ企画課

市ス-12

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 02企画費 / 02スポーツ企画費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03464501	(名称) さいたまシティカップ開催事業		
3 事業名	さいたまシティカップ開催事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3309	(事業名) さいたまシティカップ開催事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし			
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 36	(事業名) さいたまシティカップ開催事業の推進		
8 市民の声、現場の声	・サッカーが盛んな市というイメージアップとしては良いと思う。歳出抑制に努力してほしい。 ・市が開催する必要があるのか。事業目的がはっきりしない。(公開審議での市民委員意見等)			
9 事業概要	(概要)	世界の強豪チームを招き、本市をホームタウンとするJリーグチームとの試合を開催し、市民に夢や感動を与え、本市のイメージアップとPRを図ります。	平成23～27年度事業費	200,000千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催目的の明確化 ・開催内容の改善 ・開催時期の検討 ・効果測定方法の検討 ・協賛金積算根拠の明確化 	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 公開審議結果(公開審議議事録参照)
問題解決の方針	公開審議における改善策を踏まえ、関係団体等との調整を図りながら実施していく。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	開催目的の明確化(平成22年度) 開催方法の改善等に向けた関係団体等との調整(平成22年度) 検討結果を反映した事業の実施(平成22年度)	
求める効果、目標指標	・開催目的の明確化及び開催方法の改善等に向けた関係団体等との調整を図るなかで検討後設定	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市スポーツ振興まちづくり条例</p> <p>(仮称)さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定事業 スポーツ企画課・平成22年度策定予定 (さいたま市スポーツ振興計画・平成17年策定 ・計画期間平成17年～25年)</p> <p>(仮称)さいたま市スポーツ振興まちづくり計画に 位置付け予定</p> <p>サッカーのまちづくり推進事業 さいたまシティカップ</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定事業 ・サッカーのまちづくり推進事業 <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会に補助金を支出し、海外の強豪クラブチームを本市に招き、浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合を実施した。
平成23年度	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会に補助金を支出し、海外の強豪クラブチームを本市に招き、浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合等(浦和レッズ・大宮アルディージャ戦の活用等を含む)を実施する。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会に補助金を支出し、海外の強豪クラブチームを本市に招き、浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合等(浦和レッズ・大宮アルディージャ戦の活用等を含む)を実施する。

予算の事務事業名	さいたまシティカップ開催事業
事業名	さいたまシティカップ開催事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	さいたまシティカップの開催	さいたまシティカップの開催	さいたまシティカップの開催	さいたまシティカップの開催	さいたまシティカップの開催	さいたまシティカップの開催	/	/
事業費(当初予算)	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	240,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	90,000
	一般財源	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	150,000

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
さいたまシティカップ	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会に補助金を支出し、海外の強豪クラブチームを本市に招き、浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合を実施す	40,000	40,000	40,000	40,000
計 A		40,000	40,000	40,000	40,000

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
その他	自治総合センター補助金(上限15,000千円)	15,000	15,000	0	0
計 B		15,000	15,000	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	25,000	25,000	40,000	40,000

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。なお、自治総合センター補助金については制度改正に伴い査定しました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	スポーツ企画課

市ス-13

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 02企画費 / 02スポーツ企画費
2 予算の事務事業名	(コード)	03462001	(名称) サッカーのまちづくり推進事業
3 事業名	サッカーのまちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	3310 (事業名) サッカーのまちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし		
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	・市としてJリーグ2チームを応援するのは、単なる「サッカーを核としたまちづくり」ではなく、経済の活性化及び税収アップのためではないか。(わたしの提案・公開審議)		
9 事業概要	(概要)	「さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会」を主体として、サッカーが盛んな地域特性と本市をホームタウンとし、サッカーのまちのシンボルであるJリーグ2チームを活用しながら、諸事業を実施します。	平成23～27年度事業費 40,856千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題			
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	さいたま市スポーツ振興まちづくり条例制定にともない、サッカーのまちづくりの在り方の整理(さいたま市スポーツ振興まちづくり条例の理念を反映させた新たな展開・企画)	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・スポーツ振興まちづくり条例 ・サッカーのまちづくり推進協議会規約及び平成21年度事業報告	
問題解決の方針	さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定において、当事業の位置付け(重点化)及びその在り方について整理する。		
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・さいたま市スポーツ振興まちづくり計画の策定(平成22年度) ・計画に基づく事業実施・展開		
求める効果、目標指標	・市内の公営サッカー施設で、年間にサッカーに親しんだ(する・見る)人数の合計 ・さいたま市スポーツ振興まちづくり条例の理念を反映させた新たな展開・企画における参加人数の合計	<目標指標>(別添可・様式任意) 平成25年度末に市内の施設でサッカーに親しむ(する・見る・学ぶ)人々の人数 160万人	

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたまシティカップ開催事業 ・さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定事業 <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	・浦和レッズ、大宮アルディージャの支援事業 ・市内高校選抜サッカー選手団の海外派遣事業 ・サッカー教室の開催事業 ・レッズ、アルディージャレリーフ設置事業 他
平成23年度	さいたま市スポーツ振興まちづくり条例制定にともない既存事業の整理及び条例の理念を反映させた新たな展開・企画
平成24年度以降(目標年次も記入)	条例の理念を反映させた事業の実施

予算の事務事業名	サッカーのまちづくり推進事業
事業名	サッカーのまちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	サッカーを核としたスポーツの振興を図る。	サッカーを核としたスポーツの振興を図る。	サッカーを核としたスポーツの振興を図る。	サッカーを核としたスポーツの振興を図る。	サッカーを核としたスポーツの振興を図る。	サッカーを核としたスポーツの振興を図る。		
事業費(当初予算)	8,176	8,152	8,176	8,176	8,176	8,176	8,176	49,032
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8,176	8,152	8,176	8,176	8,176	8,176	49,032

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会	当該協議会に補助金を支出し、サッカーを核としたスポーツのまちづくりを推進するための各種事業を実施する。	8,000	8,000	7,500	7,500
Jリーグ関係自治体等連絡協議会	ホームタウンの振興を図るためにホームタウンやホームスタジアムを所管する自治体等により組織された当該協議会に参加する。(開催都市は持ち回り)	90	29	29	29
レッズスクエア運営	レッズスクエアでサッカーの試合を放映するためのケーブルテレビ及びNHKの受信料を支払う。	86	86	86	86
都市対抗野球大会壮行会	本市代表として都市対抗野球大会に出場するチームの壮行会を開催する。	0	37	0	0
計 A		8,176	8,152	7,615	7,615
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		8,176	8,152	7,615	7,615

局長査定理由	積算内訳の精査	サッカーを核としたスポーツのまちづくりに必要な経費として概ね要求のとおりとしました。
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	文化振興課

市ス-14

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費					
2 予算の事務事業名	(コード)	03244801	(名称)	文化行政推進事業		
3 事業名	文化・芸術まちづくり創造事業					
4 事業の区分/分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド	
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	3403	(事業名)	文化・芸術まちづくり創造事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	47	(事業名)	文化・芸術まちづくり創造事業	
7 行財政改革推進プラン	該当なし					
8 市民の声、現場の声	継続性とさいたまらしさのある若手の育成に繋がる事業を実施してほしい。(文化・芸術まちづくり創造事業検討委員会)					
9 事業概要	(概要)	フリーカルチャーヴィレッジ、ジュニアソロコンテストを開催し、事業の実施を国内外に発信し、文化芸術のまちづくりを推進します。			平成23～27年度事業費	206,835千円
	(根拠法令等)					
(1)現状と課題						
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・新規事業を実施するためには、組織委員会の設置や実施に向けた企画及び広報等の時間が必要となるため平成23年度のピエンナーレ実施は難しい。また、財源のシステム等がまだ精査されていません。			<左の根拠指標>(別添可・様式任意) まだ都市経営戦略会議に付議していません。		
問題解決の方針	・基金を創設し、建設事業費の1%システムによる積立及び企業等からの寄附や協賛を募ります。					
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・フリーカルチャーヴィレッジ、ジュニアソロコンテストを開催し、事業の実施を国内外に発信しPRします。(H23) ・(仮称)文化都市創造基金の創設・・・平成23年2月議会に条例案上程					
求める効果、目標指標	次世代の伝統を築く力を子どもたちの中に育む。また、さいたま文化を国内外に発信するとともに、さいたま文化に刺激を与え、音楽、美術などの分野の若手アーティストの育成を図ります。			<目標指標>(別添可・様式任意) 入場者数 10万人		
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ			(3)事業を展開していく上での課題			
<p>中心となる事業、法令又は方針</p>			市民生活			
			関連事業 市制10周年記念事業との係わり。			
(4)他市事例(県内市町村、政令市等)			市制10周年記念事業企画調整課/H22～			
・神戸ピエンナーレ ・愛知トリエンナーレ						
(5)本事業の事業内容						
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の設立 ・予算配分の仕組みの構築 ・新たな文化・芸術事業の検討 					
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施 ・開催準備(ピエンナーレの広報・PR、企画コンペ、出演者等の選定) 					
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピエンナーレ開催 					

予算の事務事業名	文化行政推進事業
事業名	文化・芸術まちづくり創造事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	・新たな文化・芸術事業の検討	・開催準備・プレイベントの実施	・ピエンナーレ開催	・開催準備・プレイベントの実施	・ピエンナーレ開催	・開催準備・プレイベントの実施		
事業費(当初予算)	174	47,667	39,792	39,792	39,792	39,792		206,835
財源								
国庫支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	40	0	0	0	0		40
一般財源	174	47,627	39,792	39,792	39,792	39,792		206,795

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
新進アーティスト発見inさいたま	H24新進アーティスト発見inさいたま開催に向けて、開催告知及び出演者等のオーディション等を実施します。 ・会場費、運営費、報償費、広報費、管理費、諸経費	0	9,717	0	0
盆栽美術館等と音楽のコラボ	H24盆栽美術館等と音楽のコラボ開催に向けて、検討の会議等を開催します。 ・会場費、諸経費	0	150	0	0
国際鉄道映画祭インさいたま	H24国際鉄道映画祭インさいたま開催に向けて、検討の会議、開催PR等を実施します。 ・会場費、運営費、広報費、諸経費	0	1,535	0	0
フリーカルチャーピレージインさいたま新都心	H24フリーカルチャーピレージインさいたま新都心を実施します。 ・会場費、運営費、報償費、広報費、諸経費	0	14,505	13,000	13,000
ジュニアソロコンテスト	H24ジュニアソロコンテストを実施します。 ・会場費、運営費、報償費、広報費、諸経費	0	7,026	6,000	6,000
開催準備	H24ピエンナーレ開催に向けて、委員会を開催する。また、企画運営について業務委託をします。 ・管理費	174	4,694	0	0
基金	文化芸術事業に充てるための基金積立金。	0	10,040	10,040	10,040
計 A		174	47,667	29,040	29,040
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
利子収入	基金積立金利子収入 10,000千円 × 0.4% = 40千円	0	40	40	40
計 B		0	40	40	40
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		174	47,627	29,000	29,000
局長査定理由	事業内容の精査	10周年記念事業に位置づけられている事業及びさいたま市の文化芸術振興に寄与する基金積立金については必要額を予算化しました。			
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。			

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	大宮盆栽美術館

市ス-15

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 14生活文化施設費				
2 予算の事務事業名	(コード) 03305501	(名称) 大宮盆栽美術館管理運営事業			
3 事業名	大宮盆栽美術館管理運営事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3404	(事業名) 盆栽文化振興事業			
6 しあわせ倍増プラン	該当なし				
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声	<ul style="list-style-type: none"> ・案内標識の不足、施設設備が不便、盆栽の環境が悪い(来館者アンケート) ・設備や資材が不足しており、盆栽や美術資料を適正に管理、保管できない(現場の声) 				
9 事業概要	(概要)	盆栽文化に関する資料等を収集、調査、研究、国内外に向けての情報発信並びに盆栽の銘品に触れ合う機会を提供することで、盆栽文化の振興・活用や観光振興の拠点となる館の管理、運営を行います。		平成23～27年度事業費	454,650千円
	(根拠法令等)	さいたま市大宮盆栽美術館条例			
(1)現状と課題					
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・案内標識などの不足 ・美術館内における設備の不備 (来館者サービス、所蔵の盆栽・美術品の管理・保管) ・周知不足 ・周辺地域や施設との連携 ・運営管理するために必要な人員の不足 			<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・来館者アンケート	
問題解決の方針	当館振興プロジェクトチームと連携、協力して様々な課題の解決を行います。				
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	大宮盆栽美術館振興アクションプランを策定し、様々な課題を緊急から長期と解決期間を決め、概ね5年以内に当館設置の目的を達成できるようにします。				
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数の増加 ・収蔵する盆栽、美術品等の調査、研究、保護、継承 ・周辺地域への経済波及の効果 ・さいたま市文化のアピール、イメージアップ 			<目標指標>(別添可・様式任意)	
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ			(3)事業を展開していく上での課題		
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">大宮盆栽美術館管理運営事業 / 大宮盆栽美術館 / H22～</div> <p style="text-align: center;">↑↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">大宮盆栽美術館振興プロジェクトチーム / スポーツ文化部 / H22～</div>			市民生活		
			<p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最寄駅からの道路整備の検討実施 ・盆栽文化伝承事業(北区) 		
			(4)他市事例(県内市町村、政令市等)		
(5)本事業の事業内容					
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の建設整備 ・盆栽や美術品等の展示、保管、管理、育成 ・盆栽文化に関する資料等の収集、調査、研究、情報発信 ・周辺地域や施設との連携 ・美術館の管理、運営 				
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・盆栽や美術品等の展示、保管、管理、育成 ・盆栽文化に関する資料等の収集、調査、研究、情報発信 ・周辺地域や施設との連携 ・美術館の管理、運営 				
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・盆栽や美術品等の展示、保管、管理、育成 ・盆栽文化に関する資料等の収集、調査、研究、情報発信 ・周辺地域や施設との連携 ・美術館の管理、運営 				

予算の事務事業名	大宮盆栽美術館管理運営事業
事業名	大宮盆栽美術館管理運営事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	所蔵品等の調査・研究 特別展・企画展の開催 講演会・講座の実施 盆栽文化情報の発信	
事業費(当初予算)	80,795	108,254	86,599	86,599	86,599	86,599		454,650
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	11,218	18,551	12,823	12,823	12,823		69,843
	一般財源	69,577	89,703	73,776	73,776	73,776	0	384,807

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
事業実施	盆栽文化の普及、振興のため、各事業を行います。 ・盆栽や美術品を展示、管理、保管 ・特別展、企画展、講座、講演の実施	15,323	38,836	34,269	34,269
施設運営	美術館の管理、運営を行います。 ・運営委員会の開催 ・観覧券、パンフレット等作成 ・受付等の業務委託の実施	22,966	32,379	31,539	31,539
施設維持管理	美術館の管理、運営を行います。 ・清掃、警備、設備機器の保守等の実施	27,872	36,039	33,539	33,539
施設整備	美術館建設工事に伴う周辺建物への補償を行います。 ・周辺建物補償費(2件)	14,634	1,000	1,000	1,000
計 A		80,795	108,254	100,347	100,347
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
大宮盆栽美術館使用料	観覧料、駐車場使用料、講座室使用料などの施設使用料	8,453	13,149	13,149	13,149
物品売払収入	ミュージアムグッズの販売金	1,500	3,846	2,646	2,646
文化財産等取得基金繰入金	美術品資料の購入に伴う基金からの繰入金	880	1,000	1,000	1,000
その他雑入	美術館で実施する講座参加費、光熱水費負担金	385	556	556	556
計 B		11,218	18,551	17,351	17,351
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		69,577	89,703	82,996	82,996
局長査定理由	積算内訳の精査 魅力ある美術館運営に必要な経費として、概ね要求のとおりとしました。				
市長査定理由	積算内訳の精査 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	文化振興課 文化施設建設準備室

市ス-16

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 14生活文化施設費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03306301 (名称) (仮称)岩槻人形会館整備事業								
3 事業名	(仮称)岩槻人形会館整備事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3405 (事業名) (仮称)岩槻人形会館整備事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当なし								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>日本人形を中心とした展示や各種の事業を展開することにより、本市の特色である人形文化の振興を図るとともに、観光振興、産業振興にも寄与する施設として整備します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>2,272,214千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	日本人形を中心とした展示や各種の事業を展開することにより、本市の特色である人形文化の振興を図るとともに、観光振興、産業振興にも寄与する施設として整備します。	平成23～27年度事業費	2,272,214千円	(根拠法令等)			
(概要)	日本人形を中心とした展示や各種の事業を展開することにより、本市の特色である人形文化の振興を図るとともに、観光振興、産業振興にも寄与する施設として整備します。	平成23～27年度事業費	2,272,214千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営方式を明らかにするとともに、専門スタッフである学芸員等を配置します。 人形等の資料収集の方針を明らかにします。 観光、まちづくり、集客の観点から人形会館を支援する組織を作ります。 人形等所蔵資料の整理、保存・収集に取り組みます。
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 庁内において考えをまとめ、市としての意思決定をします。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営方式の決定(H22) 専門(学芸員)スタッフの採用(H23) 資料収集(H23～) 支援組織づくり(H23～)
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市を代表する文化施設として将来にわたって特徴ある人形文化を広く発信できます。
<p><左の根拠指標>(別添可・様式任意)</p> <p><目標指標>(別添可・様式任意) 平成25年度中の開館を目指します。</p>	

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> (仮称)岩槻人形会館整備事業 / 文化振興課 / H17～H19 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> (仮称)岩槻人形会館整備事業 / 文化振興課文化施設建設準備室 / H20～ </div>	<p>市民生活</p> <p>関連事業 地域資源(周辺関連施設)や人的資源(関係団体、ボランティア)の活用や、大宮盆栽美術館、鉄道博物館などとの連携</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想・基本計画の策定 管理・運営計画の策定 基本設計・実施設計 土地の購入
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事 資料写真撮影 振興計画の策定 埋蔵文化財資料整理
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 展示ケース製作 準備 開館(平成25年度)

予算の事務事業名	(仮称)岩槻人形会館整備事業
事業名	(仮称)岩槻人形会館整備事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	契約、運営計画	工事	工事	準備、開館、運営	運営	運営		
事業費(当初予算)	1,418,961	486,402	1,194,209	406,237	92,683	92,683		2,272,214
財源内訳	国庫支出金	43,000	34,000	0	0	0		34,000
	市債	1,233,900	366,700	931,000	0	0		1,297,700
	その他	0	0	0	2,075	8,400	8,400	18,875
	一般財源	142,061	85,702	263,209	404,162	84,283	84,283	0

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
建設工事、工事監理及び近隣家屋調査	(仮称)岩槻人形会館の工事及び工事監理を行うほか、工事着手にあたり、近隣の家屋調査を行います。	145,389	428,975	428,497	428,497
展示資料の写真撮影、曝涼等	展示資料の写真撮影(館内LANや館ホームページ用)や曝涼などを行います。	0	5,745	5,745	5,745
振興計画、集客戦略の策定	道路、サイン、アクセスなどの周辺環境整備や広報・観光施策についての検討や、観光計画の専門家、地域や人形産業の関係者などで構成する戦略チームの立上げなどを行います。	0	6,820	6,390	6,390
資料展示に関する詳細部分の検討等	工事単価の見直しや資料展示に関する詳細な部分の検討などを行います。	0	7,234	6,588	6,588
埋蔵文化財資料整理等	平成21、22年度に実施した埋蔵文化財発掘調査での出土品について資料整理・記録保存を行います。(平成23、24年度の2か年継続費)	0	25,800	25,800	25,800
開設アドバイザー、開設準備委員会等	開設アドバイザーや開設準備委員会から助言を頂きます。	150	2,946	2,946	2,946
起工式、草刈、消耗品、その他	工事着手にあたり、起工式を行います。	1,273,422	8,882	1,839	1,839
計 A		1,418,961	486,402	477,805	477,805
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
市債	生活文化施設整備事業債 ・合併特例債 366,700千円 充当率95%	1,233,900	366,700	366,700	366,700
国庫支出金	市町村合併推進体制整備費補助金 補助率 10/10	43,000	34,000	34,000	34,000
計 B		1,276,900	400,700	400,700	400,700
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		142,061	85,702	77,105	77,105

局長査定理由	積算内訳の精査	開館に向けた準備経費として必要性を認め、予算化しました。
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	交通防犯課

市ス-17

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03242001	(名称) 防犯対策事業		
3 事業名	防犯対策事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 6204	(事業名) 防犯対策事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 37-9	(事業名) 地域防犯ステーションなどの増設と自主防犯パトロールの促進		
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 22	(事業名) 地域防犯活動の充実		
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	安全で安心な住みよい地域社会を実現するため「地域防犯ステーション」の活用や「青色防犯パトロール」の実施等、警察、区、自主防犯組織等との連携を図り、防犯に係る取組や情報交換、啓発活動を行います。	平成23～27年度事業費	165,998千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	犯罪の減少傾向の維持 市民防犯意識の高揚 自主的な防犯活動の促進	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	効果的な広報・啓発活動の実施	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	さいたま市防犯のまちづくり推進計画に基づく施策の実施	
求める効果、目標指標	刑法犯認知件数を平成20年から5年間で20パーセント減少させる。	<目標指標>(別添可・様式任意) 平成25年 16,800件

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[防犯対策事業 / 交通防犯課 / H13～] --> B[防犯対策事業 / 各区コミュニティ課 / H15～] C[区まちづくり推進事業 / 区政推進室 / H15～] --> D[地域防犯 / 各区コミュニティ課 / H15～] D --- B </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	さいたま市防犯のまちづくり推進条例(平成18年4月施行) さいたま市防犯のまちづくり推進計画(平成21年3月策定)
平成23年度	さいたま市防犯のまちづくり推進計画に基づく施策の実施 23年 刑法犯認知件数目標 18,400件
平成24年度以降 (目標年次も記入)	さいたま市防犯のまちづくり推進計画に基づく施策の実施 平成25年 刑法犯認知件数目標 16,800件

予算の事務事業名	防犯対策事業							
事業名	防犯対策事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)								
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	広報・啓発・支援活動	広報・啓発・支援活動	広報・啓発・支援活動	広報・啓発・支援活動	広報・啓発・支援活動	広報・啓発・支援活動		
事業費(当初予算)	32,460	32,598	32,900	33,200	33,500	33,800		165,998
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	32,460	32,598	32,900	33,200	33,500	33,800	0

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
消耗品費 防犯啓発品等	防犯活動にかかる啓発品等を購入します。	3,100	3,100	3,100	3,100
印刷製本費 防犯チラシ等	防犯にかかるチラシ等の印刷をします。	462	400	400	400
施設修繕費 物品修繕費	地域防犯ステーションや車両放送設備の修繕を行います。	1,400	1,400	1,400	1,400
委託料 防犯施策委託	防犯啓発看板やポスター作成等を委託します。	500	400	400	400
防犯ステーション土地賃借料	地域防犯ステーションの土地の賃借料(県・民間)です。	998	998	998	998
負担金、補助及び交付金	さいたま市防犯協会、さいたま市暴力排除推進協議会、地域防犯活動助成金にかかる補助金です。	26,000	26,300	26,300	26,300
計 A		32,460	32,598	32,598	32,598
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		32,460	32,598	32,598	32,598

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	消費生活総合センター

市ス-18

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費						
2 予算の事務事業名	(コード)	03245001	(名称)	消費者行政推進事業			
3 事業名	消費生活相談事業						
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿	子育て	ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	6206	(事業名)	消費生活安全事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし						
7 行財政改革推進プラン	該当なし						
8 市民の声、現場の声							
9 事業概要	(概要)	消費生活センターで、市民からの事業者トラブルに関する消費生活相談を、消費生活相談員が電話や来所による方法で受け、情報提供、助言、斡旋などの方法により解決します。				平成23～27年度事業費	309,923千円
	(根拠法令等)	消費者安全法					

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	日曜電話相談の開始による、相談時間の延長に見合う相談員の待遇改善が問題となっています。 新実施計画に定められている、平成25年度中に1週間の相談時間を70時間に拡大する体制を整備することです。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 報酬額増額資料参照
問題解決の方針	日曜電話相談を考慮した相談員の報酬額を見直します。 消費生活相談員の増員、及び消費生活センターの組織編制を含めた相談体制を検討します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度から、相談員の報酬額を増額します。 3センターの1本化、相談員の増員等を検討し、1週間の相談時間70時間の体制実施に向けたスケジュールを作成します。	
求める効果、目標指標	日曜出勤を考慮した報酬額を設定し、相談員の労働意欲の向上を図ります。 3センターの1本化による相談員増員による報酬額の増加や事務所賃借料の削減等も考慮し、平成25年度中に1週間の相談時間を70時間とします。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 消費者行政推進事業 / 消費生活総合センター / H13～ </div>	市民生活
	関連事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	消費生活センターで、市民からの事業者トラブルに関する消費生活相談を、消費生活相談員が電話や来所による方法で受け、情報提供、助言、斡旋などの方法により解決しました。平成21年度に土曜日の相談を開始し1週間の相談時間を48時間としました。
平成23年度	消費生活センターで、市民からの事業者トラブルに関する消費生活相談を、消費生活相談員が電話や来所による方法で受け、情報提供、助言、斡旋などの方法により解決します。平成22年度から日曜電話相談を開始し1週間の相談時間を55時間としました。
平成24年度以降(目標年次も記入)	消費生活センターで、市民からの事業者トラブルに関する消費生活相談を、消費生活相談員が電話や来所による方法で受け、情報提供、助言、斡旋などの方法により解決します。平成25年度末までに1週間の相談時間を70時間まで拡大します。

予算の事務事業名	消費者行政推進事業							
事業名	消費生活相談事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	消費生活相談の実施	消費生活相談の実施	消費生活相談の実施	消費生活相談の実施	消費生活相談の実施	消費生活相談の実施		
事業費(当初予算)	61,544	61,147	61,147	62,543	62,543	62,543		309,923
財源内訳	国県支出金	6,228	7,937	7,937	0	0	0	15,874
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	158	247	247	313	313	313	1,433
	一般財源	55,158	52,963	52,963	62,230	62,230	62,230	292,616
一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。								
平成23年度予算要求内訳								
<事業費>								
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
消費生活相談	消費生活相談員が消費生活相談について対応します。平成22年4月から開始している日曜電話相談を考慮して、活性化補助金により報酬を増額します。	44,487	45,823	45,823	45,823			
相談強化	専門的な相談事例に対応できるよう弁護士からの助言や、専門相談会の開催等を行います。また、困難な事例の即時解決のため23年から月に1度弁護士がセンターに待機	3,152	1,358	1,358	1,358			
消費者行政会議	消費者行政各所長会議や国・県主催の会議等に職員を派遣します。	134	120	120	120			
消費生活総合センター事務所運営	消費生活総合センターで、行政事務や相談事務を滞りなく運営します。	13,771	13,846	13,846	13,846			
計 A		61,544	61,147	61,147	61,147			
<特定財源>								
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
県支出金	埼玉県消費者行政活性化補助金	6,228	7,937	7,937	7,937			
諸収入	その他雑入(雇用保険料)	158	247	247	247			
計 B		6,386	8,184	8,184	8,184			
<一般財源>								
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
A - B		55,158	52,963	52,963	52,963			
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。						
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。						

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	消費生活総合センター

市ス-19

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03245001	(名称) 消費者行政推進事業		
3 事業名	消費生活啓発事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 6206	(事業名) 消費生活安全事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし			
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	消費者団体との協働による消費生活展の開催や、消費生活出前講座及び消費生活講演会を開催し、消費生活に関する情報提供・知識習得を図り、消費者の自立支援のための消費者教育・啓発を実施します。	平成23～27年度事業費	59,508千円
	(根拠法令等)	消費者安全法		

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	若者や高齢者に対する効果的な消費者教育を実施することです。消費生活出前講座の依頼件数が減少しています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 平成21年度上半期依頼件数：24件 平成22年度上半期依頼件数：13件
問題解決の方針	出前講座を周知させ、教育・福祉部門との連携・協力を推進します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	若者、高齢者向けの啓発を行います。出前講座は、公民館からの依頼が件数の大半を占めていることから、広報の方法について検討します。特に、子供や高齢者への出前講座が実施できるよう、教育・福祉部門と連携・協力を図ります。(平成23年度～)	
求める効果、目標指標	若者、高齢者向け啓発を実施することで、消費者被害の拡大を防止します。知識や社会生活の乏しい子供や高齢者たちへの消費者教育を強化することで、悪質な消費者被害の防止を図ります。	<目標指標>(別添可・様式任意) 平成25年度までに、出前講座の開催回数60回。その内、学校における開催回数3回以上。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>消費者行政推進事業 / 消費生活総合センター / H13～</p>	市民生活
	関連事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	消費者団体との協働による消費生活展、消費生活講演会及び公民館、学校などへの消費生活出前講座を開催し、消費生活に関する情報提供・知識修得を図り、消費者の自立支援のための消費者教育・啓発を実施しました。
平成23年度	消費者団体との協働による消費生活展、消費生活講演会及び公民館、学校などへの消費生活出前講座を開催し、消費生活に関する情報提供・知識修得を図り、消費者の自立支援のための消費者教育・啓発を実施します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	消費者の自立支援のための消費者教育・啓発を実施します。活性化補助金が平成24年度まで交付される見通しで、平成25年度以降は本来の業務である相談内容の分析等を考慮し運営方法の見直しを図ります。

予算の事務事業名	消費者行政推進事業
事業名	消費生活啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	消費者教育・啓発を実施する	消費者教育・啓発を実施する	消費者教育・啓発を実施する	消費者教育・啓発を実施する	消費者教育・啓発を実施する	消費者教育・啓発を実施する		
事業費(当初予算)	12,480	36,203	12,136	3,723	3,723	3,723		59,508
財源内訳	国県支出金	8,218	32,480	8,413	0	0	0	40,893
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,262	3,723	3,723	3,723	3,723	3,723	0

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
消費生活講座、講演会、セミナー	地区公民館、学校等に講師を派遣し、地域的な話題や今般話題の消費者問題を取り上げ、広く市民に情報の提供を行います。	4,193	10,107	10,107	10,107
消費生活展	消費者団体、事業者及び行政が参加して、暮らしに密着した諸問題を取り上げたブース出展を行います。	1,080	1,081	1,081	1,081
消費者団体との協働	5月に「消費者月間」として、消費者、事業者、行政が一体となって消費者問題に関する各種事業を集中的に行います。	2,963	3,823	3,823	3,823
各種啓発資料の発行	「くらしの情報」「くらしの豆知識」等各種啓発資料を発行し、消費者行政についての情報提供を行います。	4,164	1,715	1,715	1,715
親子工場見学会	食品工場見学を通して、消費者と事業者との関わりについて学びます。	80	86	86	86
食の安全セミナー・啓発サポーター育成	食の安全及び環境にやさしい食生活をテーマに消費者意識の啓発を図るため「エコクッキング」を実施します。埼玉県消費者被害防止サポーター養成講座のフォロー	0	245	245	245
若者への啓発	民間広告機能を活用して、若者への啓発事業を行います。	0	19,146	19,146	19,146
計 A		12,480	36,203	36,203	36,203
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
県支出金	埼玉県消費者行政活性化補助金	8,218	32,480	32,480	32,480
計 B		8,218	32,480	32,480	32,480
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		4,262	3,723	3,723	3,723

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	消費生活総合センター

市ス-20

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費						
2 予算の事務事業名	(コード)	03245001	(名称)	消費者行政推進事業			
3 事業名	多重債務者対策事業						
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿	子育て	ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	6206	(事業名)	消費生活安全事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし						
7 行財政改革推進プラン	該当なし						
8 市民の声、現場の声	借金をして取立てが厳しく、どうしてよいのかわからない						
9 事業概要	(概要)	平成22年4月に設置した「さいたま市多重債務者生活再建安心プログラム」に基づき、多重債務者対策について市全体での包括的な支援に取り組めます。				平成23~27年度事業費	14,745千円
	(根拠法令等)						

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	相談に訪れない多重債務者の中から自殺などの不幸な事件が多く見られ、また債権整理後も多重債務を起因とする諸問題が未解決のまま放置されている可能性があると考えられます。	<左の根拠指標> (別添可・様式任意) 「多重債務者生活再建安心プログラム」研修開催実績 ・開催回数 8回 ・参加職員数 973人
問題解決の方針	さいたま市全職員が多重債務者発見から生活再建までの対応を積極的に行い、市民生活の安心・安全の確保に努めるため「さいたま市多重債務者生活再建安心プログラム」に取り組みます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	全職員は、日常業務において、多重債務状態を抱える市民の発見に努めます。(H22~) 多重債務に起因する諸問題も含めた総合的な解決に向け、庁内各部署間の連携強化を図ります。(H22~) 多重債務者に対し、多重債務に起因する諸問題も含めた総合的な解決に向け助言します。(H22~) 債務整理後は生活再建に向け、市全体での包括的な支援に努めます。(H23~25)	
求める効果、目標指標	市民、教育者、生徒、従業員等を対象として多重債務問題をテーマとした講習会を開催し、市民生活の安心・安全の確保に努める	<目標指標> (別添可・様式任意) 「安心プログラム」研修開催予定回数：4回、参加職員数：500人 多重債務をテーマとした講習会の開催回数：2回

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>消費者行政推進事業 / 消費生活総合センター / H13~</p>	<p>市民生活</p> <hr/> <p>関連事業</p> <hr/> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 埼玉県桶川市、岩手県盛岡市、滋賀県野洲市</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	金融庁の「多重債務問題改善プログラム」に基づいて新たな多重債務者対策の体制を整備し、事業の拡大を行いました。
平成23年度	多重債務者対策について「さいたま市多重債務者生活再建安心プログラム」に基づき、市全体で包括的な支援に取り組むため、職員への周知を目的に研修会の開催及びチラシ、ポスターの作成等を行います。また、職員他に市民を対象とした講習会を開催します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	多重債務者対策について他部局と連携を図り多重債務者の発見から生活再建に至るまでの支援を行い、多重債務問題に起因する諸問題の解決も含め、総合的な解決について強化を図ります。(平成25年度中)

予算の事務事業名	消費者行政推進事業							
事業名	多重債務者対策事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)								
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	多重債務者問題解決のための制度の構築	多重債務者問題解決のための制度の運用	多重債務者問題解決のための制度の運用	多重債務者問題解決のための制度の運用	多重債務者問題解決のための制度の運用	多重債務者問題解決のための制度の運用		
事業費(当初予算)	2,756	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949		14,745
財源内訳								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	9	17	17	17	17	17		85
一般財源	2,747	2,932	2,932	2,932	2,932	2,932	0	14,660

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
多重債務者相談	消費生活相談員が多重債務者相談について対応します。	2,531	2,784	2,784	2,784	
包括的支援業務	多重債務者対策について、市全体で包括的な支援に取り組むため、職員研修会の開催及びチラシ、ポスターの作成等を行う。また、職員の他に市民向けの講習会を開催し	225	165	165	165	
計 A		2,756	2,949	2,949	2,949	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
諸収入	その他雑入(雇用保険料)	9	17	17	17	
計 B		9	17	17	17	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		2,747	2,932	2,932	2,932	
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課

市ス-21

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03221001 (名称) 男女共同参画推進事業
3 事業名	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの進行管理事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7201 (事業名) 男女共同参画推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	(概要) 第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランにおける、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況を報告書にまとめ公表します。 平成23~27年度 事業費 6,921千円
	(根拠法令等) さいたま市男女共同参画のまちづくり条例

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	第1次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの推進状況については、毎年度、事業の実施状況調査を踏まえ、各所管課における内部評価等を年次報告書にまとめ、市民等に公表してきた。しかし、これまで第1次プランで実施してきた内部評価だけでは、客観性や中立性、透明性に欠ける。 <左の根拠指標>(別添可・様式任意) さいたま市男女共同参画のまちづくり条例にある、男女が対等な構成員として、お互いにその人権を尊重し、責任を分かち合うことができる男女共同参画社会の実現が重要である。
問題解決の方針	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの推進状況については、評価に客観性や中立性、透明性をもたせるために、諮問機関である男女共同参画推進協議会による外部評価を導入し、評価の信頼性をより高め、実効性を確保していく。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	外部評価を計画的に遂行するために、毎年度、第2次プランの外部評価の実施について全庁に周知し、公表する。
求める効果、目標指標	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの実効性や透明性を高めるため、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況をまとめた報告書を作成し、市ホームページからのダウンロードを基本に、自治体等関係機関に配布している。第2次プランの外部評価の導入に伴い、外部評価計画の計画的な実施はもとより、外部評価の信頼性の確保及び報告書の充実に努めていく。 <目標指標>(別添可・様式任意) 外部評価計画の計画的な実施 男女共同参画年次報告書

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画新実施計画 / 企画調整課 / H21~] --> B[第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン / 男女共同参画課 / H21~] B --> C[第2次プランの推進事業 / 全71課 / H21~H25] B --> D[第2次プランの推進事業(全庁共通事業) / 全庁 / H21~H25] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>第2次プランの実施状況を調査し、把握する上で、各推進事業担当課が行った内部評価のもととなる情報量が全体的に少なすぎる。</p>
(5)本事業の事業内容	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 第1次(H16~H20)プランにおける、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況を報告書にまとめ公表 第2次(H21~H25)プランのH21年度の取組状況についても公表
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 第2次(H21~H25)プランのH22年度の取組について、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況を報告書にまとめ公表
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 第2次(H21~H25)プランにおける、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況(H23~H25の取組状況)を毎年度、報告書にまとめ公表 H25年度には、第3次プランを策定

予算の事務事業名	男女共同参画推進事業
事業名	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの進行管理事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	条例に基づく男女共同参画 年次報告書の作成及び公表	条例に基づく男女共同参画 年次報告書の作成及び公表	条例に基づく男女共同参画 年次報告書の作成及び公表	第3次男女共同参画のまちづくり プランの策定及び年次 報告書の作成・公表	条例に基づく男女共同参画 年次報告書の作成及び公表	条例に基づく男女共同参画 年次報告書の作成及び公表		
事業費(当初予算)	721	300	300	5,300	300	721		6,921
財源内訳								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	0		0
一般財源	721	300	300	5,300	300	721	0	6,921

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
男女共同参画年次報告書の作成・公表	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランにおける、男女共同参画の推進状況及び施策の実施状況を報告書にまとめ公表します。	721	300	300	300
計 A		721	300	300	300
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		721	300	300	300

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課

市ス-22

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03221001	(名称) 男女共同参画推進事業		
3 事業名	啓発事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7201	(事業名) 男女共同参画推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし			
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画に関する情報を提供し意識啓発や意識の醸成を図ります。	平成23～27年度事業費	86,645千円
	(根拠法令等)	さいたま市男女共同参画のまちづくり条例		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	性別による固定的な役割分担意識に基づく社会の制度や慣行は依然として残されており、就業の場における男女間格差、さまざまな分野における参画の不平等、更に出産・子育て期における女性の労働力の低下等、男女共同参画社会の実現のためには、多くの課題がある。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	・あらゆる機会を通じて男女共同参画に関する情報を発信し市民一人ひとりの意識に働きかけていく。 ・男女共同参画に関する職員研修を開催し、各施策に反映させる。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	・情報誌を定期的、かつ継続的に発行し、全戸配布する。 ・職員研修を定期的、かつ継続的に開催する。 ・定期的に市民意識調査を実施し、男女共同参画に関する意識などの実態把握に努める	
求める効果、目標指標	・男女共同参画社会情報誌の年2回発行、全戸配布 ・職員研修終了後のアンケート理解度90%以上	<目標指標>(別添可・様式任意) ・男女共同参画に関する市民意識調査 ・職員研修終了後のアンケート

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、 法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">さいたま市総合振興計画新実施計画 / 企画調整課 / H21～</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">第2次さいたま市の男女共同参画のまちづくりプラン / 男女共同参画課 / H21～</div>	市民生活
	関連事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	・男女共同参画社会情報誌発行・宅配 ・職員研修実施
平成23年度	・男女共同参画社会情報誌発行・宅配 ・職員研修実施 ・男女共同参画に関する市民意識調査
平成24年度以降 (目標年次も記入)	・男女共同参画社会情報誌発行・宅配 ・職員研修実施 ・男女共同参画フォーラム開催

予算の事務事業名	男女共同参画推進事業
事業名	啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	情報誌の発行 職員研修	情報誌の発行 職員研修 市民意識調査	情報誌の発行 職員研修	情報誌の発行 職員研修 男女共同参画 フォーラム開催	情報誌の発行 職員研修	情報誌の発行 職員研修		
事業費(当初予算)	13,068	19,531	16,533	17,527	16,527	16,527		86,645
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	864	872	872	872	872		4,360
	一般財源	12,204	18,659	15,661	16,655	15,655	0	82,285

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
男女共同参画 情報誌発行配布	男女共同参画社会情報誌を作成し、全戸配布します。DV防止特集号として増頁します。 ・報償費、旅費、消耗品費、手数料、保険	12,852	16,098	16,098	16,098
市民意識調査	市民意識調査報告書を印刷、郵送配布、郵送回収、調査票、報告書の作成をします ・印刷製本費、通信運搬費、委託料	0	3,138	3,138	3,138
職員研修	職員研修講師への謝礼です ・報償費	80	80	80	80
男女共同参画 会議出席	男女共同参画に関する会議に出席します ・旅費、手数料、負担金	100	179	179	179
職員の男女共同参画 ハンドブック	職員研修に使用する男女共同参画ハンドブックを印刷します ・印刷製本費	36	36	36	36
計 A		13,068	19,531	19,531	19,531
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
その他雑入	男女共同参画社会情報誌広告掲載料収入 545,000部×0.8円(1部1段)×1段×2回 =872,000円	864	872	872	872
計 B		864	872	872	872
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		12,204	18,659	18,659	18,659

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課

市ス-23

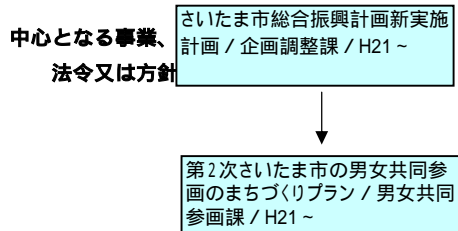
1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03221001 (名称) 男女共同参画推進事業
3 事業名	男女共同参画苦情処理申出処理・男女共同参画推進協議会事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7201 (事業名) 男女共同参画推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	(概要) 男女共同参画施策に対する苦情の申出について、苦情処理委員が中立、公正な立場で、適切かつ迅速に処理します。市長の諮問に応じて、男女共同参画のまちづくりの推進に関する事項を調査審議する協議会の運営を行います。
	(根拠法令等) さいたま市男女共同参画のまちづくり条例

平成23～27年度事業費 6,705千円

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画施策に対する苦情申出処理は、制度自体が分かりにくい。 男女共同参画のまちづくりを推進していくにあたり、男女共同参画推進協議会で調査・審議する案件(DV防止基本計画や外部評価など)がかなり増加している。 	<p><左の根拠指標>(別添可・様式任意)</p> <p>さいたま市男女共同参画のまちづくり条例にある、男女が対等な構成員として、お互いにその人権を尊重し、責任を分かち合うことができる男女共同参画社会の実現が重要である。</p>
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページや市報、情報誌等を活用し、制度を継続的に周知していく必要がある。 男女共同参画のまちづくりを目指し、案件が増加しても透明性を確保しつつ、慎重に調査・審議をしていく。 	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度、パンフレットを作成し、市公共施設などに配置するほか、市ホームページや市報、男女共同参画社会情報誌「You & Me ~ 夢 ~」等への記事掲載など、あらゆる広報媒体を活用し制度を周知していく。 男女共同参画協議会の回数は限られているが、その中でも男女共同参画に関する案件を調査審議していく。 	
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市男女共同参画のまちづくり条例に基づく「苦情処理委員」は、市が実施する男女共同参画施策に関する苦情の申出について、中立、公正な立場で適切かつ迅速に処理する。苦情申出処理件数の多寡では効果は図りにくい。男女共同参画社会を実現するために、大変重要な役割を担っている。 さいたま市男女共同参画のまちづくり条例に基づく「男女共同参画推進協議会」は、市が実施する男女共同参画のまちづくりの推進に関する事項について、調査・審議等を行う機関であり、男女共同参画社会を実現するために、大変重要な役割を担っていく。 	<p><目標指標>(別添可・様式任意)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情申出処理件数 男女共同参画協議会の開催

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ



(3)事業を展開していく上での課題

<p>市民生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理にあたっては、苦情処理委員との連絡調整などに要する時間が多い。
<p>関連事業</p> <p>限られた回数の協議会なかで、男女共同参画のまちづくりに関する事項について審議調査しなければならない。</p>
<p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 市民等からの男女共同参画に関する施策についての苦情の申出に対し、苦情処理委員が中立・公正な立場で調査し、必要があると認めるときは、当該施策の担当機関に対して助言、意見表明、勧告 さいたま市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画についての協議 さいたま市男女共同参画まちづくりプラン年次報告書の外部評価についての協議
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 市民等からの男女共同参画に関する施策についての苦情の申出に対し、苦情処理委員が中立・公正な立場で調査し、必要があると認めるときは、当該施策の担当機関に対して助言、意見表明、勧告 さいたま市男女共同参画まちづくりプラン年次報告書の外部評価についての協議 さいたま市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画の進行管理についての協議 市民意識調査についての協議
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 市民等からの男女共同参画に関する施策についての苦情の申出に対し、苦情処理委員が中立・公正な立場で調査し、必要があると認めるときは、当該施策の担当機関に対して助言、意見表明、勧告 第3次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランについての協議

予算の事務事業名	男女共同参画推進事業
事業名	男女共同参画苦情処理申出処理・男女共同参画推進協議会事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	苦情申出処理制度のさらなる推進及び男女共同参画推進協議会の開催	苦情申出処理制度のさらなる推進及び男女共同参画推進協議会の開催	苦情申出処理制度のさらなる推進及び男女共同参画推進協議会の開催	苦情申出処理制度のさらなる推進及び男女共同参画推進協議会の開催	苦情申出処理制度のさらなる推進及び男女共同参画推進協議会の開催	苦情申出処理制度のさらなる推進及び男女共同参画推進協議会の開催		
事業費(当初予算)	1,264	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341		6,705
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,264	1,341	1,341	1,341	1,341	0	6,705

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
男女共同参画苦情申出処理	男女共同参画施策に対する苦情の申出について、苦情処理委員が中立、公正な立場で、適切かつ迅速に処理します。 報酬: 16,000円 × 3人 × 6回 = 288,000円	288	288	288	288	
男女共同参画推進推進協議会	男女共同参画協議会を開催します。また、委員の代表が全国会議及び日本女性会議に出席します。 報酬、費用弁償、負担金	976	1,053	1,053	1,053	
計 A		1,264	1,341	1,341	1,341	

<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	

<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		1,264	1,341	1,341	1,341	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課

市ス-24

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費							
2 予算の事務事業名	(コード)	03221001	(名称)	男女共同参画推進事業				
3 事業名	DV防止対策事業							
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿	子育て	ブランド	
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7201	(事業名)	男女共同参画推進事業			
6 しあわせ倍増プラン	該当なし							
7 行財政改革推進プラン	該当なし							
8 市民の声、現場の声								
9 事業概要	(概要)	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援を行ないます。					平成23～27年度事業費	8,640千円
	(根拠法令等)	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 さいたま市男女共同参画のまちづくり条例						

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者等からの暴力(DV)は、重大な人権侵害である DVの背景には、男女の社会的地位や固定的な性別役割分担意識など今日までの社会的、構造的な問題がある 	<左の根拠指標> (別添可・様式任意) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づく、地方公共団体の責務
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりがDVについての認識を高めるた、意識啓発、情報提供を行なう DV被害者支援団体の育成 	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に意識調査を実施し、実態把握に努める さいたま市ドメスティック・バイオレンス防止対策連携会議の開催 平成26年度にデートDV意識調査を実施する 	
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者等からの暴力の根絶と被害者の自立支援をすすめるまちづくり DV防止基本計画の取組状況を毎年度把握する 	<目標指標> (別添可・様式任意) DV防止基本計画取組状況報告書

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p style="text-align: center;">中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">さいたま市総合振興計画新実施計画 / 企画調整課 / H21～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">さいたま市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(H23～H27)</div> </div>	市民生活 関連事業 (4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> DV防止基本計画の策定 民間シェルターを運営する団体への財政的支援 さいたま市ドメスティック・バイオレンス防止対策関係機関連携会議の開催
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> DV防止基本計画の推進 さいたま市ドメスティック・バイオレンス防止対策関係機関連携会議の開催 民間シェルターを運営する団体への財政的支援 市民意識調査の実施
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> DV防止基本計画の推進 さいたま市ドメスティック・バイオレンス防止対策関係機関連携会議の開催 民間シェルターを運営する団体への財政的支援 平成26年度デートDV意識調査の実施

予算の事務事業名	男女共同参画推進事業							
事業名	DV防止対策事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	DV防止基本計画の策定 民間団体への 財政的支援	民間団体への 財政的支援	民間団体への 財政的支援	民間団体への 財政的支援	デートDV意 識調査 民間団体への 財政的支援	次期基本計画 の策定 民間団体への 財政的支援		
事業費(当初予算)	4,528	528	528	528	2,528	4,528		8,640
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	4,528	528	528	528	2,528	4,528	0

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
報償費	さいたま市ドメスティック・バイオレンス防止対策関係機関連携会議を開催します。 8,000円×4人×4回=128,000円	128	128	128	128
補助金	民間緊急一時避難施設を運営する団体に対して、財政的支援を行ないます。 限度額：1団体400,000円	400	400	400	400
DV防止基本計画	DV防止法に基づく基本計画を策定します。	4,000	0	0	0
計 A		4,528	528	528	528
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		4,528	528	528	528
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。			
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。			

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課男女共同参画推進センター

市ス-25

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03224201	(名称) 男女共同参画推進センター等管理運営事業
3 事業名	相談事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7202 (事業名) 男女共同参画基盤充実事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし		
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	相談電話が掛かりにくいことがあります。		
9 事業概要	(概要)	センター、女・男プラザなどに相談員を配置し、生き方、家族、DV、人間関係などに関し、女性の悩み相談、また、専門家による法律・健康相談など、女性に関する総合的な相談を実施します。	平成23～27年度 119,222千円
	(根拠法令等)	男女共同参画まちづくり条例、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	女性の悩み相談は、専門の相談員が対応していますが、相談件数が年々増加傾向にあり、また、DV被害者の面接相談も増えており、現在の相談体制では対応しきれません。また、相談業務と他の業務を同一フロアで行っており、相談者(DV被害者)への安全配慮、危機管理が保たれていません。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 平成21年度相談件数 5,200件
問題解決の方針	的確な相談対応が出来る支援体制の強化。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度に相談員を2名増員。また、危機管理のため、入口付近に防犯カメラを設置。	
求める効果、目標指標	相談対応件数の増加 平成25年度 5,500件	<目標指標>(別添可・様式任意) 平成25年度相談件数 5,500件

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">男女共同参画基盤事業 / 男女共同参画課 / H21～H25</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">総合振興計画新実施計画</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">相談事業 / 男女共同参画課 / H21～H25 第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン</div>	<p>市民生活</p> <p>DV被害者の一時保護については、配偶者からの追及もあることから、センターの危機管理体制の整備が緊急に必要です。</p> <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 女性の生活や生き方全般に係わる相談を婦人相談員が行います。原則は電話での相談であるが、必要に応じて面接相談を行います。面接により保護が必要な場合、一時保護施設への入所を行います。 女性弁護士による法律相談、女性医師による心の健康相談を実施。
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 女性の生活や生き方全般に係わる相談を婦人相談員が行います。原則は電話での相談ですが、必要に応じて面接相談を行います。なお、面接により保護が必要と判断した場合は、一時保護施設への入所を行います。 女性弁護士による法律相談、女性医師による心の健康相談を実施。
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 女性の生活や生き方全般に係わる相談を婦人相談員が行います。原則は電話での相談であるが、必要に応じて面接相談を行います。面接により保護が必要な場合、一時保護施設への入所を行います。 女性弁護士による法律相談、女性医師による心の健康相談を実施。

予算の事務事業名	男女共同参画推進センター等管理運営事業
事業名	相談事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	女性の悩み相談	女性の悩み相談	女性の悩み相談	女性の悩み相談	女性の悩み相談	女性の悩み相談		
事業費(当初予算)	20,040	24,706	23,629	23,629	23,629	23,629		119,222
財 源 内 訳	国庫支出金	5,998	7,331	7,331	7,331	7,331		36,655
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	69	126	126	126	126		630
	一般財源	13,973	17,249	16,172	16,172	16,172	0	81,937

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
婦人相談員の 人件費	電話、面接相談を行う婦人相談員の報酬及び 雇用保険料	16,175	19,864	19,864	19,864	
講師謝礼	法律・心の健康相談及び相談員研修等の講師 謝礼金 ・法律・健康相談 1,560,000円 ・相談員研修 200,000円 ・講演会	1,900	1,835	1,835	1,835	
婦人相談員の 通勤費等	婦人相談員の通勤費及び協議会への旅費	1,392	1,605	1,605	1,605	
防犯カメラの 設置	DV被害者の安全確保のため、センター入口 付近に防犯カメラを設置	0	1,077	1,077	1,077	
講演会の看板 作成	DV防止講演会の看板作成	37	26	26	26	
ノートパソコン のリース料	婦人相談員が使用するノートパソコンの賃借 料	0	47	47	47	
DV啓発のため のリーフレット 作成	DV啓発のためのリーフレット作成 ひとりで悩まないで その恋愛！ デート DVかも	536	252	252	252	
計 A		20,040	24,706	24,706	24,706	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
国庫支出金	婦人相談員活動強化対策事業費補助金 ・活動強化対策事業 7,062,000円 ・活動費 269,500円	5,998	7,331	7,331	7,331	
その他雑入	婦人相談員 雇用保険料自己負担分	69	126	126	126	
計 B		6,067	7,457	7,457	7,457	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		13,973	17,249	17,249	17,249	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課男女共同参画推進センター

市ス-26

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03224201	(名称) 男女共同参画推進センター等管理運営事業		
3 事業名	情報収集・提供事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7202	(事業名) 男女共同参画基盤充実事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし			
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	男女共同参画に関する図書を購入してほしいです。			
9 事業概要	(概要)	センターで行う講座・講演会の情報提供、男女共同参画の推進に関する図書・行政資料の収集及び閲覧を行います。	平成23～27年度事業費	5,190千円
	(根拠法令等)	男女共同参画のまちづくり条例		

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	センターを広く市民に知らせたいと考えます。(男女共同参画の啓発)	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 図書の貸出し件数 278人
問題解決の方針	センターのPR	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	センター発行の広報誌の充実及びホームページでのPR	
求める効果、目標指標	図書の貸出し・閲覧の増加	<目標指標>(別添可・様式任意) 図書の貸出し件数 350人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 男女共同参画基盤事業 / 男女共同参画課 / H21～H25 総合振興計画新実施計画 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 情報収集・提供事業 / 男女共同参画課 / H21～H25 第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン </div>	<p>市民生活</p> センターをPRすることにより、情報資料コーナーの図書の閲覧が多くなり、男女共同参画の啓発にも繋がります。
	<p>関連事業</p>
	<p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	広報誌「鐘の音」の発行 情報資料コーナーの整備(男女共同参画に関する図書の購入)
平成23年度	広報誌「鐘の音」の発行 情報資料コーナーの整備(男女共同参画に関する図書の購入)
平成24年度以降 (目標年次も記入)	広報誌「鐘の音」の発行 情報資料コーナーの整備(男女共同参画に関する図書の購入)

予算の事務事業名	男女共同参画推進センター等管理運営事業							
事業名	情報収集・提供事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)								
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	広報誌の発行及び図書の購入	広報誌の発行及び図書の購入	広報誌の発行及び図書の購入	広報誌の発行及び図書の購入	広報誌の発行及び図書の購入	広報誌の発行及び図書の購入		
事業費(当初予算)	879	1,038	1,038	1,038	1,038	1,038		5,190
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	879	1,038	1,038	1,038	1,038	0	5,190

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
広報誌の編集員の人件費	広報誌編集員及び託児の報償費	105	105	105	105
カレッジパートナー謝礼	カレッジパートナーの報償費	50	50	50	50
図書の購入	男女共同参画に関する図書及び新聞、雑誌の購入費	385	377	377	377
広報誌「鐘の音」の発行	広報誌の印刷製本費 18円×4,300部×1.05×3回=243,810円	339	244	244	244
センター案内パンフレットの作成	センターの案内パンフレット作成の印刷製本費 83円×3,000部×1.05=261,450円	0	262	262	262
計 A		879	1,038	1,038	1,038
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		879	1,038	1,038	1,038

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課 男女共同参画推進センター

市ス-27

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03224201	(名称)	男女共同参画推進センター等管理運営事業	
3 事業名	学習・研修事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7202	(事業名)	男女共同参画基盤充実事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当なし			
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	・託児を希望する人が全員託児できるようにしてほしいです。・土日、夜間の講座・講演会は参加しやすいのもっと行ってほしいです。・今後も映画上映会を続けてほしいです。			
9 事業概要	(概要)	第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン(以下「第2次プラン」という。)に基づき男女共同参画社会についての学習機会を提供するため、男女共同参画に関する講座・講演会を開催します。	平成23～27年度事業費	34,770千円
	(根拠法令等)	男女共同参画のまちづくり条例		

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	中には参加人数の少ない講座があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) <講座・講演会等参加者数>累計平成19年度：6,254人 平成25年度：8,000人 (第2次プランによる数値目標。以下同)
問題解決の方針	参加人数の増加。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23～25年度：広報の方法を増やすなど、さらに工夫し、市民に対して周知の充実を図ります。	
求める効果、目標指標	平成25年度：参加者数及び講座・講演会の開催数を増やし、男女共同参画意識を醸成し、さいたま市の男女共同参画社会の実現を図ります。	<目標指標>(別添可・様式任意) <講座年間開催数>平成25年度：56回 <講座・講演会等参加者数累計>平成25年度：8,000人 <男女共同参画推進講座開催数>平成25年度：15講座

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 男女共同参画基盤事業 / 男女共同参画課 / H21～H25 総合振興計画新実施計画 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 学習・研修事業 / 男女共同参画課 / H21～H25 第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン </div>	<p>市民生活</p> <p>市民生活の基本である家族生活のあり方に対する、ワーク・ライフ・バランス等の観点からの効果的なアプローチ</p> <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	第1次及び第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランに基づき、あらゆる分野の活動に、性別にかかわらず個性と能力を發揮して、積極的に参画することのできる男女共同参画社会の実現をめざし、意識啓発のための学習機会を提供します。
平成23年度	第2次プランに基づき、あらゆる分野の活動に、性別にかかわらず個性と能力を發揮して、積極的に参画することのできる男女共同参画社会の実現をめざし、意識啓発のための学習機会を提供する。特に第2次プランの重点事項である「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進」「女性のチャレンジ支援」「女性に対するあらゆる暴力の根絶と被害者の自立支援」に関する講座・講演会に重点を置いて事業展開します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	第2次及び第3次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランに基づき、あらゆる分野の活動に、性別にかかわらず個性と能力を發揮して、積極的に参画することのできる男女共同参画社会の実現をめざし、意識啓発のための学習機会を提供します。

予算の事務事業名	男女共同参画推進センター等管理運営事業							
事業名	学習・研修事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	男女共同参画に関する講座・講演会の開催	男女共同参画に関する講座・講演会の開催	男女共同参画に関する講座・講演会の開催	男女共同参画に関する講座・講演会の開催	男女共同参画に関する講座・講演会の開催	男女共同参画に関する講座・講演会の開催		
事業費(当初予算)	6,716	6,884	6,934	6,984	6,984	6,984		34,770
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	1,131	1,134	1,134	1,134	1,134		5,670
	一般財源	5,585	5,750	5,800	5,850	5,850	0	29,100

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
非常勤職員	学習・研修事業を担当する非常勤職員(事業コーディネーター)の報酬及び雇用保険料	2,495	2,507	2,507	2,507	
講師謝礼	講座・講演会の講師謝礼	1,550	1,550	1,550	1,550	
託児謝礼	講座・講演会を開催する際の託児の保育士謝礼	229	264	264	264	
チラシ印刷	男女共同参画週間記念講演会、トレンド社会学講演会を開催する際のチラシの印刷費	60	51	51	51	
講演会看板作成業務委託	男女共同参画週間記念講演会を開催する際の看板作成業務委託料	36	27	27	27	
事業検討会議経費	男女共同参画推進センター事業検討会議の構成員交通費相当分及び託児の保育士謝礼	25	25	25	25	
ノートパソコンの賃借料ほか諸経費	講座・講演会に使用するノートパソコンの賃借料、消耗品、通信運搬費、会場使用料等の諸経費	2,321	2,460	2,460	2,460	
計 A		6,716	6,884	6,884	6,884	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
男女共同参画推進センター使用料	男女共同参画推進センターにある3つの会議室及びプレイルームの使用料	808	810	810	810	
男女共同参画推進センター行政財産使用料	男女共同参画推進センター内の自動販売機の設置(行政財産の使用)につき徴収する使用料	65	60	60	60	
男女共同参画推進センター施設光熱水費当負担金	男女共同参画推進センター内の自動販売機の設置に伴う電気料及び建物共済分担当	19	20	20	20	
コピー機使用料	市民に開放しているコピー機及びデジタル印刷機の使用料	229	229	229	229	
非常勤職員(事業コーディネーター)雇用保険料自己負担	学習・研修事業を担当する非常勤職員(事業コーディネーター)の雇用保険料自己負担	10	15	15	15	
計 B		1,131	1,134	1,134	1,134	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		5,585	5,750	5,750	5,750	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	男女共同参画課男女共同参画推進センター

市ス-28

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 10男女共同参画推進費	
2 予算の事務事業名	(コード) 03224201 (名称) 男女共同参画推進センター等管理運営事業	
3 事業名	団体活動・交流支援事業	
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド	
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7202 (事業名) 男女共同参画基盤充実事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当なし	
7 行財政改革推進プラン	該当なし	
8 市民の声、現場の声	毎年、女・男フェスタさいたまでの映画会を楽しみにしている。	
9 事業概要	(概要)	男女共同参画推進団体で組織される協議会が企画、運営する「女・男フェスタさいたま」の開催を支援します。また、団体間の交流に向けたネットワークづくりの支援を行います。
	(根拠法令等)	男女共同参画のまちづくり条例
	平成23~27年度事業費	5,450千円
(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	「女・男フェスタさいたま」に、多くの参加者を集めるには。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 平成21年度 参加者数 1,050人
問題解決の方針	参加者に喜ばれる内容の検討	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	企画内容を協議会の全体会で検討する。	
求める効果、目標指標	参加者の満足度を増加させる。	<目標指標>(別添可・様式任意) 参加者の満足度 90%
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ		(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">男女共同参画基盤事業 / 男女共同参画課 / H21 ~ H25</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">総合振興計画新実施計画</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">団体活動・交流支援事業 / 男女共同参画課 / H21 ~ H25 第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン</div>		<p>市民生活 男女共同参画への啓発</p> <p>関連事業</p>
		(4)他市事例(県内市町村、政令市等)
(5)本事業の事業内容		
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・「女・男フェスタさいたま」の開催 ・市民企画講座を実施する団体への補助 	
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「女・男フェスタさいたま」の開催 ・市民企画講座を実施する団体への補助 	
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・「女・男フェスタさいたま」の開催 ・市民企画講座を実施する団体への補助 	

予算の事務事業名	男女共同参画推進センター等管理運営事業
事業名	団体活動・交流支援事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)	
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計	
事業計画	「女・男フェスタさいたま」の開催	「女・男フェスタさいたま」の開催	「女・男フェスタさいたま」の開催	「女・男フェスタさいたま」の開催	「女・男フェスタさいたま」の開催	「女・男フェスタさいたま」の開催			
事業費(当初予算)	1,210	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090			5,450
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0			0
	市債	0	0	0	0	0			0
	その他	0	0	0	0	0			0
	一般財源	1,210	1,090	1,090	1,090	1,090		0	5,450

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
男女共同参画推進団体連絡協議会への補助	男女共同参画推進団体連絡協議会補助金	1,000	900	900	900
市民企画講座実施団体への補助	市民企画講座実施団体補助金	200	180	180	180
市民企画講座選考委員謝礼	市民企画講座実施団体の選考委員報償費	10	10	10	10
計 A		1,210	1,090	1,090	1,090
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		1,210	1,090	1,090	1,090

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課 市民活動支援室

市ス-29

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 02企画費 / 03市民活動推進費			
2 予算の事務事業名	(コード)	03444801	(名称)	市民活動等支援事業		
3 事業名	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業					
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド	
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7302	(事業名)	市民活動等支援事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	15	(事業名)	市民活動を推進するための「マッチングファンド制度」を創設します。	
7 行財政改革推進プラン	該当なし					
8 市民の声、現場の声						
9 事業概要	(概要)	「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」を活用し、市民活動団体が実施する公益的な事業に対し、助成金を交付して市民活動を支援することにより、活力ある地域社会の実現を目指します。			平成23～27年度事業費	103,274千円
	(根拠法令等)	さいたま市市民活動及び協働の推進基金条例 さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱				

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	ア 一般助成事業実施数が目標値を下回った。 イ 基金の原資である寄附金が思うように集らない。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ア 目標...7事業 今年度実施...4事業 イ 予算額...一般寄附金=1,500,000円 団体希望寄附金=2,500,000円 寄附額...一般寄附金=222,071円 団体希望寄附金=0円
問題解決の方針	アおよびイともに、「マッチングファンド制度」の周知が不足していると思われるため、現状のPR方法の強化を図っていく。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	平成23年度に、市民活動団体が地域の活動拠点としているコミュニティセンターに「マッチングファンド制度専用ラック」を設置して情報発信を行ったり、名刺大のPRカードを配布するなどして、制度の周知を図る。	
求める効果、目標指標	「マッチングファンド制度」の周知と理解が進み、助成事業への応募数並びに実施数が増加する。	<目標指標>(別添可・様式任意) 一般助成事業実施数...平成24年度までに22事業実施

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>「市民活動の推進」と「市民と行政の協働の促進」に関する指針 / コミュニティ課市民活動支援室 / H18～</p> <p>市民活動サポートセンター管理運営事業 / コミュニティ課市民活動支援室 / H19～</p> <p>市民活動等支援事業 / コミュニティ課市民活動支援室 / H16～</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 埼玉県、札幌市、神戸市

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度設計および 基金条例の制定 ・ 一般助成事業を募集し、4事業の実施が決定。 ・ 基金登録団体を募集し、市民活動推進委員会で審査し、登録した。 ・ 制度を周知するための情報誌「マッチングファンドニュース」を発行
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般助成事業を募集し、事業を実施する。 ・ 基金登録団体を募集し、市民活動推進委員会で審査し、登録する。 ・ 制度を周知するための情報誌「マッチングファンドニュース」を発行する。 ・ 市内18箇所のコミュニティセンターに基金専用ラックを配置したり、PRカードを配布するなどし、制度の周知に努める。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般助成事業を平成24年度までに22事業実施する。 ・ 引き続き基金登録団体を募集し、市民活動推進委員会で審査を経て、登録団体を決定する。 ・ 情報誌の発行や、専用ラックの有効活用等、制度の周知に努める。

予算の事務事業名	市民活動等支援事業
事業名	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業	市民活動及び協働の推進基金及び助成金事業		
事業費(当初予算)	17,822	19,430	20,961	20,961	20,961	20,961	20,961	124,235
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	12,126	13,503	14,503	14,503	14,503	14,503	86,018
	一般財源	5,696	5,927	6,458	6,458	6,458	6,458	38,217

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
基金への積立金	寄附金を基金に積み立てるための経費です。 基金への積立(寄附 団体) 2,500,000円 基金への積立(寄附 一般) 1,750,000円	4,000	4,250	4,250	4,250
基金への積立金	市民の財源と同額の市の財源を基金に積み立てる費用です。 基金への積立(マッチング分 団体寄附) 250,000円 基金への積立(マッチング分 一般寄附) 1,750,000円 基金への積立(マッチング分 自己資金) 1,750,000円 基金への積立(マッチング分 労力) 1,750,000円	5,250	5,500	5,500	5,500
基金への積立金	利子を基金へ積み立てる費用です。 基金への積立(利子) 3,000円	1	3	3	3
助成事業補助金	市民活動団体が、地域又は社会の課題解決のためにひとつの区の区域を越えて行う事業に対し、助成するための経費です。 団体希望助成金 2,250,000円	8,125	9,250	9,250	9,250
マッチングファンド制度PR	マッチングファンド制度をPRするための経費です。 基金パンフレット、基金ニュース、募集チラシ印刷 基金広報専用ラック 基金PRカード用紙 カラープリンタ用インク	446	427	427	427
計 A		17,822	19,430	19,430	19,430

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
寄附金	団体寄附 2,500,000円 一般寄附 1,750,000円	4,000	4,250	4,250	4,250
預金利子	預金利子3,000円	1	3	3	3
基金繰入金	基金繰入金 9,250,000円	8,125	9,250	9,250	9,250
計 B		12,126	13,503	13,503	13,503

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	5,696	5,927	5,927	5,927

局長査定理由 要求どおり 平成23年度に目標とする一般助成事業7事業及び、団体希望助成成分寄付額を達成するために必要な経費であるとして、要求のとおりとしました。

市長査定理由 要求どおり 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課 市民活動支援室

市ス-30

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 02企画費 / 03市民活動推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03444801 (名称) 市民活動等支援事業
3 事業名	市民活動推進委員会運営事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7302 (事業名) 市民活動等支援事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	(概要) 市長の諮問に応じ、市民活動及び協働の推進に関し必要な事項を調査審議するために設置した市民活動推進委員会を運営し、市民活動および協働の推進に関する施策を検討します。平成23～27年度 事業費 未定
	(根拠法令等) さいたま市市民活動及び協働の推進条例、さいたま市市民活動推進委員会規則

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	マッチングファンド事業に係る審査(一般助成事業、団体希望助成事業の団体登録および助成事業)および市民活動に対する諮問の答申を当委員会が行っているが、「マッチングファンド制度」の認知度があるにつれ、審査件数が増加すると見込まれ、年6回の開催では、十分な審議ができない。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 平成22年度開催数 6回
問題解決の方針	委員会の開催数を増やす。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	マッチングファンド事業に係る審査に対する増加分として、平成23年度は、開催数を1回増とする。平成24年度以降は前年度の状況を勘案して、開催数を決定する。	
求める効果、目標指標	開催回数を増やすことにより、平成24年度に答申をいただく諮問事項の審議が深まり、市民活動支援施策の充実が図られる。	<目標指標>(別添可・様式任意) 平成23年度末、および平成24年度末に、諮問事項についての答申を提出

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>「市民活動の推進」と「市民と行政の協働の促進」に関する指針 / コミュニティ課市民活動支援室 / H18～</p> <p>市民活動サポートセンター管理運営事業 / コミュニティ課 市民活動支援室 / H19～</p> <p>市民活動等支援事業 / コミュニティ課 市民活動支援室 / H16～</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	平成19年度から平成21年度まで実施した「市民提案型協働モデル事業」について、審査し、事業を決定した。平成20年度末には、「市民活動の自主的・自立的・多様な活動を損なわない財政支援」についての諮問に対し、「市民や企業からの寄附を原資とする基金を活用した財政支援が望ましい」との答申が出され、平成21年度からは、「今後の市民活動及び協働の推進施策のあり方等について」審議を重ねている。
平成23年度	第3期(平成23年度～平成24年度)の委員を決定し、新たな諮問を受けて、答申に向けて審議を進めていく。 引き続き、マッチングファンド事業に係る審査(一般助成事業、団体希望助成事業の団体登録および助成事業)を行う。
平成24年度以降(目標年次も記入)	平成24年度末を目的に、諮問内容を審議し、答申を行う。 引き続き、マッチングファンド事業に係る審査(一般助成事業、団体希望助成事業の団体登録および助成事業)を行う。

予算の事務事業名		市民活動等支援事業							
事業名		市民活動推進委員会運営事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)	
	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		市民活動推進 委員会の開催	市民活動推進 委員会の開催	市民活動推進 委員会の開催	市民活動推進 委員会の開催	市民活動推進 委員会の開催	市民活動推進 委員会の開催		
事業費(当初予算)		2,012	2,925						
財源内訳	国県支出金	0	0						0
	市債	0	0						0
	その他	0	0						0
	一般財源	2,012	2,925	0	0	0	0	0	0

一般財源の欄は、特別会計によっては繰入金、企業会計によっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
市民活動推進 委員会の開催 (7回)	委員会開催のための費用です。 ・市民活動推進委員会委員謝金 ・委員会開催資料等発送費用 ・会議録作成委託料等	2,012	2,925	1,772	1,772
計 A		2,012	2,925	1,772	1,772

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		2,012	2,925	1,772	1,772

局長査定理由	事業内容の精査	市民活動推進委員会の必要性は認めるものの、既存の会議回数(6回)のなかで対応すべきと判断し、査定しました。
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-31(01)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03802001	(名称) 区まちづくり推進事業
3 事業名	区まちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	各区の事業所管課が実施する交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕等について、追加的なニーズ、緊急対応が生じた場合に、本予算を区政推進室より再配当するものです。	平成23～27年度 750,000千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	市民生活に重要な交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の、追加的なニーズ、緊急対応について、柔軟に対応する必要があります。 <左の根拠指標> (別添可・様式任意)
問題解決の方針	追加・緊急的な交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕に、より早急な対応を可能とする機動的な予算配当方法を検討します。
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	・予算配分方法の検討(H22) ・区まちづくり推進事業予算事務の見直し(H23)
求める効果、目標指標	<目標指標> (別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[各区まちづくり推進事業 / 各区 / H15～] C --> E[区まちづくり推進事業 / 区政推進室 / H15～] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕について、各区事業所管課の執行状況に応じて、7月と2月に分けて再配当しました。
平成23年度	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕について、各区事業所管課の執行状況に応じて、再配当します。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕について、各区事業所管課の執行状況等を勘案し、適切な時期と金額を見定めて再配当します。

予算の事務事業名	区まちづくり推進事業
事業名	区まちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳							(単位:千円)	
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の追加ニーズ等対応	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の追加ニーズ等対応	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の追加ニーズ等対応	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の追加ニーズ等対応	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の追加ニーズ等対応	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の追加ニーズ等対応		
事業費(当初予算)	117,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	900,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	117,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	900,000

一般財源の欄は、特別会計によっては繰入金、企業会計によっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
区民満足度アップ経費	交通安全施設維持管理及び土木緊急修繕の経費	117,000	150,000	150,000	150,000	
計 A		117,000	150,000	150,000	150,000	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		117,000	150,000	150,000	150,000	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	西区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(02)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03802001	(名称) 西区まちづくり推進事業
3 事業名	西区まちづくり推進事業		
4 事業の区分/分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 14 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度事業費 619,300千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	西区では、「区役所は市政の最前線基地」との認識のもと、総合振興計画基本計画に掲げる区の将来像に示された「水と緑と花のまち」の実現に向けて、地域の課題や区民ニーズの把握に努め、ニーズに対応したサービスの提供や、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めることとしています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・区長マニフェスト評価書 ・西区満足度アップアンケート
問題解決の方針	地域への理解と愛着を深めるための、区民に身近なイベント企画や、市民活動の支援。既存の地域資源の効果的な発信、新たな地域資源の創出、及びそれらを活用した事業の実施。さまざまな機会、媒体を活用した区民ニーズの把握と、それらを適切に反映した事業の実施。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	区民会議や市民活動ネットワーク等の市民活動の支援。(一部H23～) 区民に身近な、また、地域資源を生かしたイベントなどの開催、及び地域資源の周知、活用のための印刷物発行。健康づくりのための事業の実施、道路や生活環境に対するニーズへの即時対応。	
求める効果、目標指標	地域への愛着が深まり、協働のまちづくりを進めるための礎が築かれます。西区の将来像にある「水と緑の花のまち」の実現に資することができます。区民にとって身近な区役所となり、市民からの信頼を得ることができます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 区長マニフェスト評価書内の関連項目
(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ		(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009'区長マニフェストを全区長が策定するようにします' / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009'区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します' / H21～] B --> D[西区まちづくり推進事業 / 西区 / H15～] C --> D </pre>		<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>
(5)本事業の事業内容		
平成22年度以前	区民会議の活動やコミュニティ会議をはじめとした市民活動に対する支援、及び西区ふれあいまつり、西区作品展など身近なイベントの開催。地域資源の情報発信のための広報物等の発行、区の花の制定など。区民の安全確保や区民ニーズに対応した交通安全施設、道路等の緊急補修事業などの実施。	
平成23年度	区民会議及び市民活動ネットワークの活動支援 西区ふれあいまつり、西区・区民健康づくり事業などを継続して実施。その他、地域資源を発信活用するための印刷物を発行。(仮称)音と光のコンサート2011、(仮称)10周年記念芸術講演会を開催。 交通安全施設維持管理、土木緊急修繕を引き続き行うとともに、区民満足度アップのための区役所の分かりやすい案内表示改修を行います。	
平成24年度以降(目標年次も記入)	「水と緑と花のまち」の実現に向け、引き続き、あらゆる機会・媒体を通じ区民ニーズの把握に努め、それらを適切に反映した事業を実施するとともに、区民との協働によるまちづくりを推進します。	

予算の事務事業名	西区まちづくり推進事業							
事業名	西区まちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	水と緑と花のまちを目指した各種取組の実施	水と緑と花のまちを目指した各種取組の実施	水と緑と花のまちを目指した各種取組の実施	水と緑と花のまちを目指した各種取組の実施	水と緑と花のまちを目指した各種取組の実施	水と緑と花のまちを目指した各種取組の実施		
事業費(当初予算)	129,506	123,860	123,860	123,860	123,860	123,860		619,300
財源内訳								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	0		0
一般財源	129,506	123,860	123,860	123,860	123,860	123,860	0	619,300

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
まちづくり基本経費	区民会議の開催や広報事業等、まちづくりを推進する仕組みの運営に用いる経費	6,465	4,729	4,729	4,729	
まちづくり事業経費	市民との協働などにより、区独自事業を展開するためのソフト事業経費。 区独自事業として、西区・区民健康づくり事業、西区ふれあいまつり、西区の12景PR事業、(仮称)首と光のコンサート2011、(仮称)10周年記念芸術文化講演会等の実施。 その他、区広報紙、区ガイドマップ、防犯啓発等の実施。	18,531	19,496	19,496	19,496	
区民満足度アップ経費	道路・河川の緊急修繕や交通安全施設・公衆便所の修繕等に用いる身近な生活環境維持経費	104,510	99,635	99,635	99,635	
計 A		129,506	123,860	123,860	123,860	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		129,506	123,860	123,860	123,860	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	北区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

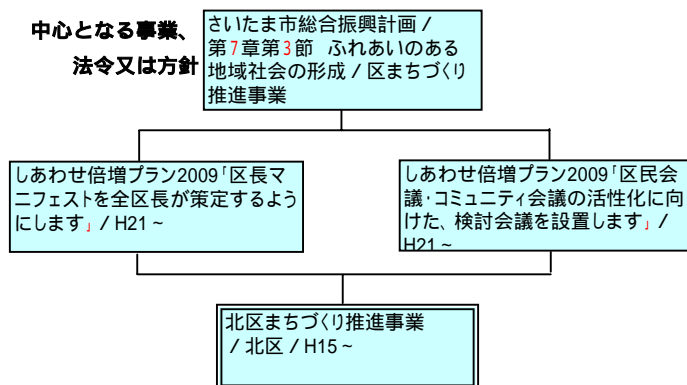
市ス-31(03)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03802501	(名称) 北区まちづくり推進事業		
3 事業名	北区まちづくり推進事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 14	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度事業費	711,151千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区民ニーズの高度化・多様化など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。また、少子高齢化の進展に伴い、地域コミュニティの充実がよりいっそう求められています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	区民ニーズを的確にとらえ、地域の課題を適切かつ効率的に処理します。また、区と区民が相互に連携し、ともに担い手となって地域の潜在力を十分に発揮する仕組みをつくっていきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・区民会議や区長マニフェストアンケート調査などに基づき、区民ニーズの現状を的確に把握します。 ・区民まつりや文化まつりなどを実施することにより、区民と区の協働を推進し、地域住民の連携を深めます。	
求める効果、目標指標	北区の将来像である「私が住みたいまちづくり 市民参加で日々創造」の実現。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ



(3)事業を展開していく上での課題

市民生活
関連事業
(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 区民会議の開催や広報事業等、まちづくりを推進する仕組みの運営に係る事業 区民との協働などにより、区民まつり等、区独自事業を展開するためのソフト事業 道路の緊急修繕や交通安全施設、公衆便所の修繕等を行う、身近な生活環境を維持する事業
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 区民会議の開催や広報事業等、まちづくりを推進する仕組みの運営に係る事業 区民との協働などにより、区民まつり等、区独自事業を展開するためのソフト事業 道路の緊急修繕や交通安全施設、公衆便所の修繕等を行う、身近な生活環境を維持する事業
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 区民会議の開催や広報事業等、まちづくりを推進する仕組みの運営に係る事業 区民との協働などにより、区民まつり等、区独自事業を展開するためのソフト事業 道路の緊急修繕や交通安全施設、公衆便所の修繕等を行う、身近な生活環境を維持する事業

予算の事務事業名	北区まちづくり推進事業
事業名	北区まちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)	
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計	
事業計画	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度アップ経費		
事業費(当初予算)	145,172	142,199	142,277	142,199	142,277	142,199		711,151	
財源内訳									
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0	
市債	0	0	0	0	0	0		0	
その他	0	0	0	0	0	0		0	
一般財源	145,172	142,199	142,277	142,199	142,277	142,199	0	711,151	

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
まちづくり基本経費	・区民会議の開催や広報事業等、まちづくりを推進する仕組みの運営に係る事業を行います。	8,497	7,046	7,046	7,046
まちづくり事業経費	・区民との協働などにより、区民まつり等、区独自事業を展開するためのソフト事業を行います。	16,259	14,108	14,108	14,108
区民満足度アップ経費	・道路の緊急修繕や交通安全施設、公衆便所の修繕等を行う、身近な生活環境を維持する事業を行います。	120,416	121,045	121,045	121,045
計 A		145,172	142,199	142,199	142,199
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		145,172	142,199	142,199	142,199

局長査定理由 局長マネジメント経費 内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。

市長査定理由 局長マネジメント経費 財政局長査定内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	大宮区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(04)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費				
2 予算の事務事業名	(コード)	03803001	(名称)	大宮区まちづくり推進事業	
3 事業名	大宮区まちづくり推進事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304	(事業名)	区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 14	(事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声	<ul style="list-style-type: none"> ・安全、生活環境の整備に重点的に取り組んで欲しい(市民の声) ・健康、福祉に関して重点的に取り組んで欲しい(市民の声) 				
9 事業概要	(概要)	区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。			平成23～27年度事業費
	(根拠法令等)	560,903千円			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区の実情、区民からの要望に速やかに対応できる体制を確立することが必要です。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	区の実情、区民からの要望を踏まえ、区長が「マニフェスト」を策定し、区政運営に当たる取組姿勢や区民サービスの具体的な目標を明らかにし、区の特性を活かしたまちづくりを積極的に推進していきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	継続してまちづくりを推進していきます。	
求める効果、目標指標	住民福祉の向上	<目標指標>(別添可・様式任意) 区長マニフェストに掲げた各取組の外部評価

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」/ H21～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」/ H21～</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">大宮区まちづくり推進事業 / 大宮区 / H15～</div> <p>* ハコの中には、事業名 / 所管課 / 事業期間を記入。 * 共通の課題について市全体でどのように取り組んでいるのかを整理する。</p>	<p>市民生活</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>関連事業</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>
---	---

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり基本経費(区民会議の運営等) ・まちづくり事業経費(ふれあいフェアの開催、区広報誌発行等) ・区民満足度アップ経費(交通安全施設維持管理、土木緊急修繕等)
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり基本経費(区民会議の運営等) ・まちづくり事業経費(ふれあいフェアの開催、区広報誌発行等) ・区民満足度アップ経費(交通安全施設維持管理、土木緊急修繕等)
平成24年度以降(目標年次も記入)	継続して推進していきます。

予算の事務事業名	大宮区まちづくり推進事業
事業名	大宮区まちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	大宮区まちづくり推進事業	大宮区まちづくり推進事業	大宮区まちづくり推進事業	大宮区まちづくり推進事業	大宮区まちづくり推進事業	大宮区まちづくり推進事業		
事業費(当初予算)	104,116	100,903	115,000	115,000	115,000	115,000	115,000	675,903
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	104,116	100,903	115,000	115,000	115,000	115,000	675,903

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
まちづくり基本経費	<主な内容> ・区民会議運営 ・区長manifestoの策定	6,255	5,648	5,648	5,648
まちづくり事業経費	<主な内容> ・区独自事業(ふれあいフェアの開催等) ・区広報誌、ガイドマップの発行 ・防犯経費	22,062	21,262	21,262	21,262
区民満足度アップ経費	<主な内容> ・交通安全施設の維持管理 ・公衆便所の維持管理 ・土木緊急修繕	75,799	73,993	73,993	73,993
計 A		104,116	100,903	100,903	100,903

<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
なし					
計 B		0	0	0	0

<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		104,116	100,903	100,903	100,903

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(05)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03803001	(名称) 見沼区まちづくり推進事業
3 事業名	見沼区まちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 14 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度 事業費 646,105千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題			
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区民ニーズを把握し、区民と協働による区独自の魅力あるまちづくりを展開することが必要となりますが、ニーズの高度化・多様化、地域社会を取り巻く環境の変化等に対応した事業としてどのように繋げていけるかが問題となります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・各種イベント等の参加者数 ・区長マニフェスト評価書	
問題解決の方針	各種会議、イベント・区長マニフェストに対するアンケート等により現況を把握し、事業の見直しを行いません。		
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・区民ニーズの現況を把握します。(H22～) ・調査結果に基づき事業の見直しを行います。(H22～)		
求める効果、目標指標	・区民活動への参加意識向上が図られ、協働事業の推進に寄与します ・生活環境の改善、維持が図られ、区民満足度のUPに繋がります。	<目標指標>(別添可・様式任意) ・各種イベント等の参加者数 ・区長マニフェスト評価書	

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[見沼区まちづくり推進事業 / 見沼区 / H15～] C --> D </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>

(5)本事業の事業内容			
平成22年度以前	まちづくり基本経費 まちづくり事業経費 区民満足度アップ経費	区民会議等運営支援、区長マニフェスト・意識調査等 自主災組織連絡協議会、区広報紙、区ガイドマップ等 道路や交通安全施設の緊急修繕、カーブミラー、公衆街路灯緊急修繕、公衆便所の維持管理、衛生害虫駆除、土木緊急修繕等	
平成23年度	前年度の事業に対して、要望・意見、アンケートの結果を踏まえ事業の成果を検証し、内容を見直しながら事業を展開して行きます。		
平成24年度以降 (目標年次も記入)	前年度の事業に対して、要望・意見、アンケートの結果を踏まえ事業の成果を検証し、内容を見直しながら事業を展開して行きます。		

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業
事業名	見沼区まちづくり推進事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	区の独自事業の推進及び身近な生活環境（道路、交通安全施設の緊急修繕等）の維持管理。	区の独自事業の推進及び身近な生活環境（道路、交通安全施設の緊急修繕等）の維持管理。管理。	区の独自事業の推進及び身近な生活環境（道路、交通安全施設の緊急修繕等）の維持管理。	区の独自事業の推進及び身近な生活環境（道路、交通安全施設の緊急修繕等）の維持管理。	区の独自事業の推進及び身近な生活環境（道路、交通安全施設の緊急修繕等）の維持管理。	区の独自事業の推進及び身近な生活環境（道路、交通安全施設の緊急修繕等）の維持管理。		
事業費(当初予算)	131,504	126,105	130,000	130,000	130,000	130,000		646,105
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	131,504	126,105	130,000	130,000	130,000	0	646,105

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
まちづくり基本経費	区民会議の開催や広報事業等、まちづくりの推進に質する仕組みの運営に用いる経費を要求します。	6,789	5,954	5,954	5,954
まちづくり事業経費	市民との協働により、区独自の事業を展開するための経費を要求します。	4,119	3,275	3,275	3,275
区民満足度アップ経費	道路等の緊急修繕や交通安全施設・公衆便所の修繕など身近な生活環境を維持するための経費を要求します。	120,596	116,876	116,876	116,876
計 A		131,504	126,105	126,105	126,105

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

A - B	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
	131,504	126,105	126,105	126,105

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成 23 年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(06)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政推進費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03803501	(名称) 見沼区まちづくり推進事業		
3 事業名	さいたま市誕生10周年記念事業 見沼区ふれあいフェア			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード)	7304 (事業名)	区まちづくり推進事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号)	3 / 14 (事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。	
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	ステージの催しが、毎回同じ種目が多い。(現場の声)			
9 事業概要	(概要)	区民の郷土意識の醸成及び地域住民の連帯を高めることを目的とし、ふれあいフェアを11月に開催します。	平成23～27年度事業費	25,235
	(根拠法令等)	見沼区ふれあいフェア実行委員会規約		

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・ステージ催し物が、毎回同じ種目が多いので、新しい種目を取り入れて変化をつけたい。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 毎年同じ種目が多い。 ・フラダンスH20 5団体(21団体中) H21 6団体(19 ") H22 9団体(24 ")
問題解決の方針	参加募集方法と選出方法を見直します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	来場者にアンケート調査を実施して、事業への区民の満足度を検証し、充実させ、継続していきます。	
求める効果、目標指標	区民及び参加者など区民主導型のイベントとして区民の満足度を高めます。	<目標指標>(別添可・様式任意) アンケートによる満足度等の調査を行い結果を参考に検討課題を探り来年度に結びつけます。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[見沼区まちづくり推進事業 / 見沼区 / H15～] C --> D D --> E[見沼区ふれあいフェア実行委員会規約 / 見沼区コミュニティ課] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	・ブース展示、出店、ステージ発表、フリーマーケット等 ・例年11月に堀崎公園及び区役所等を会場として開催。 ・来場者 (H21 30,000人)
平成23年度	・内容は前年と同様。前年度のアンケート等を参考に内容を検証し区民の満足度を高めます。
平成24年度以降(目標年次も記入)	アンケート等を参考にまつり内容を検証します。

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業							
事業名	さいたま市誕生10周年記念事業 見沼区ふれあいフェア							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	見沼区ふれあいフェア開催	見沼区ふれあいフェア開催	見沼区ふれあいフェア開催	見沼区ふれあいフェア開催	見沼区ふれあいフェア開催	見沼区ふれあいフェア開催		
事業費(当初予算)	5,136	5,047	5,047	5,047	5,047	5,047		25,235
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	5,136	5,047	5,047	5,047	5,047	0	25,235

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
民間グランド借用など	・臨時駐車場借用及び協力者への謝礼金	141	10	10	10
無料参加コーナーの運営	・子ども・スポーツコーナー参加賞 ・トン汁(無料配布)コーナー材料費 ・小中学生絵画展消耗品等	270	341	341	341
会議開催の通知	・切手代	5	8	8	8
クリーニング代など	・スタッフジャンパークリーニング代 ・飲食ブース調理担当者検便料 ・ポスター掲示料	100	100	100	100
参加者保険料	・傷害保険 ・賠償責任保険	70	70	70	70
会場設営及びポスター作成業務	・委託業者によるテントやステージ舞台のまつり会場の設営 ・順延の場合の警備員人件費 ・開催ポスターの作成業務	4,550	4,518	4,518	4,518
計 A		5,136	5,047	5,047	5,047
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		5,136	5,047	5,047	5,047

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(07)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政推進費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03803501	(名称) 見沼区まちづくり推進事業		
3 事業名	協働事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	市民活動団体への行政の関与を最小限にし、その自立性・自主性を妨げない範囲で緩やかなネットワーク化を図りたい。			
9 事業概要	(概要)	市民活動団体を緩やかにネットワーク化し、区民会議と連携を図り、実行委員会を組織して魅力あるまちづくりの推進事業を行います。	平成23～27年度事業費	3,500千円
	(根拠法令等)	協働事業補助金要綱		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	現在、各団体は各自自主的な活動を行っており、連携のための「緩やかなネットワーク」づくり具体像が見えていません。また、団体も、NPO、自治会、企業etcと多岐にわたりどの範囲までを対象とするかは考慮の必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	市民活動推進委員会の答申、都市経営戦略会議の結果を受け、担当者レベルでのワーキンググループが組織される予定ですのでそこで検討を行います。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	H22.12 移行準備 H23.4 新たな体制へ移行	
求める効果、目標指標	市民活動団体を緩やかにネットワーク化し、区民会議と協働で区政に関わる事業を行います。	<目標指標>(別添可・様式任意) (仮)市民活動ネットワークを組織し、緩やかにネットワーク化

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[見沼区まちづくり推進事業 / 見沼区 / H15～] C --> D D --> E[協働事業補助金要綱 / 見沼区コミュニティ課] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>
---	--

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	地区のまちづくり、公益活動、福祉活動など、地域的な課題解決のための実践的な自主組織、20団体を認定しコミュニティ会議として位置づけました。
平成23年度	市民活動ネットワークから区民会議委員を選出し、連携を行ない、市民活動団体を緩やかにネットワーク化し、区民会議と協働で区政に関わる事業を行ないます。
平成24年度以降(目標年次も記入)	区民会議と協働で区政に関わる事業を行ないます。

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業
事業名	協働事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	市民活動ネットワークを組織、区民会議に委員を選出	区民会議と協働で事業を行う。	区民会議と協働で事業を行う。	区民会議と協働で事業を行う。	区民会議と協働で事業を行う。	区民会議と協働で事業を行う。		
事業費(当初予算)		700	700	700	700	700		3,500
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	0	700	700	700	700	0	3,500

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
協働事業補助金	市民活動団体を緩やかにネットワーク化し、区民会議と協働で区政に関わる事業を行なう際、補助金を交付	0	700	700	700
計 A		0	700	700	700

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	700	700	700

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(08)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政推進費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03803501	(名称) 見沼区まちづくり推進事業		
3 事業名	さいたま市誕生10周年記念事業 少年少女サッカー教室事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード)	7304	(事業名)	区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号)	3 14	(事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	毎回定員を上回る応募があり、参加者からは次回も参加したいとの要望が多いことから、継続したい。			
9 事業概要	(概要)	サッカーのまちさいたま市のまちづくりを目指す一環として、区内の子供たちを対象にサッカー教室を開催し、併せてサッカーを通じた青少年の健全育成と基本的な技術の向上を図ることを目的とします。		平成23～27年度事業費 2,275千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	定員を上回る応募があり、落選者が多く出ています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 応募者数(定員100名) H20年度 175名 H21年度 214名 H22年度 134名
問題解決の方針	できるだけ多くの応募者が参加できるように、アルディージャと調整しながら、2部制がとれるかの検討を図っていきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	アンケート調査を実施して満足度を検証し、さらに充実した事業とします。	
求める効果、目標指標	サッカーのまちとして定着しているスポーツを通じ、スポーツの楽しさ、また、思いやりやルールを守ることの大切さ、更には郷土愛の醸成に繋がる様な事業として継続していきます。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[見沼区まちづくり推進事業 / 見沼区 / H15～] C --> D D --> E[見沼区少年・少女サッカー教室実施要領 / 見沼区コミュニティ課 /] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	区内の小学生を対象にサッカーを通じ、青少年の健全育成と基本的な技術の向上が図られ、併せてアルディージャの選手やコーチに指導をしてもらうことにより子どもたちに夢を与える事業です。
平成23年度	平成22年度に参加者に対しアンケート調査をして、事業への区民の満足度を検証しさらに充実を図ります。
平成24年度以降(目標年次も記入)	毎回、参加者に対しアンケート調査をして、事業への区民の満足度を検証しさらに充実を図ります。

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業
事業名	さいたま市誕生10周年記念事業 少年少女サッカー教室事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	少年・少女サッカー教室事業	少年・少女サッカー教室事業	少年・少女サッカー教室事業	少年・少女サッカー教室事業	少年・少女サッカー教室事業	少年・少女サッカー教室事業		
事業費(当初予算)	456	455	455	455	455	455		2,275
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	456	455	455	455	455	0	2,275

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
少年・少女サッカー教室事業	少年・少女サッカー教室運営経費	456	455	455	455	
計 A		456	455	455	455	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
			H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B			456	455	455	455
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(09)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政推進費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03803501	(名称) 見沼区まちづくり推進事業		
3 事業名	さいたま市誕生10周年記念事業 見沼区文化まつり事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード)	7304 (事業名)	区まちづくり推進事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号)	3 / 14 (事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。	
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	ステージにおいて、参加種目の偏りが見られる。 会場までの交通が不便である。			
9 事業概要	(概要)	コミュニティセンター・公民館で活動している団体が芸能発表・作品展示を市市民が一体となって取り組めるような文化交流の場を設けるために開催します。	平成23～27年度事業費	11,505千円
	(根拠法令等)	見沼区文化まつり実行委員会規約		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	ステージにおいて、参加種目の偏りが見られる。 会場までの交通が不便である。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	参加者や来場者の意見を聞き、実行委員会で募集方法を審議します。 コミュニティバスを借上げ、会場まで送迎し、来場しやすくします。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	参加者や来場者に対しアンケート調査を実施して、事業への区民の満足度を検証し、平成23年度以降もさらに充実させ、事業を継続します。	
求める効果、目標指標	区民と行政の協働の場、また、区民相互の交流の場を提供し、にぎわいのあるまちづくりを推進します。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[見沼区まちづくり推進事業 / 見沼区 / H15～] C --> D D --> E[見沼区文化まつり実行委員会規約 / 見沼区コミュニティ課] </pre>	<p>市民生活</p> <hr/> <p>関連事業</p> <hr/> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>
---	--

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	コミュニティセンター・公民館で活動している団体が芸能発表・作品展示を市市民が一体となって取り組めるような文化交流の場を設けるために開催します。
平成23年度	平成22年度に参加者や来場者に対しアンケート調査を実施して、事業への区民の満足度を検証しさらに充実を図ります。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	毎回、参加者や来場者に対しアンケート調査を実施して、事業への区民の満足度を検証しさらに充実を図ります。

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業							
事業名	さいたま市誕生10周年記念事業 見沼区文化まつり事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								
(単位:千円)								
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	文化まつり開催	文化まつり開催	文化まつり開催	文化まつり開催	文化まつり開催	文化まつり開催		
事業費(当初予算)	1,950	2,301	2,301	2,301	2,301	2,301		11,505
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,950	2,301	2,301	2,301	2,301	0	11,505

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
臨時駐車場の確保	報償費(駐車場賃借の謝礼,運営協力謝品)	75	10	10	10
文化まつりの運営	・郵送用宛名ラベル、記録紙等 ・実行委員・参加者あて郵送料 ・展示・ステージ会場設営等 ・コミュニティバスの借上料	1,875	2,291	2,291	2,291
計 A		1,950	2,301	2,301	2,301

<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		1,950	2,301	2,301	2,301

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	見沼区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(10)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政推進費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03803501	(名称) 見沼区まちづくり推進事業		
3 事業名	ふるさと発見てくてく見沼			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	ウォーキングイベント「てくてく見沼」については、毎回多数の参加を頂き、ふるさと見沼の自然の再発見する良い機会となっている。			
9 事業概要	(概要)	区民が地域を歩くことで地域の関心を高め、ふるさと見沼の自然・文化を再発見し、愛着を深めます。	平成23～27年度事業費	420千円
	(根拠法令等)	ふるさと発見てくてく見沼実施要領		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	好評の事業なので、さらに充実させて継続していきたい。ウォーキングと自然発見に視点がゆきがちなところがあります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	ふるさと見沼の歴史・文化を再発見するために、平成22年度開催の「みるきく見沼」(見沼の歴史・民話のおはなし会、上映会)を継続していきます。また、アンケート調査を実施し、イベントの拡充を行っていきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度 応募人数、参加者人数、アンケート結果を受け、開催場所・会場等を検討します。	
求める効果、目標指標	イベントを通じて、ふるさと見沼の自然・文化を再発見し、愛着を深めます。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[見沼区まちづくり推進事業 / 見沼区 / H15～] C --> D D --> E[ふるさと発見てくてく見沼 / 見沼区コミュニティ課] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p>
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	ウォーキングイベント「てくてく見沼」を開催。 「みるきく見沼」(見沼の歴史・民話のおはなし会・上映会)を開催
平成23年度	応募人数、参加者人数、アンケート結果を受け、開催場所・会場等を検討し、「てくてく見沼」「みるきく見沼」を開催
平成24年度以降(目標年次も記入)	応募人数、参加者人数、アンケート結果を受け、開催場所・会場等を検討し、「てくてく見沼」「みるきく見沼」を開催

予算の事務事業名	見沼区まちづくり推進事業							
事業名	ふるさと発見てくてく見沼							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	ふるさと発見てくてく見沼	ふるさと発見てくてく見沼	ふるさと発見てくてく見沼	ふるさと発見てくてく見沼	ふるさと発見てくてく見沼	ふるさと発見てくてく見沼		
事業費(当初予算)	74	84	84	84	84	84		420
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	74	84	84	84	84	0	420

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
ふるさと発見てくてく見沼	指導員謝金	30	30	30	30
ふるさと発見てくてく見沼	損害保険料	5	8	8	8
ふるさと発見てくてく見沼	手旗等消耗品	19	16	16	16
ふるさと発見みるきく見沼	講師謝金	20	30	30	30
計 A		74	84	84	84

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	74	84	84	84

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	中央区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(11)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03804001	(名称)	中央区まちづくり推進事業	
3 事業名	中央区まちづくり推進事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード)	7304	(事業名)	区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号)	3 14	(事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声	<ul style="list-style-type: none"> 区内にある交通安全等の老朽化した看板の取換えをしてほしい(平成22年度対話集会) 街路灯を設置してほしい(平成22年度対話集会) 			
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度事業費	507,175千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区域の大部分が都市化されていて、インフラ整備は充実していますが、街路灯などの施設が老朽化しています。旧市域が中央区域となっているため地域コミュニティはある程度成熟していますが、大規模マンション等の増加による人口流動が大きく、新旧住民の交流が不足しています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 今後、重点的に取り組んでほしい分野「安全・生活環境に関する取組」33% (平成21年度区長マニフェスト評価書) 区自治会連合会未加入自治会数：7 / 46 (内5つが新築マンション)
問題解決の方針	街路灯を修繕するだけでなく、LED化することにより地球環境にも配慮します。区民会議を活用し、コミュニティ活動を支援することにより、市民の交流を図ります。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	街路灯の修繕などのハード面と職員による青色防犯パトロールなどのソフト面の両面から「安心・安全なまちづくり」を進めます。新旧住民の交流のきっかけとして、新住民も参加しやすいイベントの開催(区民まつり・ロビーミニコンサート)や支援(バラのまち中央区アートフェスタ・大正時代まつり・七福神パレード)を充実させます。	
求める効果、目標指標	ハード面での整備を進めます。区民の交流を促進することにより、区民活動への参加意識向上をはかり、協働事業の推進に寄与します。また、区民相互のふれあいと連帯感を深めることによる防犯効果など、の問題解決にもソフト面で寄与します。	<目標指標>(別添可・様式任意) 区長マニフェスト評価書「安心・安全・快適なまちづくり」に関する取組についての評価の向上 主催・支援イベントの来場者数増加

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[中央区まちづくり推進事業 / 中央区 / H15～] C --> D </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	故障した街路灯を修繕してきました。区民まつり等の主催及び区内観光団体特別支援事業として補助しました。
平成23年度	本庁関係課と調整し、街路灯修繕を進めます。区民会議・コミュニティ会議推進協議会の活用等によるコミュニティ活動・地域イベント等の検討します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	本庁関係課と調整し、LED化を含めた街路灯修繕を進めます。区民会議・コミュニティ会議推進協議会の活用等によるコミュニティ活動・地域イベント等の検討・見直しを進めます。

予算の事務事業名	中央区まちづくり推進事業							
事業名	中央区まちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	中央区まちづくり推進事業	中央区まちづくり推進事業	中央区まちづくり推進事業	中央区まちづくり推進事業	中央区まちづくり推進事業	中央区まちづくり推進事業		
事業費(当初予算)	106,759	101,435	101,435	101,435	101,435	101,435	101,435	608,610
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	106,759	101,435	101,435	101,435	101,435	101,435	608,610

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
まちづくり基本経費	区民会議の開催や区長マニフェストの実施など、市民の意見を聴取してまちづくりを推進するために必要な経費	6,131	4,591	4,591	4,591	
まちづくり事業経費	区の地域特性や地域資源を生かしながら、個性豊かで魅力ある地域づくりを進めるための事業経費	25,269	24,756	24,756	24,756	
区民満足度アップ経費	道路の緊急修繕や交通安全施設・公衆便所の修繕等に用いる身近な生活環境維持経費	75,359	72,088	72,088	72,088	
計 A		106,759	101,435	101,435	101,435	

<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	

<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		106,759	101,435	101,435	101,435	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	桜区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(12)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03804501	(名称) 桜区まちづくり推進事業
3 事業名	桜区まちづくり推進事業		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 14 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度 事業費 470,880千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区長マニフェスト アンケート調査によると、地域への愛着が希薄 となっているため、「地域交流に関する取組」についての関心が薄く、事業の評価も低くなっていること。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 区長マニフェスト評価書
問題解決の方針	地域への理解と愛着を深めるための各種事業について、適切な規模の予算を確保するとともに、区民に身近で内容の濃いイベントを企画します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	区長マニフェスト アンケート調査による現況把握 (H22) アンケート調査結果に基づき、新規地域イベントの創出・既存事業の見直し等(H22～27)	
求める効果、目標指標	区への愛着が深まるとともに、区民活動への参加意識向上が図られ、あわせて、協働事業の推進にも寄与します。	<目標指標>(別添可・様式任意) 区長マニフェスト評価の地域交流に関する取組についての評価の向上

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[桜区まちづくり推進事業 / 桜区 / H15～] C --> D </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	区長マニフェスト アンケート調査による現況把握。
平成23年度	「地域交流に関する取組」強化の一環として、親子ふれあい米作り体験やクリーン活動などの事業に対し、適正規模の予算を確保します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	毎年のアンケート結果をふまえ、引き続き、限られた予算の範囲内において、新たな地域イベントの創出や、既存事業の見直しを図ります。

予算の事務事業名	桜区まちづくり推進事業							
事業名	桜区まちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	区長マニフェストアンケート調査の現況把握	地域関係交流事業等への予算の重点配分	新規事業の創出・既存事業の見直し	新規事業の創出・既存事業の見直し	新規事業の創出・既存事業の見直し	新規事業の創出・既存事業の見直し		
事業費(当初予算)	96,504	94,176	94,176	94,176	94,176	94,176		470,880
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	96,504	94,176	94,176	94,176	94,176	0	470,880

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
まちづくり基本経費	区民会議の開催や広報事業等、まちづくりを推進に資する仕組みの運営に要する経費	4,449	4,282	4,282	4,282
まちづくり経費	地域への愛着を深めるため、親子ふれあい米作り体験事業など、区独自事業を展開するための事業経費	7,948	8,426	8,426	8,426
区民満足度アップ経費	道路・河川の緊急修繕や交通安全施設の修繕等に用いる身近な生活環境維持経費	84,107	81,468	81,468	81,468
計 A		96,504	94,176	94,176	94,176
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		96,504	94,176	94,176	94,176
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。			
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。			

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	桜区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(13)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03804501 (名称) 桜区まちづくり推進事業								
3 事業名	桜区区民ふれあいまつり								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>桜区区民のコミュニティの醸成と桜区のまちづくりの推進を図るため、ブラザウエスト及び正面広場においてまつりを開催します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>34,500千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	桜区区民のコミュニティの醸成と桜区のまちづくりの推進を図るため、ブラザウエスト及び正面広場においてまつりを開催します。	平成23～27年度事業費	34,500千円	(根拠法令等)			
(概要)	桜区区民のコミュニティの醸成と桜区のまちづくりの推進を図るため、ブラザウエスト及び正面広場においてまつりを開催します。	平成23～27年度事業費	34,500千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	例年約20,000人が来場し、大変な賑わいをみせており成功裡に開催しています。今後も趣向を凝らした催し物を考えて行きたいです。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	まつりの内容について、来場者はもとより広く区民の声を取り入れていきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	アンケートなどを実施します。	
求める効果、目標指標	来場者及び参加者の満足度。	<目標指標>(別添可・様式任意) 満足度 95%

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[桜区まちづくり推進事業 / 桜区 / H15～] C --> D D --> E[桜区区民ふれあいまつり / 桜区コミュニティ課] </pre> <p>・さいたま市全区において、それぞれの地区ごとに特色ある区民まつりを実施している。</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	屋外では各模擬店のほか、ステージショーやみこし等の催し、また屋内では、公共団体等の展示、フリーマーケットそしてさくらホールでのコンサートを実施しています。
平成23年度	例年同様に各催しを実施し、区民のコミュニティの醸成やまちづくりの推進を図って行きます。
平成24年度以降(目標年次も記入)	賑わいのある区民まつりを続けて行きます。(平成27年度まで)

予算の事務事業名	桜区まちづくり推進事業
事業名	桜区区民ふれあいまつり

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	区民ふれあいまつりを開催	区民ふれあいまつりを開催	区民ふれあいまつりを開催	区民ふれあいまつりを開催	区民ふれあいまつりを開催	区民ふれあいまつりを開催		
事業費(当初予算)	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900		34,500
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	0	34,500

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
区民まつり補助金	桜区区民ふれあいまつり実行委員会に対し、まつり事業費の補助を行います。	6,900	6,900	6,900	6,900	
計 A		6,900	6,900	6,900	6,900	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
A - B		6,900	6,900	6,900	6,900	
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	桜区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(14)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03804501	(名称) 桜区まちづくり推進事業		
3 事業名	サクラソウ講習会			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	国指定特別天然記念物に指定されている「田島ヶ原サクラソウ自生地」にちなんで、多くの区民にサクラソウに親しんでもらうことを目的に開催します。また、4月には開花したサクラソウを展示します。	平成23～27年度事業費	875千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	サクラソウ自生地について、「国の指定特別天然記念物」という認識をより深め、また自生地保護の理解も広める必要があります。また、サクラソウは栽培が難しいという印象を持つ区民が多いため、栽培方法を学ぶことができる講習会を午前・午後の2回開催していますが、応募数は定員数を上回っている状況です。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	受講可能人数を増やすと同時に、サクラソウへの知識、親しみをアップさせる事業を展開します。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	栽培講習会の日数を2日開催にすることにより、受講可能人数を2倍にします。	
求める効果、目標指標	より多くの区民に、市の花であり区名の由来であるサクラソウに親しんでもらいます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 参加人数 200人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[桜区まちづくり推進事業 / 桜区 / H15～] C --> D D --> E[サクラソウ講習会 / 桜区コミュニティ課] </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	毎年2月中に栽培講習会を午前と午後の1日2回行い、4月に参加者によるサクラソウ展示会を区役所において行います。
平成23年度	栽培講習会を2日に分けて開催し、参加人数を増やすことで、昨年度以前より多くの区民にサクラソウへの知識を高めてもらいます。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	同様の栽培講習会、展示会を毎年開催。(平成27年度)

予算の事務事業名	桜区まちづくり推進事業
事業名	サクラソウ講習会

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	サクラソウ講習会、展示会を開催	サクラソウ講習会、展示会を開催	サクラソウ講習会、展示会を開催	サクラソウ講習会、展示会を開催	サクラソウ講習会、展示会を開催	サクラソウ講習会、展示会を開催		
事業費(当初予算)	89	175	175	175	175	175		875
財源								
内訳								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	0		0
一般財源	89	175	175	175	175	175	0	875

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
講師謝金	栽培講習会 講師への謝金	30	60	60	60
苗、鉢、土、袋等	栽培講習会で使用する苗、鉢、土、袋等を購入	52	102	102	102
会場使用料	会場使用料	7	13	13	13
計 A		89	175	175	175

<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		89	175	175	175

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	桜区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(15)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03804501	(名称) 桜区まちづくり推進事業		
3 事業名	区民ふれあいコンサート			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	区民に気軽に音楽を楽しんでいただくため昼休みにプラザウエスト1階ロビーを利用したコンサートを開催します。また12月にはプラザウエストさくらホールを使用してクリスマスコンサートを開催します。	平成23～27年度事業費	6,690千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	特にロビーコンサートは申込不要で誰でも鑑賞できることから、通常のコンサートに行くことが難しい乳幼児連れや高齢者も鑑賞しやすく、市民のニーズが高く、立ち見が出る状況です(可動イス170席)。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	より多くの区民に鑑賞してもらい、満足できるレベルを維持していきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	区民の満足度を維持するため、出演者の選出レベル及びジャンルについてこれまで同様厳選します。また、立ち見も多いため、スタッフを増員します。	
求める効果、目標指標	より多くの区民に、生の音楽に気軽に親んでもらいます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 来場者数 1,200人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	市民生活
	関連事業
	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	プラザウエストにおいて、ロビーでのコンサート5回(5・7・9・11・2月)及びさくらホールでのコンサートを1回(12月)開催します。
平成23年度	プラザウエストにおいて、ロビーでのコンサート5回及びさくらホールでのコンサートを1回開催します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	前年度と同様に開催。(平成27年度)

予算の事務事業名	桜区まちづくり推進事業
事業名	区民ふれあいコンサート

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	ロビー及びホールでのコンサートを開催	ロビー及びホールでのコンサートを開催	ロビー及びホールでのコンサートを開催	ロビー及びホールでのコンサートを開催	ロビー及びホールでのコンサートを開催	ロビー及びホールでのコンサートを開催		
事業費(当初予算)	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338		6,690
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	0	6,690

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
出演者謝礼	出演者への謝礼	1,185	1,185	1,185	1,185
チラシ等作成	ポスター、チラシ、プログラム、用紙代	42	42	42	42
会場使用料	会場使用料	111	111	111	111
計 A		1,338	1,338	1,338	1,338
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		1,338	1,338	1,338	1,338

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(16)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03805001	(名称) 浦和区まちづくり推進事業
3 事業名	浦和区まちづくり推進事業		
4 事業の区分/分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声			
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	
	(根拠法令等)	平成23～27年度事業費	488,770千円

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	「地域交流に関する取組」についての区民要望は低いですが、市が市民の絆、地域の絆を重視する中で、取組の充実が必要不可欠です。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) 区長マニフェスト評価書
問題解決の方針	「地域交流に関する取組」については、より魅力ある事業を実施するとともに、より多くの区民に関心をもってもらい、参加してもらえるよう努めます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	地域への理解と愛着を深めるために、区民に身近な事業を企画します。各事業の周知方法などを工夫します。	
求める効果、目標指標	区の将来像「にぎわいと文教の調和する緑豊かなまち」	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[浦和区まちづくり推進事業 / 浦和区 / H15～] C --> D </pre>	<p>市民生活</p> <hr/> <p>関連事業</p> <hr/> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <p>なし</p>

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 区民会議の運営、コミュニティ会議の支援、区長マニフェストの策定及び区民アンケートを実施しています。 区の独自性を打ち出した各種事業を実施しました。 衛生害虫駆除、土木緊急修繕を行いました。
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 区民会議の運営、市民活動ネットワークの支援、区長マニフェストの策定及び区民アンケートを実施します。 区の独自性を打ち出した各種事業、ラジオ広報、区広報誌発行、ガイドマップ改訂を行います。 交通安全施設維持管理、公衆便所維持管理、衛生害虫駆除、土木緊急修繕を行います。
平成24年度以降(目標年次も記入)	区長マニフェストに関する区民アンケート結果を基に、毎年度の取組に対する区民の評価を把握し、既存事業の見直しや新規事業の立上げ等を進めていきます。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業							
事業名	浦和区まちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳							(単位：千円)	
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	・まちづくり基本経費 ・まちづくり事業経費 ・区民満足度UP経費	
事業費(当初予算)	101,398	97,754	97,754	97,754	97,754	97,754		488,770
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	101,398	97,754	97,754	97,754	97,754	0	488,770
一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。								
平成23年度予算要求内訳								
<事業費>								
業務内容	説明			H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
まちづくり基本経費	区民会議の運営や市民活動ネットワークの支援、区長マニフェスト策定を行います。			5,325	5,586	5,586	5,586	
まちづくり事業経費	・区の独自事業として、区の特徴を生かしたまちづくり事業、ラジオによる広報事業を実施します。 ・区広報誌を発行します。 ・区ガイドマップを改訂します。			13,358	12,461	12,461	12,461	
区民満足度アップ経費	・交通安全施設の維持管理を実施します。 ・公衆便所の維持管理を実施します。 ・衛生害虫の駆除、災害時の消毒を実施します			82,715	79,707	79,707	79,707	
	計 A			101,398	97,754	97,754	97,754	
<特定財源>								
内訳	説明			H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
	計 B			0	0	0	0	
<一般財源>								
				H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
			A - B	101,398	97,754	97,754	97,754	
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。						
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。						

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 暮らし応援室
[課/所/室]	

市ス-31(17)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政総務費 / 02区民まちづくり推進費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03805001 (名称) 浦和区まちづくり推進事業								
3 事業名	ごみゼロ運動事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>浦和区の「ごみのない美しい街づくり」への取り組みとして、秋に、区内の自治会と共に地域清掃活動を実施します。また、浦和駅周辺においても、商店会と協働で、ゴミ減量啓発ティッシュ及びごみ袋等を配布するキャンペーンを実施します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>1,655千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	浦和区の「ごみのない美しい街づくり」への取り組みとして、秋に、区内の自治会と共に地域清掃活動を実施します。また、浦和駅周辺においても、商店会と協働で、ゴミ減量啓発ティッシュ及びごみ袋等を配布するキャンペーンを実施します。	平成23～27年度事業費	1,655千円	(根拠法令等)			
(概要)	浦和区の「ごみのない美しい街づくり」への取り組みとして、秋に、区内の自治会と共に地域清掃活動を実施します。また、浦和駅周辺においても、商店会と協働で、ゴミ減量啓発ティッシュ及びごみ袋等を配布するキャンペーンを実施します。	平成23～27年度事業費	1,655千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	ごみゼロ運動への参加団体数が80%程度に止まっています。 平成20年度参加数 82団体 4,298人 平成21年度参加数 82団体 4,699人	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	区内の全自治会、商店会に対する啓発活動を継続し、環境美化意識の高揚を図ることにより、さらに多くの参加を目指していきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度以降も啓発活動を継続し、平成26年度には、区内の全自治会、商店会の参加を目標とします。	
求める効果、目標指標	地域清掃活動を通じて、「ごみのない美しい街づくり」を目指します。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～</p> <p>春のごみゼロ運動(市全体) / 廃棄物対策課</p> <p>浦和区まちづくり推進事業 / 浦和区 / H15～</p> <p>ごみゼロ運動(秋のごみゼロ運動) / 浦和区暮らし応援室 / H19～</p>	<p>市民生活</p> <p>日時の設定</p> <p>関連事業</p> <p>・春のごみゼロ運動(廃棄物対策課)</p>
(4)他市事例(県内市町村、政令市等)	

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	(1) 区内の自治会が主体となり地域清掃活動の実施しました。 (2) 区職員、協力団体による浦和駅周辺でのキャンペーン活動を実施しました。
平成23年度	(1) 区内の自治会が主体となり地域清掃活動の実施します。 (2) 区職員、協力団体による浦和駅周辺でのキャンペーン活動を実施します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	(1) 区内の自治会が主体となり地域清掃活動の実施します。 (2) 区職員、協力団体による浦和駅周辺でのキャンペーン活動を実施します。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	ごみゼロ運動事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	秋のごみゼロ運動	秋のごみゼロ運動	秋のごみゼロ運動	秋のごみゼロ運動	秋のごみゼロ運動	秋のごみゼロ運動		
事業費(当初予算)	368	331	331	331	331	331		1,655
財源								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	0		0
内訳								
一般財源	368	331	331	331	331	331	0	1,655

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
秋のごみゼロ運動	キャンペーンの際にごみ袋等の啓発品を配布します。	368	331	331	331	
計 A		368	331	331	331	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		368	331	331	331	
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

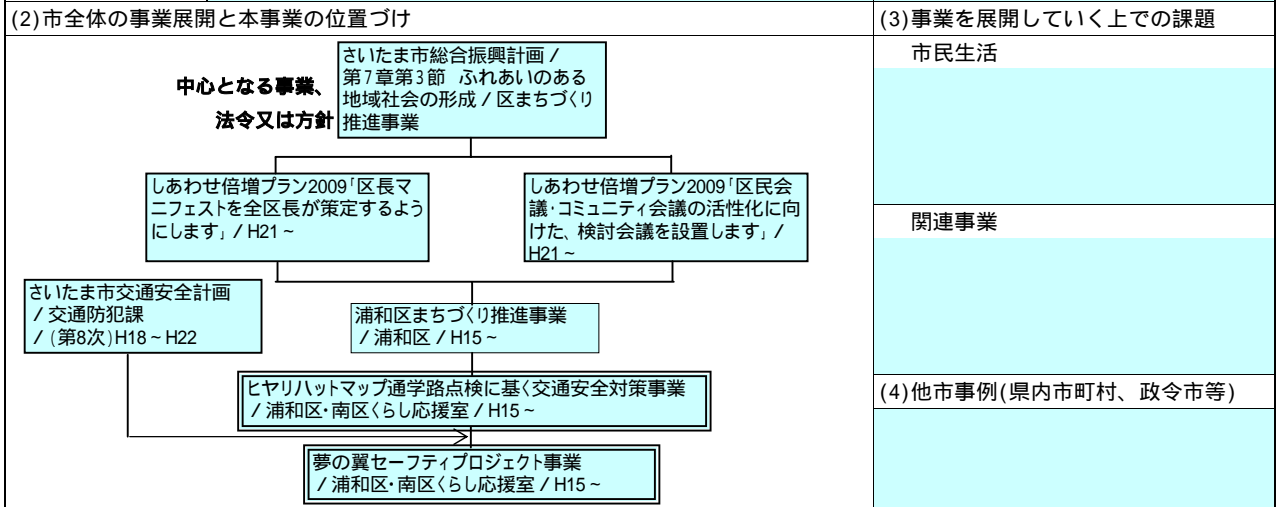
平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 暮らし応援室
[課/所/室]	

市ス-31(18)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政総務費 / 02区民まちづくり推進費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03805001 (名称) 浦和区まちづくり推進事業								
3 事業名	交通安全啓発事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声	区民の交通安全意識を高めるために啓発に努めてほしいという要望が市民から寄せられています。								
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>街頭キャンペーンを実施します。折鶴入りティッシュの配布を行います。ヒヤリハットマップの作成、通学路点検を実施します。交通事故箇所マップのwebデータのホームページ公開を行います。交通安全啓発ポスター等を作成・配布します。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>22,535千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	街頭キャンペーンを実施します。折鶴入りティッシュの配布を行います。ヒヤリハットマップの作成、通学路点検を実施します。交通事故箇所マップのwebデータのホームページ公開を行います。交通安全啓発ポスター等を作成・配布します。	平成23～27年度事業費	22,535千円	(根拠法令等)			
(概要)	街頭キャンペーンを実施します。折鶴入りティッシュの配布を行います。ヒヤリハットマップの作成、通学路点検を実施します。交通事故箇所マップのwebデータのホームページ公開を行います。交通安全啓発ポスター等を作成・配布します。	平成23～27年度事業費	22,535千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題					
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	浦和区は、他区に比べ自転車と高齢者の交通事故の割合が高いので、特に自転車と高齢者の交通事故を減少させることが重要です。そのためには、交通安全ルールや交通危険箇所を周知し、事故の再発防止を図る必要があります。				
問題解決の方針	街頭キャンペーン等の啓発活動を実施します。高齢者ヒヤリハットマップの自治会への回覧、公民館等での配布を行います。自転車の交通ルール啓発用ポスター及びパンフレットの作成・配布を行います。				
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度～27年度まで毎年、春夏秋冬交通安全運動、高齢者交通事故死0を目指す街頭キャンペーン等を年10回以上実施し、高齢者ヒヤリハットマップの作成・配布、自転車の交通ルール啓発用ポスター及びパンフレットの作成・配布を行います。				
求める効果、目標指標	<table border="1"> <tr> <td>自転車及び高齢者の交通事故件数の減少を目指します。</td> <td>平成27年度目標</td> <td>自転車交通事故件数 100件</td> <td>高齢者交通事故件数 60件</td> </tr> </table>	自転車及び高齢者の交通事故件数の減少を目指します。	平成27年度目標	自転車交通事故件数 100件	高齢者交通事故件数 60件
自転車及び高齢者の交通事故件数の減少を目指します。	平成27年度目標	自転車交通事故件数 100件	高齢者交通事故件数 60件		



(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏秋冬交通安全運動その他街頭キャンペーン等を実施しました。 ・折鶴入りティッシュ等を配布しました。ヒヤリハットマップの作成、通学路点検を実施しました。交通事故箇所マップのwebデータのホームページ公開を行いました。 ・交通安全啓発ポスター等を作成・配布しました。
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏秋冬交通安全運動その他街頭キャンペーン等を実施します。 ・折鶴入りティッシュ等を配布します。ヒヤリハットマップの作成、通学路点検を実施します。交通事故箇所マップのwebデータのホームページ公開を行います。 ・交通安全啓発ポスター等を作成・配布します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏秋冬交通安全運動その他街頭キャンペーン等を実施します。 ・折鶴入りティッシュ等を配布します。ヒヤリハットマップの作成、通学路点検を実施します。交通事故箇所マップのwebデータのホームページ公開を行います。 ・交通安全啓発ポスター等を作成・配布します。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	交通安全啓発事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	交通安全啓発事業	交通安全啓発事業	交通安全啓発事業	交通安全啓発事業	交通安全啓発事業	交通安全啓発事業		
事業費(当初予算)	2,903	5,687	2,789	5,635	2,789	5,635		22,535
財源								
内								
訳								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	0		0
一般財源	2,903	5,687	2,789	5,635	2,789	5,635	0	22,535

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
業務内容	説明				
交通安全運動・街頭キャンペーンその他啓発活動	交通安全運動や街頭キャンペーンの際に、啓発品・チラシを配布します。また、警察署員、交通指導員等による交通安全講話等で使用するパンフレットを作成します。交通安全対策のためのソフトサイン、電柱幕等を作成します。	969	1,128	1,128	1,128
ヒヤリハットマップ作成	交通安全保護者の会(母の会)、学校、警察等と協働で、小中学校4校分のヒヤリハットマップを作成し、児童に配布します。	326	336	336	336
児童生徒のメッセージ入り折鶴作成・配布	区内の小中学生のメッセージ付折鶴入りティッシュを作成し、春夏秋冬交通安全運動や街頭キャンペーンの際に配布します。	609	393	393	393
交通事故箇所マップweb作成等	浦和・南区内の交通危険箇所や交通事故統計についての情報をweb上で公開します。また、紙ベースでの交通事故箇所マップを作成し、区役所ロビー・公民館等に設置します。	585	3,431	3,431	3,431
高齢者交通安全啓発	高齢者ヒヤリハットマップを作成し、自治会にて回覧及び公民館等で配布します。	189	147	147	147
自転車交通ルール啓発	自転車の交通安全啓発用ポスター及びパンフレットを作成し、配布します。	225	252	252	252
計 A		2,903	5,687	5,687	5,687

<特定財源>		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
内訳	説明				
計 B		0	0	0	0

<一般財源>		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		2,903	5,687	5,687	5,687

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(19)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03802501 (名称) 浦和区まちづくり推進事業								
3 事業名	浦和区区民のつどい								
4 事業の区分/分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。								
7 行財政改革推進プラン	該当なし								
8 市民の声、現場の声	特定の地区による開催ではなく、各地域でにぎわい創出が図れるような実施を望みます。(市民の声)								
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>二七の市、東口まつり、岸町ふれあいまつり、(仮称)北浦和まつりなど、地域が実施するイベントに区民のつどいの冠を付け、区内全域で多様な交流を活発化する事業です。</td> <td>平成23~27年度事業費</td> <td>37,195千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	二七の市、東口まつり、岸町ふれあいまつり、(仮称)北浦和まつりなど、地域が実施するイベントに区民のつどいの冠を付け、区内全域で多様な交流を活発化する事業です。	平成23~27年度事業費	37,195千円	(根拠法令等)			
(概要)	二七の市、東口まつり、岸町ふれあいまつり、(仮称)北浦和まつりなど、地域が実施するイベントに区民のつどいの冠を付け、区内全域で多様な交流を活発化する事業です。	平成23~27年度事業費	37,195千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	1カ所で開催することに各地域の協力が得られないため、地域のイベントに冠を付けて実施しています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	各地域のイベントの代表者等で組織する区民のつどい実行委員会において、浦和区区民のつどいとして相応しいものを協議、検討していきます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	現在点による各地域で実施している区民のつどいを、いずれは面による開催とし、浦和区区民のつどいが浦和を代表するイベントになることを目指します。浦和駅の東西通路が完成した後の平成25年度の開催を目標とします。	
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> 二七の市 15,000人(H21実績の10%増) 東口まつり 7,000人(H21実績の10%増) 岸町ふれあいまつり 1,300人(H21実績の約10%増) (仮称)北浦和まつり(新規) 	<目標指標>(別添可・様式任意) <ul style="list-style-type: none"> 二七の市 16,500人 東口まつり 7,700人 岸町ふれあいまつり 1,500人 (仮称)北浦和まつり 1,000人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p>	市民生活 関連事業 (4)他市事例(県内市町村、政令市等) 不明

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 第8回二七の市(第1回は平成15年度) 第2回東口まつり(第1回は平成21年度) 第8回岸町ふれあいまつり(平成22年度から区民のつどい) 第1回(仮称)北浦和まつり(平成22年度から区民のつどい)
平成23年度	二七の市、東口まつり、岸町ふれあいまつり、(仮称)北浦和まつりにもう1カ所のイベントを区民のつどいとして加えます。
平成24年度以降(目標年次も記入)	継続

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(20)

1 会計	一般会計	(款/項/目)	02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード)	03805001	(名称) 浦和区まちづくり推進事業
3 事業名	コミュニティの広場		
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし		
8 市民の声、現場の声	より多くの市民の方に参画してほしいです。(現場の声)		
9 事業概要	(概要)	区民会議とコミュニティ会議の交流の場で、コミュニティ会議の各団体による活動発表会(交流発表会)や意見交換会(研修会)を実施します。	平成23~27年度事業費 2,000千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・区民会議とコミュニティ会議のあり方に不明確な点があるため、活動するうえで、支障となることがあります。 ・コミュニティ会議同士の連携方法について、改善が必要です。
問題解決の方針	区民会議とコミュニティ会議のあり方については、23年度以降の新体制後にコミュニティの広場が活動しやすいような位置づけや活動内容を検討します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度以降、“市民活動ネットワーク”の組織としての移行も検討します。
求める効果、目標指標	効果：“コミュニティの広場”は、区民会議とコミュニティ会議の“交流の場”として活動を拡げてきました。今後“市民活動ネットワーク”が各登録団体同士で連携しながら“活動の場”として運営していく上で、“コミュニティの広場”の実績を引き継ぐことができます。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします。」 / H21~</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。」 / H21~</p> <p>区長マニフェスト 主要な取組事項 「参加と協働によるまちづくりのために」</p> <p>浦和区まちづくり推進事業 / 浦和区 / H15~</p> <p>コミュニティの広場 / 浦和区コミュニティ課</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 不明</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	平成16年度に実行委員会設立し、平成20年度までに6回の交流発表会を実施しました。平成21年度、実行委員会を新体制に移行し、研修会及び広報啓発活動を実施しました。
平成23年度	交流発表会及び研修会等を実施します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	市民活動ネットワークとして継続します。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	コミュニティの広場

1 0 事業計画・資金計画・平成 2 3 年度予算要求内訳

(単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	交流発表会 研修会の実施	交流発表会 研修会の実施	交流発表会 研修会の実施	交流発表会 研修会の実施	交流発表会 研修会の実施	交流発表会 研修会の実施		
事業費(当初予算)	400	400	400	400	400	400		2,000
財源								
国県支出金	0	0	0	0	0	0		0
市債	0	0	0	0	0	0		0
内 其他	0	0	0	0	0	0		0
訳 一般財源	400	400	400	400	400	400	0	2,000

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成 2 3 年度予算要求内訳

<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
交流発表会、 研修会の実施	コミュニティの広場実行委員会に対する補助 金	400	400	400	400	
計 A		400	400	400	400	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
A - B		400	400	400	400	
局長査定理由	局長マネジ メント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。				
市長査定理由	局長マネジ メント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(21)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03805001 (名称) 浦和区まちづくり推進事業
3 事業名	生涯学習塾事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし 14
8 市民の声、現場の声	より多くの区民の方に参加していただきたいです(現場の声)
9 事業概要	(概要) 「手作りで、楽しく学んで、まちづくり」をコンセプトに、高齢者福祉、IT、子育て、チャレンジ!科学あそび、浦和お宝探検隊、まちづくりの6部会がそれぞれ企画・運営し、地域の活性化やコミュニティづくりにつながる学習活動、交流活動などを実施します。 (根拠法令等)

平成23～27年度事業費 6,500千円

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 指導助手等のスタッフが不足しています。 特定の講座に参加者が偏っています。 会場確保が困難です。 	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 講座内容を工夫します。 行政が担うべき事業を市民が実施しているところもあり、会場確保への協力をします。 事業目的を達成するための協議・検討を重ねながら改善を図っていきます。 	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 行政が実施する事業と被らない内容の講座を実施します。 区内全域から参加者を募集したいため、開催の周知・PRには工夫が必要です。(事業内容から見て、目標年次設定はなじみません。継続することが目標です。) 	
求める効果、目標指標	本事業は、継続させていくことで、浦和区における地域コミュニティの醸成及び活性化が図られます。また、市民自らがコミュニティづくり・まちづくりに興味を持ち、自主的・自律的に市民活動に参画する意識の向上が図れることを期待するものです。	<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[区長マニフェスト 主要な取組事項 「文教のまちづくりのために」] C --> E[浦和区まちづくり推進事業 / 浦和区 / H15～] D --> E E --> F[生涯学習塾事業 / 浦和区コミュニティ課] </pre>	市民生活 関連事業 (4)他市事例(県内市町村、政令市等) 不明

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	平成21年度実績 9講座実施のうち 実施回数 55回 参加延べ人員 1,466人 平成22年度も前年度と同規模
平成23年度	例年通りの規模で実施します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	継続。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	生涯学習塾事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	8講座実施	8講座実施 予定	8講座実施 予定	8講座実施 予定	8講座実施 予定	8講座実施 予定		
事業費(当初予算)	1,800	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300		6,500
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	1,800	1,300	1,300	1,300	1,300	0	6,500

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
各種講座実施等	コミュニティキャンパス浦和に対する補助金	1,800	1,300	1,300	1,300
計 A		1,800	1,300	1,300	1,300

<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		1,800	1,300	1,300	1,300

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(22)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03805001 (名称) 浦和区まちづくり推進事業
3 事業名	浦和区作品展
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	より多くの方に見ていただきたいです(現場の声)
9 事業概要	(概要) 区内小・中学校の作品にとどまらず区内公民館で活動するサークル等の作品を含めて作品展を開催します。平成23～27年度事業費 7,125千円 (根拠法令等)

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・区役所のロビーを会場としているため、ロビーの広さから展示数の限りがあります。 ・区役所利用者以外での集客が少ない点です。 ・文教のまちの醸成のため、小・中学校の作品以外の展示を検討します。 <左の根拠指標>(別添可・様式任意) 小学校作品数：52点 中学校作品数：33点
問題解決の方針	・会場をうらわ美術館とし、会場の広さを確保します。 ・拠点公民館と連携し、区内公民館で活動する絵画サークルの作品を含めて展示します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・平成23年度は、10周年事業として、うらわ美術館で開催します。 ・平成24年度以降は、会場は未定ですが、引き続き開催します。
求める効果、目標指標	前年度の開催日数は延べ日数22日間、1日平均来場者は約170人です。(小学校の部終了時点) 平成23年度は開催日数を5日間とし、1日平均来場者を200人(前年度の約20%増)、総合計来場者1,000人を目標とします。 <目標指標>(別添可・様式任意) 1日平均来場者200人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします。」 / H21～</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。」 / H21～</p> <p>区長マニフェスト 主要な取組事項 「文教のまちづくりのために」</p> <p>浦和区区まちづくり推進事業 / 浦和区 / H15～</p> <p>浦和区作品展 / 浦和区コミュニティ課</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 不明</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	小学校作品展、中学校作品展をそれぞれ、区役所ロビーなどで、開催しました。
平成23年度	浦和美術館を会場とし、区内小・中学校の作品にとどまらず区内公民館で活動するサークル等の作品を含めて大規模な作品展を開催します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	23年度の実績を踏まえ、会場選定を行い、引き続き開催します。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	浦和区作品展

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳

(単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	区役所ロビーを会場とし、小学校、中学校作品展をそれぞれ開催	うらわ美術館を会場とし、公民館サークルの作品まで拡大して開催	前年度の実績を踏まえ、会場選定をし、引き続き開催	前年度の実績を踏まえ、会場選定をし、引き続き開催	前年度の実績を踏まえ、会場選定をし、引き続き開催	前年度の実績を踏まえ、会場選定をし、引き続き開催	前年度の実績を踏まえ、会場選定をし、引き続き開催	
事業費(当初予算)	1,662	1,425	1,425	1,425	1,425	1,425	1,425	8,550
財源								
国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳								
一般財源	1,662	1,425	1,425	1,425	1,425	1,425	1,425	8,550

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
作品展示	作品会場の設営、作品の掲示、チラシ・ポスターの作成、作品回収・運搬	1,662	1,425	1,425	1,425
計 A		1,662	1,425	1,425	1,425

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	1,662	1,425	1,425	1,425

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	浦和区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(23)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03805001 (名称) 浦和区まちづくり推進事業
3 事業名	浦和区防犯講演会
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304 (事業名) 区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3 (事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし 14
8 市民の声、現場の声	より多くの方に聴講していただき、防犯の意識を高めたいです(現場の声)。
9 事業概要	(概要) 防犯に関する情報や意見を交換し、相互の連携を強化することで、犯罪のない明るい地域社会の実現をはかるため、防犯講演会を開催します。 (根拠法令等)

平成23～27年度事業費 2,455千円

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	自治会、小・中学校、PTA、商店会、青少年育成会など217団体の構成からなる浦和区防犯ネットワーク協議会を中心に参加者を募るほか、一般の区民参加を募るため、市報(区版)などで周知しているが、参加者数が伸びない状況です。
問題解決の方針	・来場しやすい会場を確保します。 ・魅力ある講演内容を検討します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・平成23年度は、前年度開催時に行ったアンケート結果を参考にテーマや講師を選定し実施します。 また、広報媒体の有効な利用により一般参加者の確保に努めます。 ・平成24年度以降も前年度の実績やアンケート結果を基に内容を検討し実施します。
求める効果、目標指標	前年度の参加者(250人)の10%増を目標とします。

<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
平成21年度参加者：前半248人
後半314人
平成22年度前半参加者：250人
平成22年度後半参加者：269人

<目標指標>(別添可・様式任意)
参加者275人以上

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」/ H21～</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」/ H21～</p> <p>区長マニフェスト 主要な取組事項 「やさしく、人間味豊かなまちづくりのために」</p> <p>浦和区区まちづくり推進事業 / 浦和区 / H15～</p> <p>浦和区防犯講演会 / 浦和区コミュニティ課</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 不明</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	平成22年度は、防犯講演会、防犯講習会を各1回開催しました。
平成23年度	区長マニフェストに掲げた「安心・安全なまちづくり」を進めるため、講演会などを2回開催します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	「安心・安全なまちづくり」を進めるため、引き続き講演会など開催します。

予算の事務事業名	浦和区まちづくり推進事業
事業名	浦和区防犯講演会

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	・講演会 ・講習会	・講演会 ・講習会など	・講演会 ・講習会など	・講演会 ・講習会など	・講演会 ・講習会など	・講演会 ・講習会など		
事業費(当初予算)	501	491	491	491	491	491	491	2,946
財源								
国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0
内 其他	0	0	0	0	0	0	0	0
訳 一般財源	501	491	491	491	491	491	491	2,946

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
防犯講演会の実施	会場使用料、講師謝礼、チラシ・ポスターの作成	501	491	491	491
計 A		501	491	491	491

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	501	491	491	491

局長査定理由 局長マネジメント経費 内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。

市長査定理由 局長マネジメント経費 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	南区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

市ス-31(24)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03805501	(名称) 南区まちづくり推進事業		
3 事業名	南区まちづくり推進事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度事業費	686,265千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題		
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	区の特徴を生かした魅力あるまちづくりの推進が必要となっています。区民の異動が多く、地域への愛着が少ないため、コミュニティ意識が薄くなってきています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・ふるさとふれあいフェアへの参加者35,000人 ・区内の住民異動件数約18,000件
問題解決の方針	地域への理解と愛着を深めるために、区民に身近なイベントを企画します。区民会議、市民活動ネットワークを支援します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	区民意識調査による現況を把握します。(H23) 調査結果に基づく新たな地域イベントの検討や企画を行います。(H23～24) 新たな地域イベントの実施及び検証を行います。(H24～25) 毎年、区民まつりを開催します。(H23～)	
求める効果、目標指標	区への愛着が深まり、区民活動への参加意識向上が図られ、併せて、協働事業の推進に寄与することができます。市民活動団体と行政との協働により、魅力あるまちづくりを推進することができます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 区民まつり等への参加者数の増加 区長マニフェスト評価の地域交流に関する取組みについての評価の向上

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p> <pre> graph TD A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～] A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～] B --> D[南区まちづくり推進事業 / 南区 / H15～] C --> D </pre>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	親しまれる区役所を目指し、区民満足度を向上させる取組を推進してきました。
平成23年度	親しまれる区役所を目指し、更なる区民満足度を向上させる取組を推進します。また、明るい区役所づくりを推進します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	引き続き、親しまれる区役所を目指し、区民満足度を向上させる取組を推進します。

予算の事務事業名	南区まちづくり推進事業							
事業名	南区まちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	区民会議等の運営 魅力あるまちづくり 推進事業 カーブミラー、公衆 街路灯等の修繕など	
事業費(当初予算)	151,153	137,253	137,253	137,253	137,253	137,253	137,253	823,518
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	151,153	137,253	137,253	137,253	137,253	137,253	823,518
一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。								
平成23年度予算要求内訳								
<事業費>								
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
まちづくり 基本経費	区民会議の運営や市民活動ネットワークの 支援など、まちづくりを推進するための経 費 区長マニフェスト作成経費ほか	6,968	7,563	7,563	7,563			
まちづくり 事業経費	市民との協働などにより、区独自事業を展 開するためのソフト事業経費ほか	13,699	9,393	9,393	9,393			
区民満足度 アップ経費	カーブミラー、公衆街路灯等の緊急修繕経 費 道路等の緊急修繕経費 交通安全啓発に要する経費ほか	130,486	120,297	120,297	120,297			
計 A		151,153	137,253	137,253	137,253			
<特定財源>								
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
計 B		0	0	0	0			
<一般財源>								
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定			
A - B		151,153	137,253	137,253	137,253			
局長査定理由	局長マネジ メント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求 のとおりとしました。						
市長査定理由	局長マネジ メント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。						

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	南区役所 区民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課

市ス-31(25)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費			
2 予算の事務事業名	(コード) 03805501	(名称) 南区まちづくり推進事業		
3 事業名	区民交流事業			
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業		
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。		
7 行財政改革推進プラン	該当なし			
8 市民の声、現場の声				
9 事業概要	(概要)	南区ふるさとふれあいフェアをさいたま市誕生10周年記念事業の冠事業として開催します。	平成23～27年度事業費	49,500千円
	(根拠法令等)			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	さいたま市誕生10周年の節目を向かえ、新たな時代の幕開け、絆で結ばれたさいたま市のPRが必要となっています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	平成15年度から開催している「南区ふるさとふれあいフェア」を、10周年記念事業の冠事業として開催します。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	ふるさとふれあいフェアを開催します。	
求める効果、目標指標	10周年記念事業の冠事業とすることで、多くの区民が10周年を祝うことができます。	<目標指標>(別添可・様式任意) 来場者数 37,000人

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業</p>	市民生活
<p>しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」/ H21～</p> <p>しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」/ H21～</p>	関連事業
<p>さいたま市誕生10周年記念事業/企画調整課/H23</p> <p>南区まちづくり推進事業 / 南区 / H15～</p> <p>(区民交流事業) 南区ふるさとふれあいフェア/コミュニティ課 / H15～</p>	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	南区ふるさとふれあいフェアを開催してきました。
平成23年度	第9回南区ふるさとふれあいフェアを、「さいたま市誕生10周年記念事業」の冠事業として開催します。
平成24年度以降(目標年次も記入)	南区ふるさとふれあいフェアを開催します。

予算の事務事業名	南区まちづくり推進事業
事業名	区民交流事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	ふるさとふれあいフェア開催	ふるさとふれあいフェア開催	ふるさとふれあいフェア開催	ふるさとふれあいフェア開催	ふるさとふれあいフェア開催	ふるさとふれあいフェア開催		
事業費(当初予算)	6,400	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900		49,500
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	6,400	9,900	9,900	9,900	9,900	0	49,500

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
ふるさとふれあいフェア開催に対する補助金交付	ふるさとふれあいフェア実行委員会に補助金を交付します。	6,400	9,900	9,900	9,900	
計 A		6,400	9,900	9,900	9,900	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		6,400	9,900	9,900	9,900	

局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	緑区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

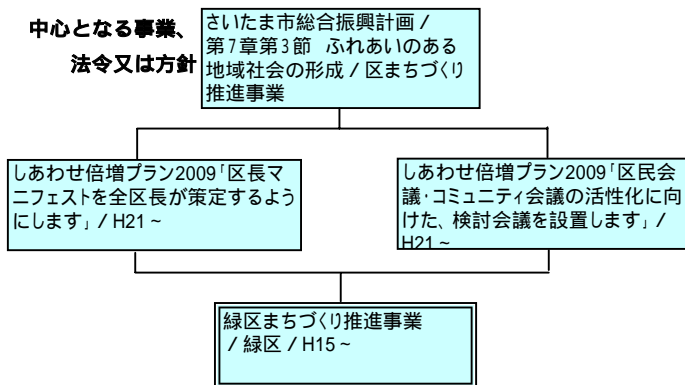
市ス-31(26)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費				
2 予算の事務事業名	(コード) 03806001	(名称) 緑区まちづくり推進事業			
3 事業名	緑区まちづくり推進事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 7304	(事業名) 区まちづくり推進事業			
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 3	(事業名) 区長マニフェストを全区長が策定するようにします。区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。			
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声					
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。	平成23～27年度事業費	643,728千円	
	(根拠法令等)				

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	人口増加に伴い、新住民及び旧住民ともに、コミュニティー意識が薄れています。道路修繕の要望が年々増加し、予算が足りないため迅速に対応できない状況になっています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・緑区自治会加入率 69.9% ・緑区内自主防災組織結成率 76.1% ・道路修繕年度内実施率 92%
問題解決の方針	緑区の自然・歴史・文化への関心と愛着を深めるために、区民に身近なイベントを企画します。前年度決算額に見合った予算を要求できるようにします。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・区長マニフェストアンケート調査による現況把握(H23) ・調査結果に基づくイベントの検討・企画(H23～24) ・イベントの実施及び検証(H24～25) ・予算不足の解消(H24)	
求める効果、目標指標	緑区への関心・愛着が高まり、区民活動への参加意識向上が図られるとともに、協働事業の推進に寄与します。要望に迅速に対応することにより、区民満足度が向上します。	<目標指標>(別添可・様式任意) ・区長マニフェスト評価の地域交流に関する取組みについての評価の向上 ・道路修繕年度内実施率 100%

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ



(3)事業を展開していく上での課題

市民生活
関連事業
(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	・区長マニフェストアンケートを実施します。 ・区長マニフェストアンケート結果をもとに、既存事業の見直しをします。
平成23年度	・区長マニフェストアンケートを実施します。 ・区長マニフェストアンケート結果をもとにした新たな事業を検討します。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	・アンケート結果をもとにした新たな事業を実施します。 ・事業結果を検証します。(H24)

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	岩槻区役所 区民生活部
[課/所/室]	総務課

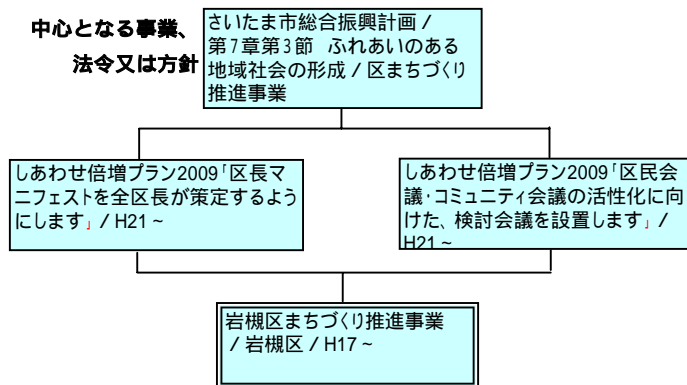
市ス-31(27)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 02区民まちづくり推進費				
2 予算の事務事業名	(コード) 03807001	(名称) 岩槻区まちづくり推進事業			
3 事業名	岩槻区まちづくり推進事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード)	7304	(事業名)	区まちづくり推進事業	
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号)	3 / 14	(事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。	
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声					
9 事業概要	(概要)	区において、区民との協働による個性を生かしたまちづくりを進めます。また、道路、河川、下水道や交通安全施設の簡易な緊急修繕等を行い、身近な生活環境を保持します。			平成23～27年度事業費
	(根拠法令等)	795,187千円			

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	地域への愛着が少ないため、コミュニティ意識が薄い。行政面積が広いため、他区と比べても道路延長等が長く、土木の緊急修繕工事や交通安全施設の修繕が多い。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・区民まつり等への参加者50,000人 ・区長マニフェスト評価書 ・区民の満足度
問題解決の方針	地域への理解と愛着を深めるために、区民に身近なイベントを企画します。緊急な修繕・工事に迅速に対応するため、各区の業務量の均一化を図ります。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民意識調査による現況把握(H24) ・調査結果に基づく新たな地域イベントの検討・企画(H24～25) ・新たな地域イベントの実施及び検証(H25～26) ・各区の業務量を調査し、人的配置を含めた配分を行うよう関係部署との協議を行います。 	
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・区への愛着が深まり、区民活動への参加意識向上がはかられ、あわせて、協働事業の推進に寄与します。 ・土木の緊急修繕工事や交通安全施設の修繕に柔軟に対応し、区民に身近な生活環境を整えることにより、安全で暮らしやすいまちづくりに寄与します。 	<目標指標>(別添可・様式任意) ・区民まつり等への参加者を減少させない。(約50,000人) ・区長マニフェスト評価の地域交流に関する取組みについての評価の向上 ・緊急修繕処理件数の向上

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ



(3)事業を展開していく上での課題

市民生活
関連事業
(4)他市事例(県内市町村、政令市等) なし

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	住民参加のまちづくりをスローガンとし、区の独自性を発揮させるために実施している事業であり、次の3つの経費で構成されています。 区民会議や広報等、まちづくりを推進する仕組みの運営に用いる基本的経費。 市民との協働などにより、区独自事業を展開するための、まちづくり事業経費。 道路・河川の緊急修繕や交通安全施設の修繕等に用いる生活環境維持のための区民満足度アップ経費。
平成23年度	区民まつり等のイベントは、区民が主体となるよう事業内容を見直します。 各区の業務量を調査し、人的配置を含めた配分を行うよう関係部署との協議を行います。
平成24年度以降(目標年次も記入)	区民が主体となり、区民まつり等のイベントを企画します。 各区の業務量の均一化を図り、緊急な修繕・工事に迅速に対応します。

予算の事務事業名	岩槻区まちづくり推進事業							
事業名	岩槻区まちづくり推進事業							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	区の独自性を発揮させるための事業	区の独自性を発揮させるための事業	区の独自性を発揮させるための事業	区の独自性を発揮させるための事業	区の独自性を発揮させるための事業	区の独自性を発揮させるための事業		
事業費(当初予算)	139,570	135,187	150,000	160,000	170,000	180,000	190,000	985,187
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	139,570	135,187	150,000	160,000	170,000	180,000	190,000

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
まちづくり基本経費	区民会議の充実及び市民活動ネットワークの支援並びに区長マニフェスト等、まちづくりを推進する仕組みの運営に用いる経費。	5,280	6,140	6,140	6,140
まちづくり事業経費	市民との協働などにより、区独自事業を展開するためのソフト事業経費。ふれあいの場として定着のある区民まつりや岩槻の自然・歴史・文化を生かした各イベントに必要な経費。	16,597	15,606	15,606	15,606
区民満足度アップ経費	道路や交通安全施設等の修繕を始めとする、身近な生活環境維持経費。	117,693	113,441	113,441	113,441
計 A		139,570	135,187	135,187	135,187
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		139,570	135,187	135,187	135,187
局長査定理由	局長マネジメント経費	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため、局長マネジメント経費であることを尊重し、要求のとおりとしました。			
市長査定理由	局長マネジメント経費	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。			

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-31(28)

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 11区民まちづくり推進費				
2 予算の事務事業名	(コード)	03801501	(名称)	区まちづくり推進事業	
3 事業名	さいたま市誕生10周年記念フラッグ「10の絆」事業				
4 事業の区分 / 分野	新規	拡大	10周年	区役所	健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当	(コード)	7304	(事業名)	区まちづくり推進事業
6 しあわせ倍増プラン	該当	(番号)	3 14	(事業名)	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。 区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし				
8 市民の声、現場の声					
9 事業概要	(概要)	各区の「色・ロゴマーク入り」で作成したフラッグに、市民等にメッセージを書き込んでもらい、各区役所庁舎内に掲出します。			平成23～27年度 事業費
	(根拠法令等)	なし			

431千円

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	さいたま市誕生10周年を市内外に強くアピールするためには、様々な記念事業を企画し、実施する必要があります。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	様々な記念事業を企画するにあたっては、コストをかけずに市民等が参加できる事業を設定します。	
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	さいたま市誕生10周年にあたり、さいたま市の未来へ向けてのメッセージなどを書き込んだフラッグを作成し、それを掲出することで、絆で結ばれたひとつのさいたま市をアピールします。	
求める効果、目標指標		<目標指標>(別添可・様式任意)

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

(3)事業を展開していく上での課題

中心となる事業、法令又は方針

```

            graph TD
            A[さいたま市総合振興計画 / 第7章第3節 ふれあいのある地域社会の形成 / 区まちづくり推進事業] --> B[しあわせ倍増プラン2009「区長マニフェストを全区長が策定するようにします」 / H21～]
            A --> C[しあわせ倍増プラン2009「区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します」 / H21～]
            B --> D[さいたま市誕生10周年シンボル事業 / H23]
            C --> E[区まちづくり推進事業 / 区政推進室 / H15～]
            E --> F[さいたま市誕生10周年記念フラッグ「10の絆」事業 / 区政推進室 / H23]
            D --- F
            
```

市民生活

関連事業

(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	なし
平成23年度	10周年記念フラッグ「10の絆」を作成し、各区役所庁舎内に掲出します。
平成24年度以降 (目標年次も記入)	

予算の事務事業名	区まちづくり推進事業
事業名	さいたま市誕生10周年記念フラッグ「10の絆」事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		フラッグ作成等事業						
事業費(当初予算)		431						431
財源内訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	431	0	0	0	0	431

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
さいたま市誕生10周年記念フラッグ「10の絆」事業	区の色を使ったフラッグを各区1枚作成し、市民等がメッセージを書き込みます。	0	431	431	431
計 A		0	431	431	431
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		0	431	431	431

局長査定理由	要求どおり	さいたま市誕生10周年のPRする事業として必要なものと認め、要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部
[課/所/室]	文化振興課

市ス-32

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 01総務管理費 / 11自治振興費
2 予算の事務事業名	(コード) 03244701 (名称) スポーツ文学賞事業
3 事業名	スポーツ文学賞事業
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 3407 (事業名) スポーツ文学賞事業
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	・政令指定都市としてのさいたま市の都市イメージを、全国に発信している事業です(現場の声)。
9 事業概要	(概要) 全国からスポーツを題材にした未発表の文学作品を公募します。1年目に募集、2年目には審査・表彰・作品集の刊行を行います。 平成23~27年度 事業費 31,908千円
	(根拠法令等)

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・文化芸術活動やスポーツが盛んな都市イメージを生かし、スポーツ文学という新たなジャンルの発展を目的に全国から作品を公募しています。 ・平成6年度より開始され応募作品数は増加していることから、さいたま市=スポーツ文学賞のイメージは全国に広く浸透しています。 ・政令指定都市の文学賞としての地位を確立する必要があります。
問題解決の方針	・質の高い文学賞としての募集方法、審査委員、賞金、作品集の刊行を実施します。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	・文学賞としてのレベルを保持するとともに、質の高い作品の受賞につながるよう応募数の向上を図ります。
求める効果、目標指標	・文化芸術活動やスポーツが盛んな本市をアピールするとともに、スポーツ文学という新たなジャンルの発展を目指します。
	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・さいたま市スポーツ文学賞応募者の推移(別添)
	<目標指標>(別添可・様式任意) 作品応募総数平成21年度～平成25年度累計1,350作品 作品集頒布数平成21年度～平成25年度累計500冊

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p style="text-align:center">中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="text-align:center"> <div style="border:1px solid black; padding:5px; width:fit-content; margin:0 auto;">総合振興計画新実施計画</div> <div style="border:1px solid black; padding:5px; width:fit-content; margin:0 auto; margin-top:10px;">さいたま市文化芸術振興計画/文化振興課/H18～</div> </div>	<p>市民生活</p> <hr/> <p>関連事業</p> <hr/> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山市「坊ちゃん文学賞」 ・北九州市「自分史文学賞」 ・笠岡市「木山捷平文学選奨」

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	・1年目に作品募集〔業務委託(募集要項の作成:審査員の決定、全国への送付作業を含む)、HP作成、広告業務〕 ・2年目に選考(業務委託)、表彰、作品集刊行〔業務委託(全国への発送を含む)〕
平成23年度	・作品募集 ・広告媒体への掲載
平成24年度以降 (目標年次も記入)	・選考 ・報償 ・作品集刊行

予算の事務事業名		スポーツ文学賞事業						
事業名		スポーツ文学賞事業						
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	選考表彰作品集刊行	募集	選考報償作品集刊行	募集	選考報償作品集刊行	募集		
事業費(当初予算)	10,704	3,500	10,704	3,500	10,704	3,500		31,908
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	150	70	150	70	150	70	510
	一般財源	10,554	3,430	10,554	3,430	10,554	3,430	31,398

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳					
<事業費>					
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
作品募集業務	・ポスター・募集要項の作成、発送 ・雑誌への募集広告掲載及び版下作成 ・HPの作成・管理 2か年事業のため平成21年度当初予算	10,704	3,500	0	0
計 A		10,704	3,500	0	0
<特定財源>					
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
物品売払収入	・作品集の販売収入	150	70	0	0
計 B		150	70	0	0
<一般財源>					
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B		10,554	3,430	0	0

局長査定理由	事業の見送り	事務事業総点検<改革のカルテ>において廃止・再構築の方向性が示されている事業ですが、再構築について引き続き検討が必要と判断し、予算化を見送りました。
市長査定理由	事業の見送り	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 市民生活部
[課/所/室]	コミュニティ課 市民活動支援室

市ス-33

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 02企画費 / 03市民活動推進費
2 予算の事務事業名	(コード) 03444801 (名称) 市民活動等支援事業
3 事業名	ボランティア活動の推進
4 事業の区分/分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当なし
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 20 (事業名) ボランティア活動の推進
8 市民の声、現場の声	
9 事業概要	(概要) 本市における市民活動をさらに活発化し、協働によるまちづくりを進めるため、市民活動推進委員会で市民活動の推進に向けたボランティア活動の支援に関するあり方の検討を行うとともに、ボランティア支援の仕組みの整備に取り組みます。平成23～27年度事業費 未定
	(根拠法令等) さいたま市市民活動及び協働の推進条例

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	市民活動の推進につながるボランティア活動への全庁的な支援の仕組みが確立されていない。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意)
問題解決の方針	市民活動推進委員会において、市民活動推進に向けたボランティア活動の支援に関するあり方を検討し、全庁的なボランティア支援の仕組みを整備する。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	市民活動推進委員会で平成23年度末までに支援のあり方について審議するために、委員会の開催を3回分増やす。その答申の内容を受け、平成24年度にボランティア活動の推進案を策定し、推進施策を実施する。	
求める効果、目標指標	市民のボランティア活動への参加が促進されることにより、市民活動が活発化し、協働によるまちづくりが推進される。	<目標指標>(別添可・様式任意) 平成23年度末に、市民活動推進委員会から市民活動推進に向けたボランティア活動の支援に関するあり方についての答申を受け、平成24年度にボランティア活動の推進案を策定し、推進施策を実施する。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>さいたま市市民活動及び協働の推進条例 / コミュニティ課市民活動支援室 / H19～</p> <p>市民活動サポートセンター管理運営事業 / コミュニティ課市民活動支援室 / H19～</p> <p>市民活動等支援事業 / コミュニティ課市民活動支援室 / H16～</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p>

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の現状と課題の整理 他市のボランティア活動に関する施策及び事業の情報収集
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 庁内連絡会議の設置 ボランティア活動の推進案の策定 各ボランティアポイント制度と連携し、支援の仕組みの検討・整備
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 庁内連絡会議の開催 ボランティア活動の推進案の策定 推進施策の実施 各ボランティアポイント制度と連携し、支援の仕組みの検討・整備

予算の事務事業名	市民活動等支援事業								
事業名	ボランティア活動の推進								
1 0 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)	
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計	
事業計画		ボランティア活動の推進案の策定	ボランティア活動の推進案の策定および施策の実施	ボランティア活動の推進施策の実施	ボランティア活動の推進施策の実施	ボランティア活動の推進施策の実施			
事業費(当初予算)		897							
財源内訳	国県支出金	0						0	
	市債	0						0	
	その他	0						0	
	一般財源	0	897	0	0	0	0	0	0

一般財源の欄は、特別会計にあつては繰入金、企業会計にあつては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
市民活動推進委員会の開催(3回)	委員会開催のための費用です。 ・市民活動推進委員会委員謝金 ・委員会開催資料等発送費用 ・会議録作成委託料等	0	852	0	0
ボランティア制度の調査・研究	ボランティア制度について、調査・研究するための費用です。 ・訪問調査(稲城市、東京都ボランティアセンター) ・関連図書購入	0	45	45	45
計 A		0	897	45	45

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	0	897	45	45

局長査定理由	積算内訳の精査	ボランティア活動の普及推進にかかる市民活動推進委員会の開催は既存の会議回数のみに対応すべきものと判断し査定し、調査研究費用のみ予算化しました。
市長査定理由	積算内訳の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-34

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 01区政総務費		
2 予算の事務事業名	(コード) 03800801	(名称) 区役所管理事業	
3 事業名	区役所窓口の休日開設 / 通年試行		
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大	10周年	区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当なし		
6 しあわせ倍増プラン	該当なし		
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 66	(事業名) 区役所窓口サービスの充実	
8 市民の声、現場の声	・1年間を通しての定期的な土曜日・日曜日の窓口開設を実施してほしい。(区役所の窓口サービスに関するアンケート調査) 土曜日午前中の希望が最も多く、36.2%。 ・土曜日が日曜日に窓口を開設してほしい。(わたしの提案、コールセンター情報連絡票)		
9 事業概要	(概要)	平成23年5月から、月1回(日曜日)、9:00~17:00に全区役所を開設し、各種証明書発行業務と転入・転出の受付及びそれに付随する各種届出を受付けます。	平成23~27年度 事業費 83,270千円
	(根拠法令等)		

(1)現状と課題

いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	・単身世帯、共働き世帯の増加など社会情勢は変化し、市民が区役所に来庁できる時間が限られています。 ・平日昼間を基本とした窓口運営では、必要な行政手続きを行うことが困難な市民が増加しています。	<左の根拠指標>(別添可・様式任意) ・区役所の窓口サービスに関するアンケート調査結果(実施して欲しい窓口サービスで最も多かったものが「1年間を通しての定期的な土曜日・日曜日の窓口開設」46.0%) ・わたしの提案等の件数(H21...わたしの提案9件、コールセンター2件、H22上半期...わたしの提案2件、コールセンター4件)
問題解決の方針	平成20年3月から行っている、3月末及び4月初めの土日(4日間)の区役所開設に加え、新たに、月1回程度、区役所を開設し、各種証明書発行業務と転入・転出の受付及びそれに付随する各種届出を受付けます。	
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	1. 区役所窓口の休日開設通年試行(平成23年5月~) 2. 区役所窓口の休日開設通年実施(平成24年度) 本実施	
求める効果、目標指標	・必要な行政手続きを行うことが困難な市民の減。 ・市民の利便性の向上	<目標指標>(別添可・様式任意) ・休日開設時の来庁者数 約8,000人 ・休日開設時の取扱件数 約8,800件 ・わたしの提案等による土日開設要望の減8件以内

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ

中心となる事業、法令又は方針

しあわせ倍増プラン2009 区役所あり方見直しプロジェクト / 区政推進室 等 / H21~

改革プログラム事業 / 区役所窓口サービスの充実 / 区政推進室 / H22~

改革プログラム事業 / アウトソーシング(外部委託)による公共サービスの推進・窓口業務の委託化 / 区政推進室 / H22~

窓口の見直し
・パッケージ工房の見直し
・福祉部門の現状分析
・拡大する窓口業務の選定 / 区政推進室 / H22~

区役所窓口の休日開設試行 / 区政推進室 / H23~

郵送センターの設置の検討 / 区政推進室 / H22~

コンビニでの証明書発行業務の検討 / 区政推進室 / H22~

(3)事業を展開していく上での課題

市民生活

関連事業

市民が利用できる手段(休日通年開設試行、コンビニでの証明書発行)に係る事業が同時並行で進んでいるため、結果を検証し、それによっては、事業の取捨選択等が必要になると思われます。

(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

埼玉県内の39市町が通年で休日開設を実施。7政令市が通年で休日開設を実施しており、関東政令市は4市(千葉・川崎・横浜・相模原市)が実施。なお、千葉市は第2日曜日、川崎・横浜・相模原市は第2・4土曜日に開設。

(5)本事業の事業内容

平成22年度以前	・通年での実施なし 3月末及び4月初めの繁忙期、土日4日間の区役所窓口開設を実施
平成23年度	・平成23年5月~ 区役所窓口の休日開設通年試行 ・平成23年10月 5月~9月の試行結果を検証し、次年度予算要求 ・平成24年12月 次年度の実施内容を確定
平成24年度以降(目標年次も記入)	・平成24年4月~ 区役所窓口の休日開設通年実施(本格実施)

予算の事務事業名	区役所管理事業							
事業名	区役所窓口の休日開設 / 通年試行							
10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位：千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～	合計
事業計画	実施の検討 予算要求	休日開設通年 試行・検証	休日開設実施 (本格実施)	休日開設実施	休日開設実施	休日開設実施		
事業費(当初予算)		17,258	16,503	16,503	16,503	16,503		83,270
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0	0		0
	市債	0	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0		0
	一般財源	0	17,258	16,503	16,503	16,503	0	83,270

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
開設経費	庁舎の開設に係る経費	0	13,024	11,973	11,973
システム経費	システムの稼働等に係る経費	0	3,019	1,963	1,963
広報経費	区役所窓口の休日開設試行の広報に係る経費 ・自治会ポスター、チラシ ・市内公共施設ポスター、チラシ	0	1,215	0	0
計 A		0	17,258	13,936	13,936

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	0	17,258	13,936	13,936

局長査定理由 積算内訳の精査 休日開設の試行期間として必要な対応がとれるよう、ほぼ要求のとおりとしました。なお光熱水費、通信運搬費や広報にかかる経費については、コスト削減を図るよう査定しました。

市長査定理由 積算内訳の精査 財政局長査定内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-35

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 05区政振興費 / 01区政総務費								
2 予算の事務事業名	(コード) 03800801 (名称) 区役所管理事業								
3 事業名	福祉の総合窓口化に向けた業務プロセス分析事業								
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当なし								
6 しあわせ倍増プラン	該当なし								
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 66 (事業名) 区役所窓口サービスの充実								
8 市民の声、現場の声									
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>福祉の総合窓口化に向けた検討材料とするため、現行の福祉業務・組織・システムなどの調査・分析を行います。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	福祉の総合窓口化に向けた検討材料とするため、現行の福祉業務・組織・システムなどの調査・分析を行います。	平成23～27年度事業費	10,000千円	(根拠法令等)			
(概要)	福祉の総合窓口化に向けた検討材料とするため、現行の福祉業務・組織・システムなどの調査・分析を行います。	平成23～27年度事業費	10,000千円						
(根拠法令等)									

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<p>パッケージ工房では、ライフイベント(住所異動、出生、婚姻等)の手続きを、ワンストップで行っています。</p> <p>しかし、ライフイベント以外の手続きは、ワンストップ窓口となっていないため、福祉部門窓口は、どこでどの業務が行われているか、また、どのようなサービスが実施されているかが市民に分かりにくくなっています。</p>
問題解決の方針	福祉の総合窓口を設置し、どの業務がどこで行われているかが分からなくても1ヶ所の窓口で受付し、市民に必要なサービスを提供できるようにする。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の業務概要、システムの利用状況、業務量など、福祉部門窓口の現状分析(H23) ・組織のあり方を含めた福祉部門窓口統合の検討(H23～25) ・福祉部門窓口の統合準備(窓口・システム改修、組織改正、事務分掌改正(H26) ・福祉部門窓口の統合(H27)
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・統合した窓口数

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>中心となる事業、法令又は方針</p> <p>しあわせ倍増プラン2009 区役所あり方見直しプロジェクト/区政推進室等/H21～</p> <p>改革プログラム事業/区役所窓口サービスの充実/区政推進室/H22～</p> <p>改革プログラム事業/アウトソーシング(外部委託)による公共サービスの推進:窓口業務の委託化/区政推進室/H22～</p> <p>窓口の見直し ・パッケージ工房の見直し ・福祉部門の現状分析 ・拡大する窓口業務の選定/区政推進室/H22～</p> <p>区役所窓口の休日開設試行/区政推進室/H23～</p> <p>郵送センターの設置の検討/区政推進室/H22～</p> <p>コンビニでの証明書発行業務の検討/区政推進室/H22～</p>	<p>市民生活</p> <p>関連事業</p> <p>・パッケージ工房の見直し</p> <p>(4)他市事例(県内市町村、政令市等)</p> <p>堺市南区役所</p>

(5)本事業の事業内容	
平成22年度以前	
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の福祉業務概要、システムの利用状況、業務量など、福祉部門窓口の現状分析(H23)
平成24年度以降(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のあり方を含めた福祉部門窓口統合の検討(H23～25) ・福祉部門窓口の統合準備(窓口・システム改修、組織改正、事務分掌改正(H26) ・福祉部門窓口の統合(H27)

予算の事務事業名	区役所管理事業
事業名	福祉の総合窓口化に向けた業務プロセス分析事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位：千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		業務プロセス 分析の実施	窓口統合の検 討	窓口統合の検 討	統合準備	統合		
事業費(当初予算)		10,000						10,000
財 源 内 訳	国県支出金	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	10,000	0	0	0	0	10,000

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳

<事業費>

業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
業務プロセス分析(委託)	業務プロセス分析を活用した、福祉部門窓口の現状分析を行い、どのような業務をどのような手順でどのくらいの時間で処理しているか、現状を把握する	0	10,000	0	0
計 A		0	10,000	0	0

<特定財源>

内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
計 B		0	0	0	0

<一般財源>

	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定
A - B	0	10,000	0	0

局長査定理由	事業の見送り	職員相互による課題検証などを踏まえた計画作りが大切であり、予算化を見送りました。
市長査定理由	事業の見送り	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	市民・スポーツ文化局 区政推進室
[課/所/室]	

市ス-36

1 会計	一般会計 (款/項/目) 02総務費 / 04戸籍住民基本台帳費 / 01戸籍住民基本台帳費
2 予算の事務事業名	(コード) 03542501 (名称) 戸籍住民基本台帳事務事業
3 事業名	戸籍住民基本台帳事業(コンビニ交付)
4 事業の区分 / 分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当なし
6 しあわせ倍増プラン	該当なし
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 90 (事業名) コンビニエンスストアでの各種証明書の発行
8 市民の声、現場の声	近年の生活習慣の多様化等により、区役所開庁時間外での証明書取得を要望する声が多くあります。平成22年5月下旬に実施した「区役所の窓口サービスに関するアンケート調査」においても、回答者の24.8%が実施して欲しいサービスとして、コンビニでの証明書交付をあげています。
9 事業概要	(概要) 住民基本台帳カードの多目的利用により、コンビニエンスストアに設置してあるキオスク端末での証明書交付を行います。 平成23~27年度 事業費 270,864千円
	(根拠法令等) 住民基本台帳法

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> 住基カード及びコンビニ交付普及策の検討が必要となります。 証明書発行箇所の見直し等が必要となります。 改正住民基本台帳法(平成24年7月までに施行予定)に対応するため、平成23年度に大幅なシステム改修が予定されており、情報システムへの負荷が心配されます。
問題解決の方針	<ul style="list-style-type: none"> 関係各課を含めた検討を行い、実施に向けた協議をします。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム改修基本設計・詳細設計(H23~H24) 検討会議の実施 情報システム改修、住基カード多目的利用・コンビニ普及策の検討、証明書発行窓口に関する検討等(H22~23) コンビニ交付開始(H24)
求める効果、目標指標	<p>コンビニエンスストアでの証明書発行により、区役所開庁時間外(現在は、年末年始を除く6:30~23:00)での住民票の写し・印鑑登録証明書の取得が可能となり、住民の利便性の向上が図れます。また窓口の混雑が緩和され、事務の効率化が期待できます。</p>

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p>区役所あり方検討</p> <p>(仮称) 行財政改革推進プラン</p> <p>戸籍住民基本台帳事務事業 / 住民基本台帳法</p> <p>情報政策課 / H22~</p> <p>区政推進室 / 各区 区民課 / H22~</p> <p>税制課 / H22~</p> <p>システム改修検討</p> <p>区政推進室 / H22~</p> <p>中央図書館 / H22~</p> <p>税制課 / H22~</p> <p>高齢福祉課 / H22~</p> <p>etc.</p> <p>(区役所窓口所管課)</p> <p>多目的利用・証明書 窓口検討</p>	<p>市民生活</p> <ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストアという外部事業者を利用するため、個人情報保護が確保されることが必要となります。 <p>関連事業</p> <p>現在は住民票の写しと印鑑登録証明書のみがコンビニ交付が可能な証明書であるが、税証明等の交付も検討されています。</p>
(5)本事業の事業内容	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)
平成22年度以前	<p>平成22年2月より市川市・渋谷区・三鷹市がサービス開始。4月に相馬市。</p> <p>県内では、戸田市・北本市が平成23年2月に実施予定。</p>

平成22年度以前	<ul style="list-style-type: none"> 導入検討・課題調査 住基カード多目的利用検討・既存カードとの整理検討 証明書発行窓口整理検討等
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの継続課題検討 システム改修設計 条例制定等 システム改修準備のための債務負担行為
平成24年度以降 (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> システム改修・機器リース・本番テスト・職員研修等 コンビニ交付開始(平成24年度)

予算の事務事業名	戸籍住民基本台帳事務事業
事業名	戸籍住民基本台帳事業(コンビニ交付)

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳 (単位:千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画		システム改修設計	システム改修システムリース・保守負担金事務手数料等	システムリース・保守負担金事務手数料等	システムリース・保守負担金事務手数料等	システムリース・保守負担金事務手数料等		
事業費(当初予算)		61,324	69,557	46,661	46,661	46,661	46,661	317,525
財源内訳								
国県支出金		0	0	0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	61,324	69,557	46,661	46,661	46,661	46,661	317,525

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
システム改修及び住基カード製造	システムについての設計・改修を行います。また、住基カードの発注を行います。	0	61,324	12,381	12,381	
<債務負担行為>						
		事項		限度額(千円)		期間
		証明書コンビニ交付対応システム改修事業		22,896		平成24年度
計 A		0	61,324	12,381	12,381	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
計 B		0	0	0	0	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	局長査定	市長査定	
A - B		0	61,324	12,381	12,381	
局長査定理由	事業内容の精査	市民の利便性向上のために導入するコンビニ交付に必要な経費と認め、システム設計費用について予算化しました。なお、改修費用については債務負担行為を設定しました。				
市長査定理由	事業内容の精査	財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。				

